

第3期市川町子ども・子育て支援
事業計画策定に係るニーズ調査
結果報告書

令和6年3月
市 川 町

目 次

I. 調査の概要	1
1 調査目的	1
2 実施要領	1
3 報告書の見方	1
II. 保護者調査結果	3
1 お住まいの地域	3
2 お子さんご家族の状況	4
3 子どもの育ちをめぐる環境について	9
4 保護者の就労状況	16
5 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について	33
6 定期的な教育・保育事業の利用状況（就学前児童のみ）	47
7 土日・祝日、長期休業中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望（就学前児童のみ）	56
8 地域の子育て支援事業の利用状況（就学前児童のみ）	61
9 病気の際の対応	67
10 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用（就学前児童のみ）	75
11 放課後の過ごし方	81
12 子育て観や子育て環境、サービスの満足度など	95
III. 小学生調査結果	102
1 回答者本人について	102
2 日ごろの生活について	104
3 なやみや不安について	114
4 家族のお世話について	118
5 市川町について	122

I. 調査の概要

1 調査目的

本調査は、「第3期市川町子ども・子育て支援事業計画」の策定にあたり、町内にお住まいの就学前のお子さんの保護者の方、小学生のお子さんの保護者の方、小学生本人を対象に、子育てに関する実態や子どもたちの生活実態、町民のみなさまのご意見などをおうかがいし、事業計画策定の基礎資料とすることを目的として実施したものです。

2 実施要領

調査対象	配布数	回収数	回収率	調査期間	調査方法
町内在住 就学前のお子さんの保護者	303 人	187 人	61.7%	令和5年12月15日～ 令和6年1月9日	町立こども園等を通じて配布・郵送配布／ 郵送回収
町内在住 小学生のお子さんの保護者	457 人	208 人	45.5%	令和5年12月15日～ 令和6年1月9日	郵送配布／ 郵送回収
町内小学校に通う 小学5・6年生	176 人	171 人	97.2%	令和6年1月9日～ 令和6年1月23日	小学校を通じて配布・郵送配布／ 小学校を通じて回収・郵送回収

3 報告書の見方

- (1) 図表中の「N (number of case)」は、有効標本数（集計対象者総数）を表しています。
- (2) 回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答であっても合計値が100.0%にならない場合があります。
- (3) 複数回答の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- (4) 図表中に次のような表示などがある場合は、複数回答を依頼した質問を示しています。
 - ・ MA % (Multiple Answer) : 回答選択肢の中からあてはまるものをすべて選択する場合
 これ以外の場合は、特に断りがない限り、単一回答（回答選択肢の中からあてはまるものを1つだけ選択する）形式の設問です。
- (5) 図表中において「無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が著しく困難なものです。
- (6) 「前回調査」とは、市川町が平成31年3月に実施した「第2期市川町子ども・子育て支援事業計画策定に係るニーズ調査」のことです。

Ⅱ．保護者調査結果

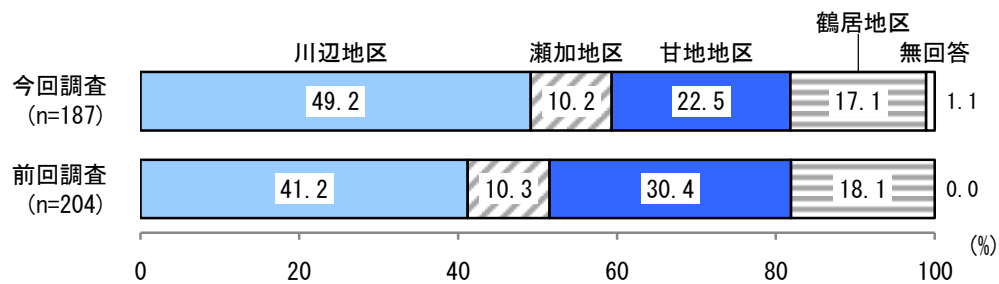
1 お住まいの地域

〔1〕居住地区

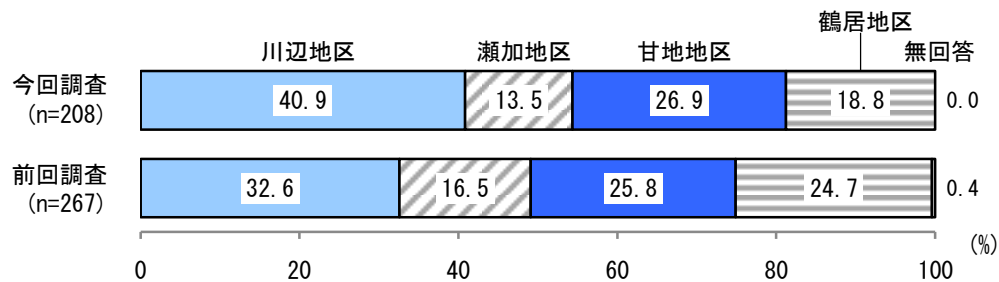
【 就学前：問1／小学生：問1 】

お住まいの地区はどちらですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

就学前



小学生



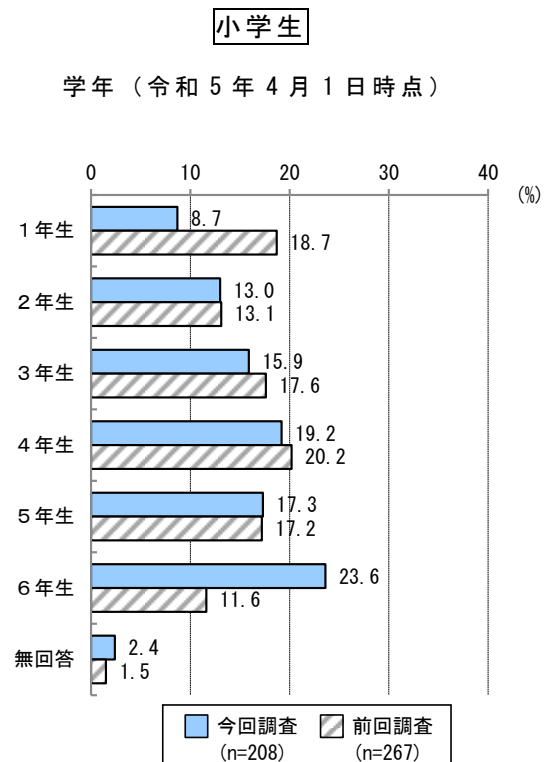
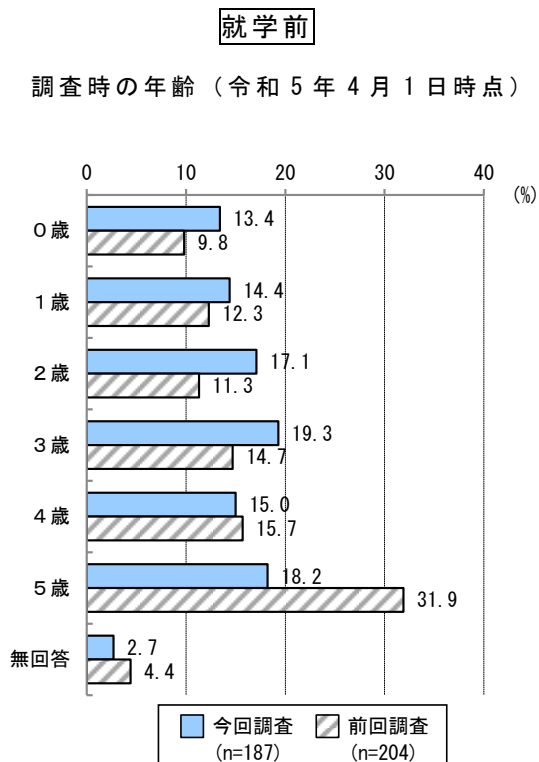
回答者の居住地区は「川辺地区」が最も多く、就学前児童で 49.2%、小学生で 40.9% となっています。次いで「甘地地区」が就学前児童で 22.5%、小学生で 26.9% となっています。

2 お子さんのご家族の状況

〔1〕対象の子どもの年齢と学年

【就学前：問2／小学生：問2】

お子さんの生年月について、「平成」か「令和」か「西暦」に○をつけ、（ ）内に数字でご記入ください。

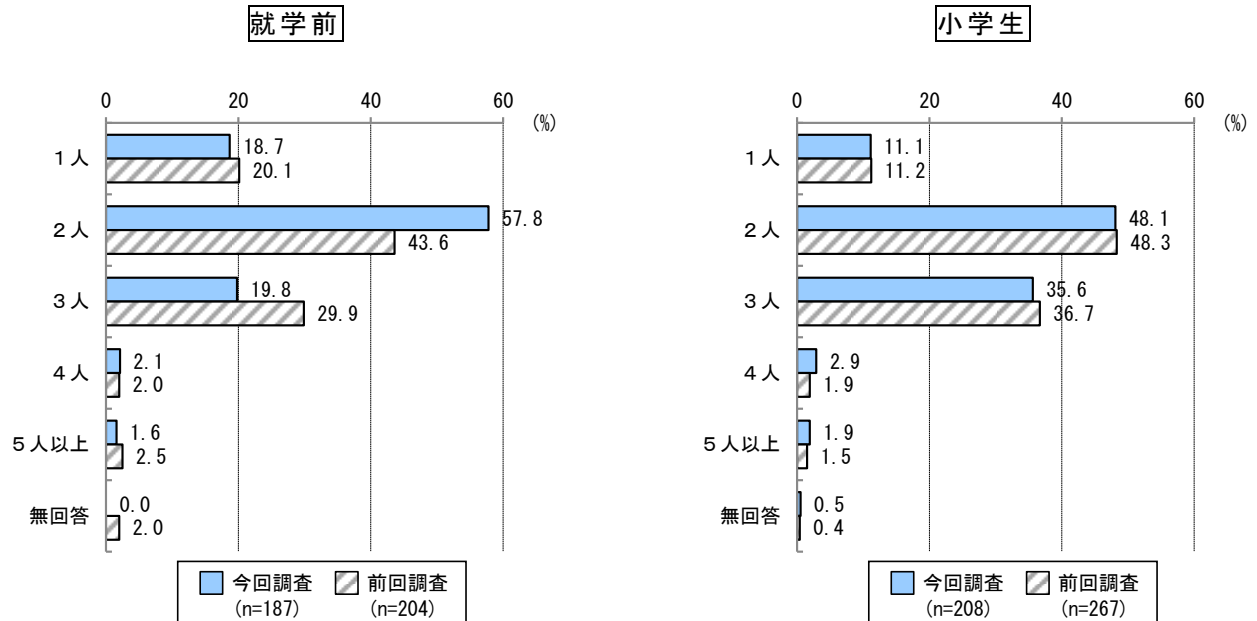


回答があった対象の子どもの年齢は、就学前児童は「3歳」が19.3%と最も多く、次いで「5歳」が18.2%となっています。小学生は「6年生」が23.6%と最も多く、次いで「4年生」が19.2%となっています。

〔 2 〕 子どもの人数

【 就学前：問3／小学生：問3 】

お子さんのきょうだいは、お子さんを含め何人いらっしゃいますか。
人数を（ ）内に数字でご記入ください。



子どもの人数は「2人」が最も多く、就学前児童で 57.8%、小学生で 48.1%となっています。次いで「3人」が就学前児童で 19.8%、小学生で 35.6%となっています。

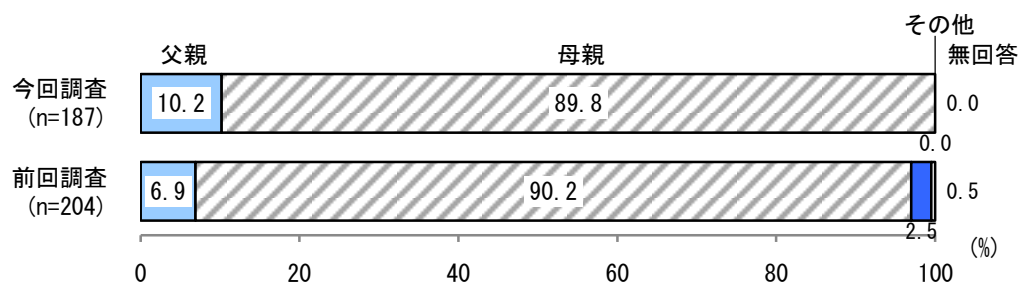
Ⅱ. 保護者調査結果

〔 3 〕 調査票の回答者

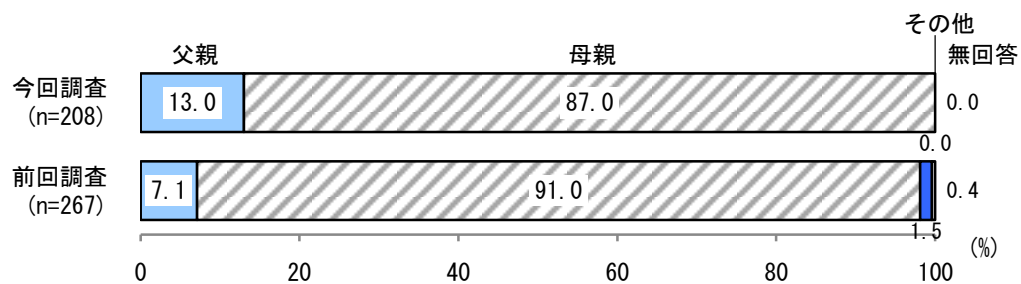
【 就学前：問4／小学生：問4 】

この調査票にご回答いただく方はどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

就学前



小学生



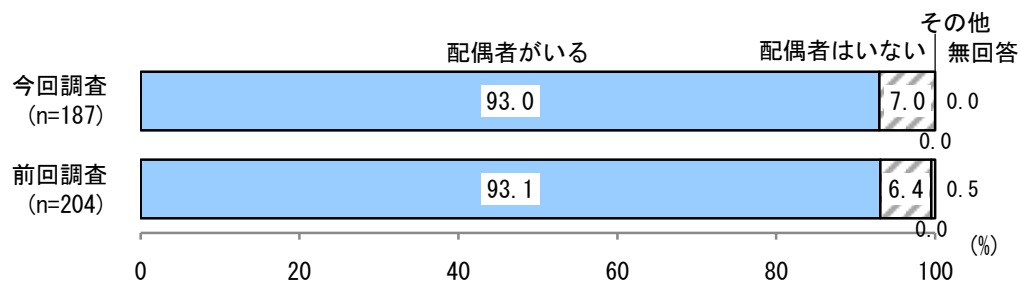
調査票の回答者は「母親」が多く、就学前児童で 89.8%、小学生で 87.0%となっています。

〔４〕調査票の回答者の配偶関係

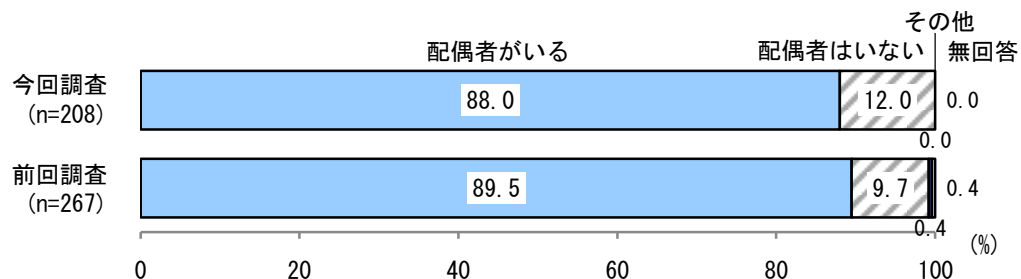
【 就学前：問5／小学生：問5 】

この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。
当てはまる番号１つに○をつけてください。

就学前



小学生



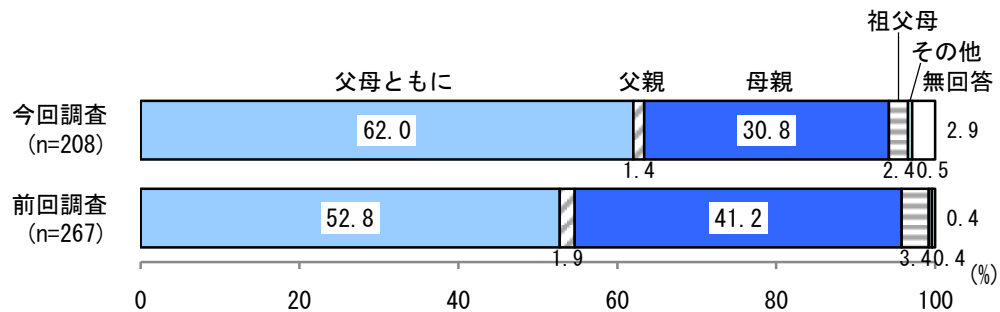
回答者の配偶関係は、「配偶者がいる」が就学前児童で 93.0%、小学生で 88.0%と多くなっています。

Ⅱ. 保護者調査結果

〔５〕子育ての主体（小学生のみ）

【 就学前：－／小学生：問６ 】

お子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。
お子さんからみた関係で当てはまる番号１つに○をつけてください。



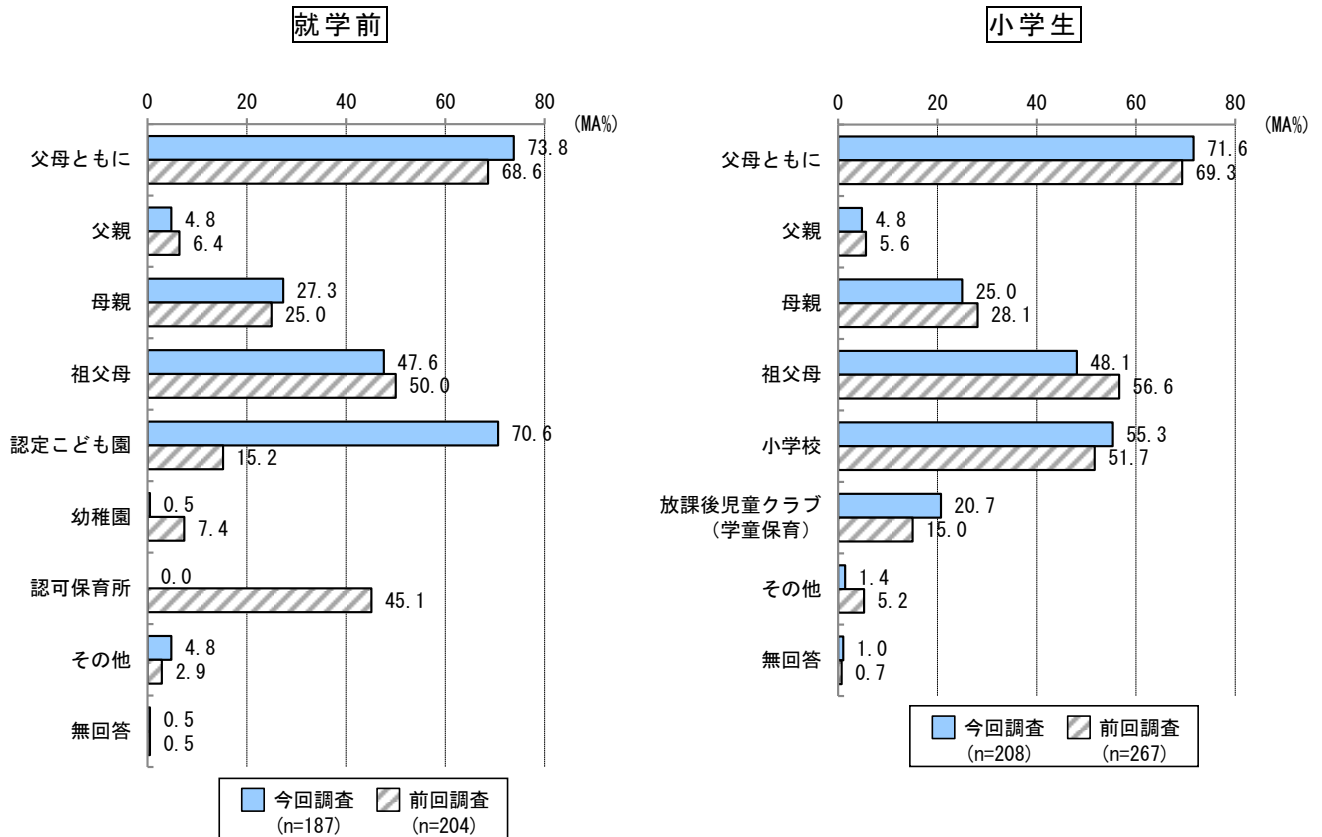
子育て（教育含む）の主体は、「父母ともに」が 62.0%と最も多く、次いで「母親」30.8%となっています。前回調査に比べて、「父母ともに」が 9.2 ポイント増加している一方で、「母親」が 10.4 ポイント減少しています。

3 子どもの育ちをめぐる環境について

〔1〕子育てに日常的に関わっている人や施設

【 就学前：問6／小学生：問11 】

お子さんの子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方はどなた（施設）ですか（緊急時を除く）。お子さんからみた関係で当てはまる番号すべてに○をつけてください。



子育て（教育を含む）に日常的に関わっている人や施設は、就学前児童では「父母ともに」が73.8%と最も多く、次いで「認定こども園」が70.6%、「祖父母」が47.6%となっています。前回調査に比べて、「父母ともに」が5.2ポイント、「認定こども園」が55.4ポイント増加している一方で、「幼稚園」が6.9ポイント、「認可保育所」が45.1ポイント減少しています。

小学生では「父母ともに」が71.6%と最も多く、次いで「小学校」が55.3%、「祖父母」が48.1%となっています。前回調査に比べて、「祖父母」が8.5ポイント減少している一方で、「放課後児童クラブ（学童保育）」が5.7ポイント増加しています。

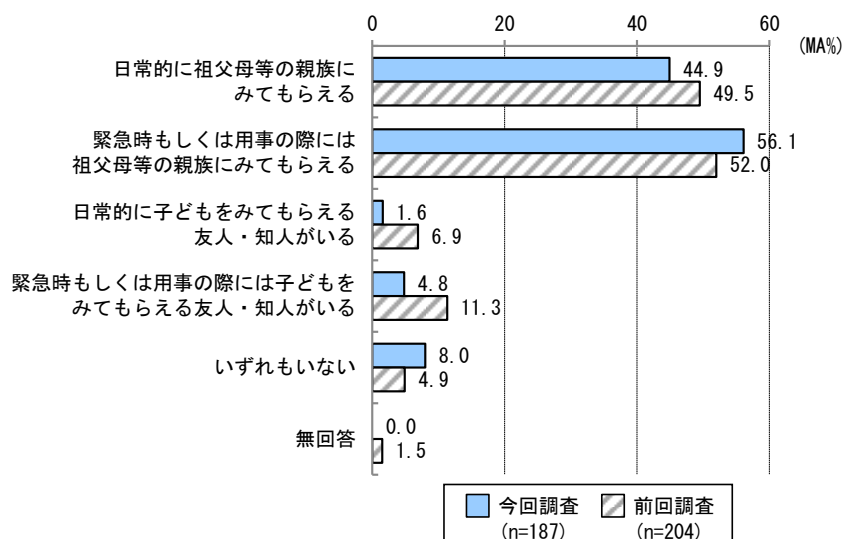
Ⅱ. 保護者調査結果

〔２〕子どもをみてもらえる親族・知人の有無

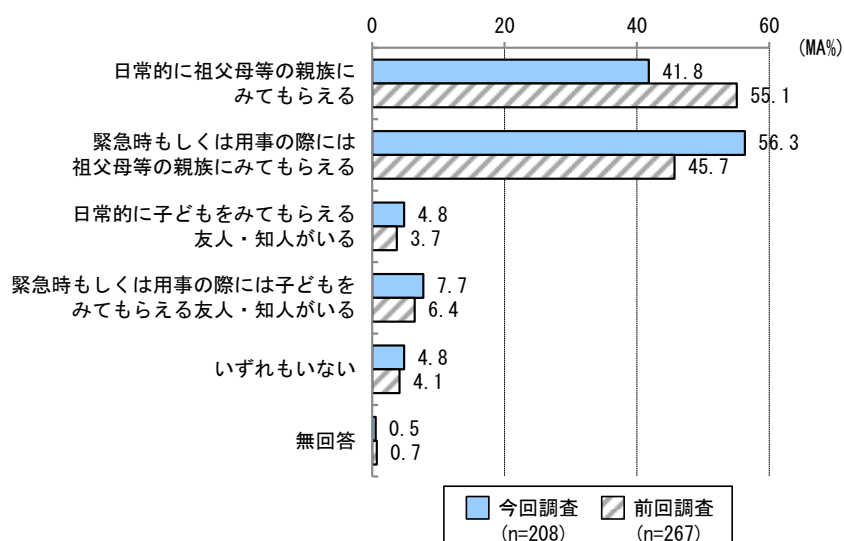
【 就学前：問7／小学生：問12 】

日頃、お子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。
当てはまる番号すべてに○をつけてください。

就学前



小学生



子どもをみてもらえる親族・知人の有無については、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が最も多く、就学前児童で 56.1%、小学生で 56.3% となっています。次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が就学前児童で 44.9%、小学生で 41.8% となっています。

前回調査に比べて、就学前児童では「日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる」が 5.3 ポイント、「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」が 6.5 ポイント減少しています。また、小学生で「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が 13.3 ポイント減少している一方で、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が 10.6 ポイント増加しています。

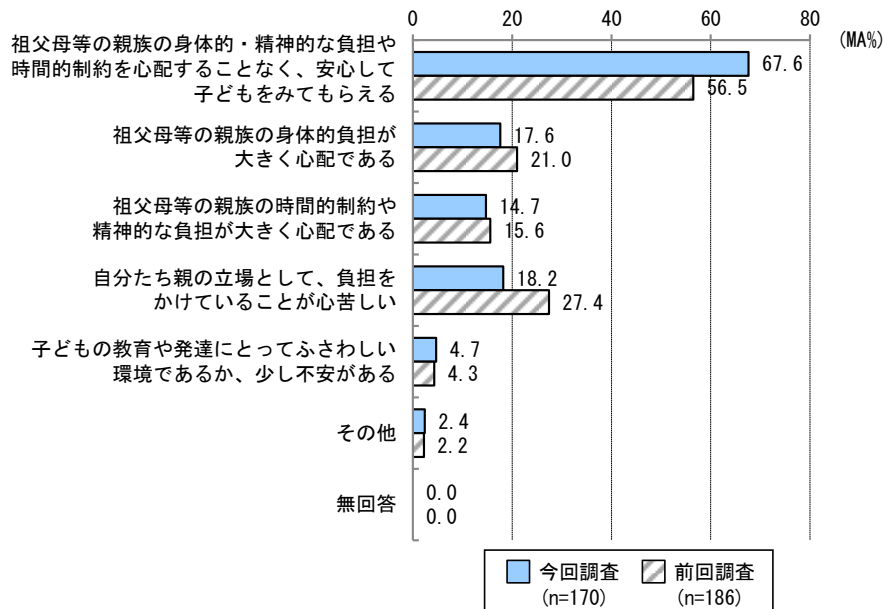
〔３〕祖父母等の親族に子どもをみてもらっている状況

問７／問１２で「祖父母等の親族にみてもらえる」とお答えの方のみ

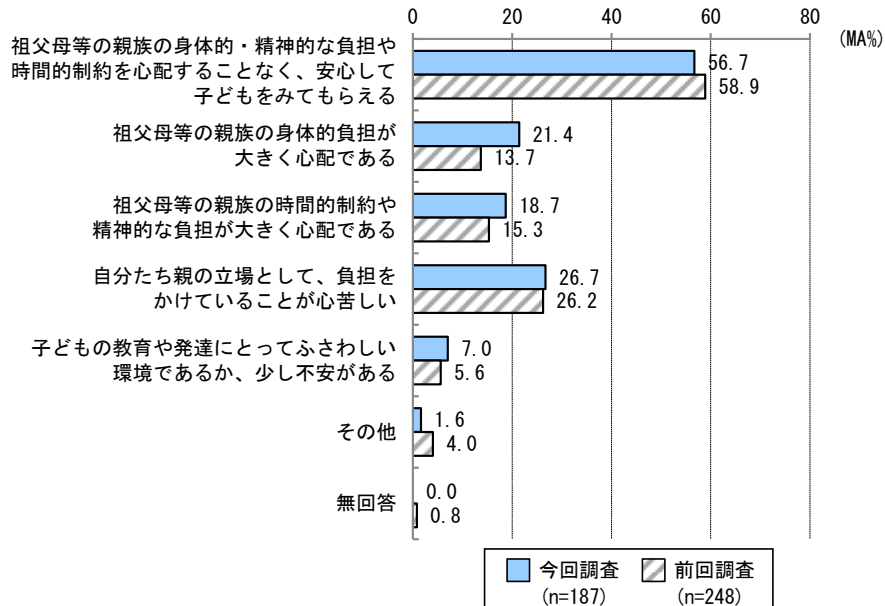
【 就学前：問７-１／小学生：問１２-１ 】

祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。
当てはまる番号すべてに○をつけてください。

就学前



小学生



祖父母等の親族に子どもをみてもらっている状況については、「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が最も多く、就学前児童で 67.6%、小学生で 56.7%となっています。

前回調査に比べて、就学前児童で「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が 11.1 ポイント増加しています。また、小学生で「祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である」が 7.7 ポイント増加しています。

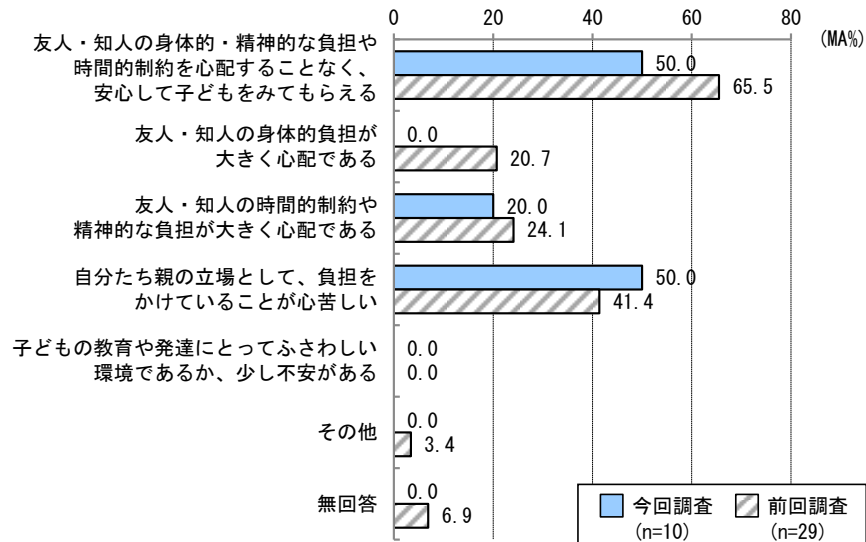
Ⅱ. 保護者調査結果

〔４〕友人・知人に子どもをみてもらっている状況

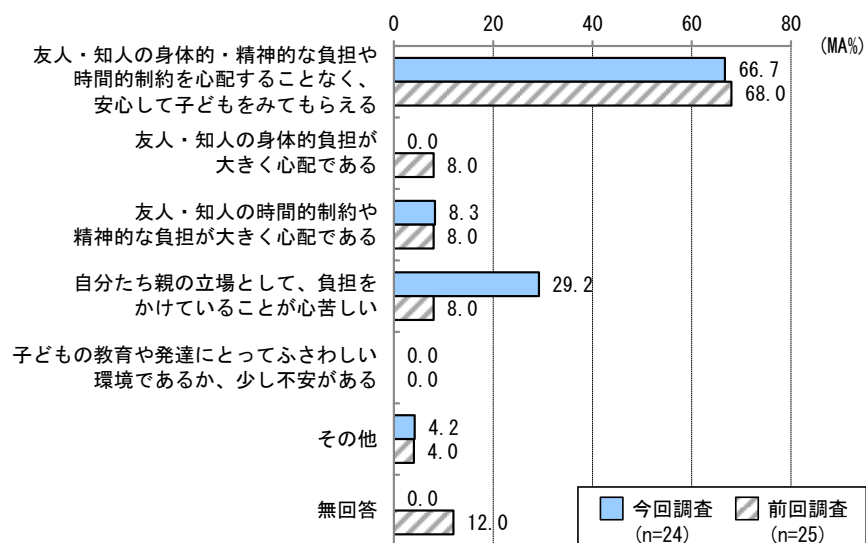
問7／問12で「子どもをみてもらえる友人・知人がいる」とお答えの方のみ
【 就学前：問7-2／小学生：問12-2 】

友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。
 当てはまる番号すべてに○をつけてください。

就学前



小学生



友人・知人に子どもをみてもらっている状況については、就学前児童では「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」、「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が50.0%と最も多くなっています。

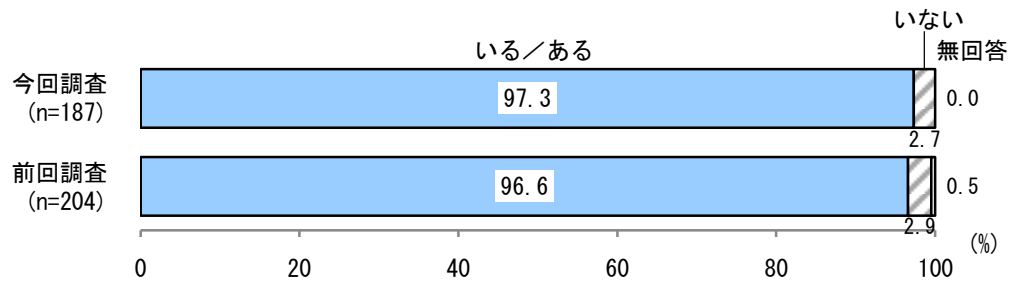
小学生では「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が66.7%と最も多く、次いで「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が29.2%となっています。前回調査に比べて、「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が21.2ポイント増加しています。

〔５〕子育てについて相談できる人や場所の有無

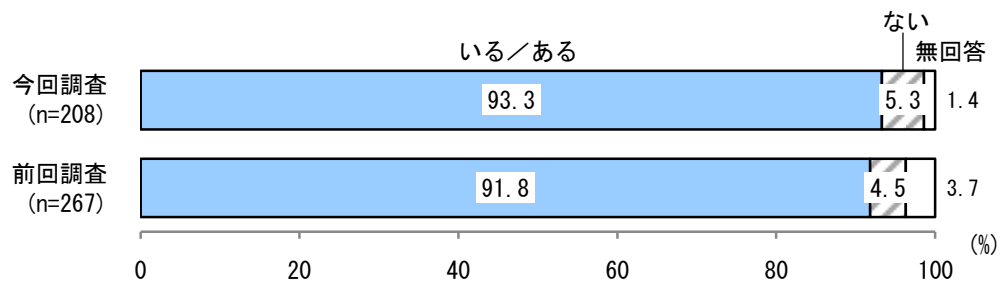
【 就学前：問8／小学生：問13 】

あなたは、子育て（教育を含む）に関して気軽に相談できる人はいますか。
また、相談できる場所がありますか。当てはまる番号１つに○をつけてください。

就学前



小学生



子育てをする上で相談できる人や場所が「いる／ある」は、就学前児童で 97.3%、小学生で 93.3%となっています。

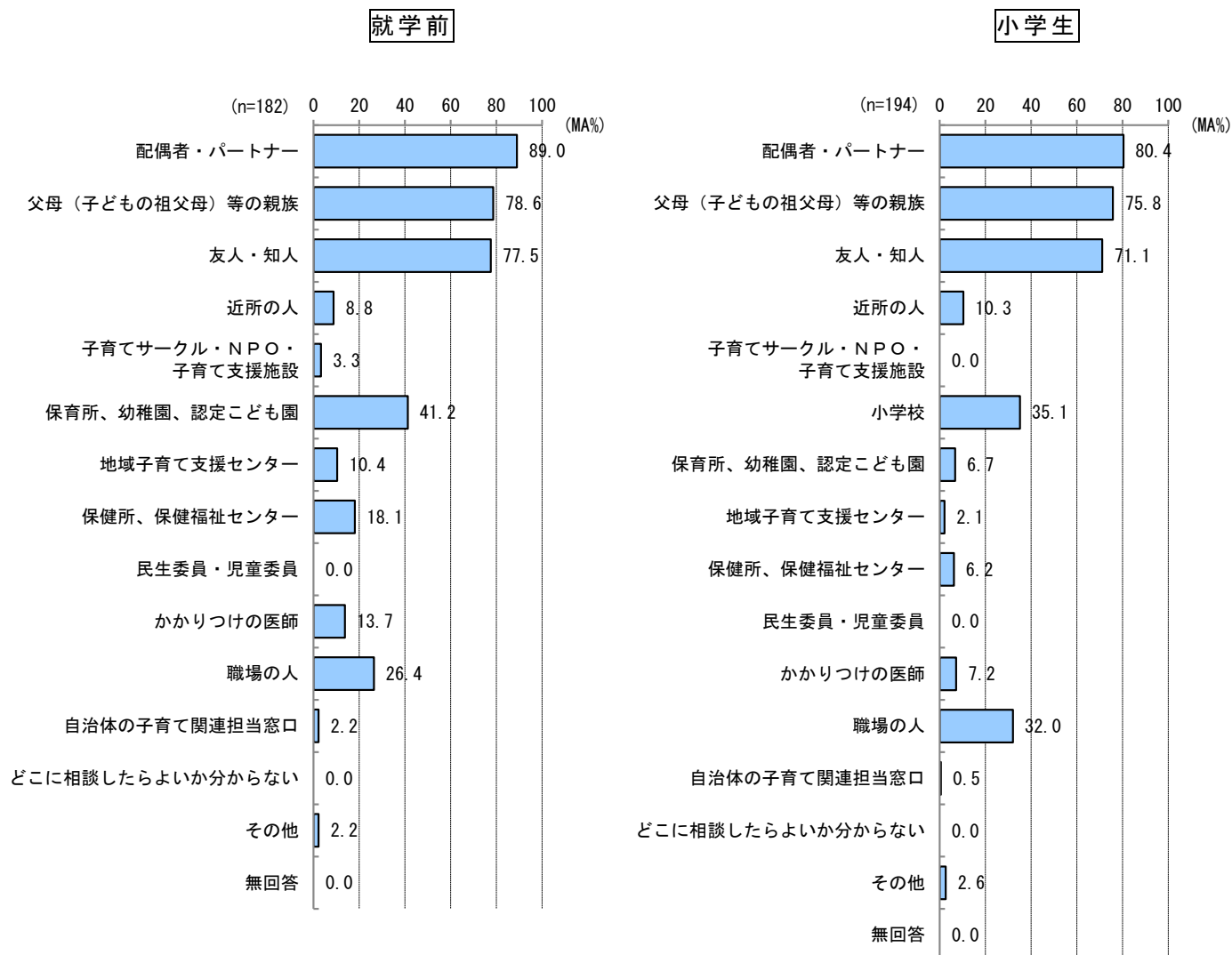
Ⅱ. 保護者調査結果

〔 6 〕 子育てに関する相談相手や相談先

問8／問13で「いる／ある」とお答えの方のみ

【 就学前：問8-1／小学生：問13-1 】

どのようなところ（誰に）相談していますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

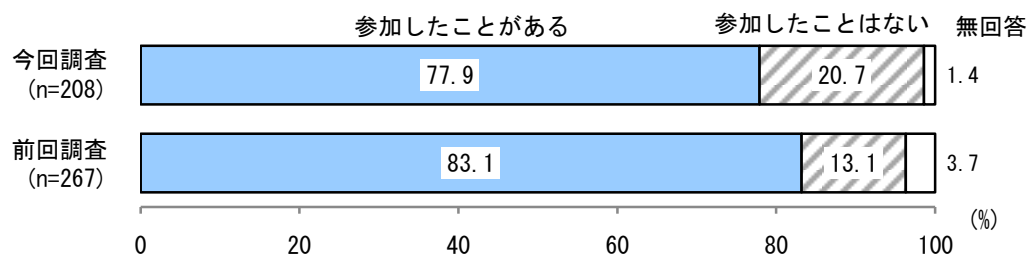


子育てに関する相談相手や相談先は、就学前児童では「配偶者・パートナー」が89.0%と最も多く、次いで「父母（子どもの祖父母）等の親族」が78.6%、「友人・知人」が77.5%となっています。小学生も「配偶者・パートナー」が80.4%と最も多く、次いで「父母（子どもの祖父母）」が75.8%、「友人・知人」が71.1%となっています。

〔 7 〕 地域活動やグループ活動などの参加経験（小学生のみ）

【 就学前：－／小学生：問14 】

お子さんは、地域活動やグループ活動などに参加されたことがありますか。
当てはまる番号1つに○をつけてください。



地域活動やグループ活動などに「参加したことがある」は、77.9%となっています。
前回調査に比べて、「参加したことがある」児童が 7.6 ポイント減少しています。

4 保護者の就労状況

〔 1 〕 保護者の就労状況

【 就学前：問9(1)、問9(2)／小学生：問15(1)、問15(2) 】

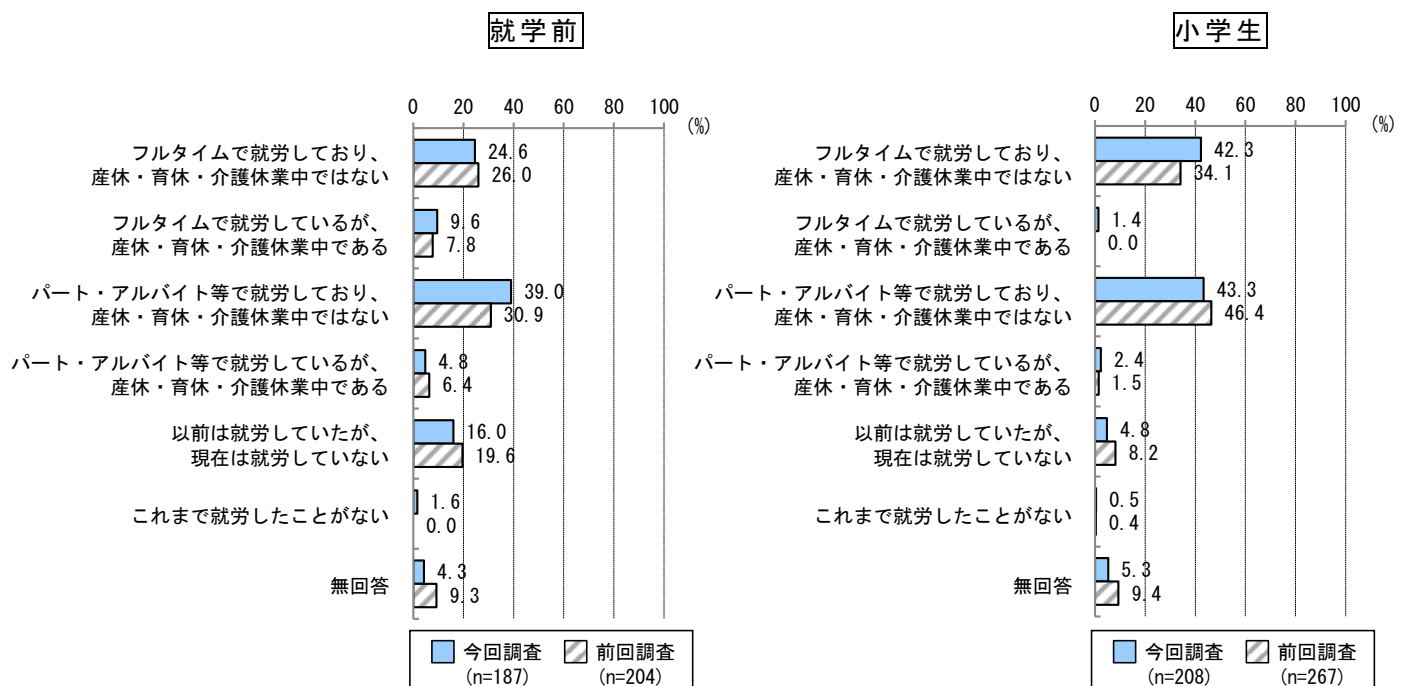
現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

当てはまる番号1つに○をつけてください。

※「フルタイム」… 1週5日程度・1日8時間程度の就労

※「パート・アルバイト等」… 「フルタイム」以外の就労

【母親】



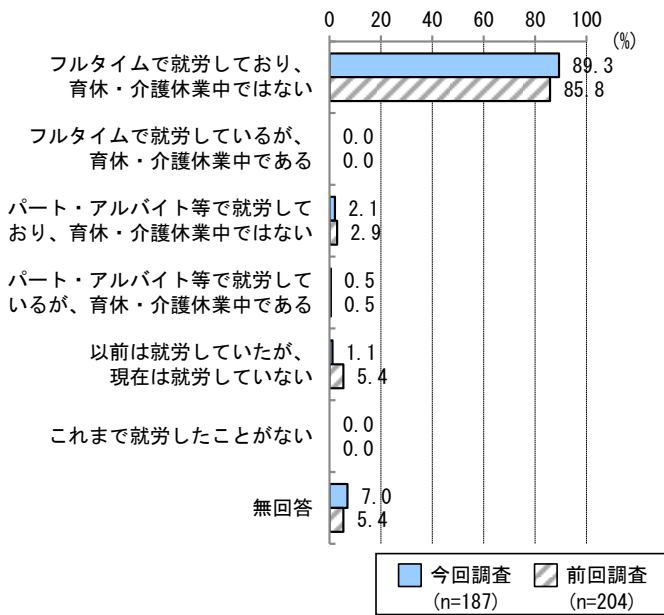
就学前児童の母親の就労状況は、「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が39.0%と最も多く、次いで「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が24.6%となっています。

小学生の母親の就労状況は、「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が43.3%と最も多く、次いで「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が42.3%となっています。

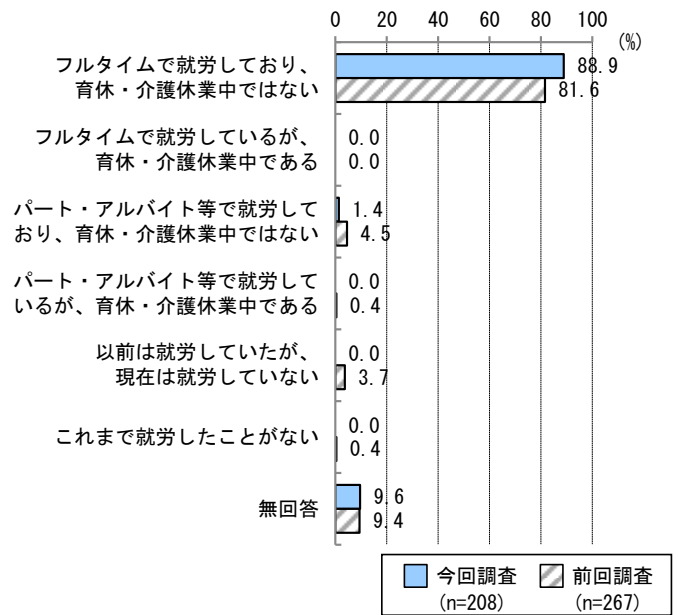
就労している母親（休業中も含む）の合計は、就学前児童で78.0%、小学生で89.4%となっており、前回調査に比べて就学前児童で6.9ポイント、小学生で7.4ポイント増加しています。

【父親】

就学前



小学生



父親の就労状況は、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が最も多く、就学前児童で 89.3%、小学生で 88.9%となっています。

Ⅱ. 保護者調査結果

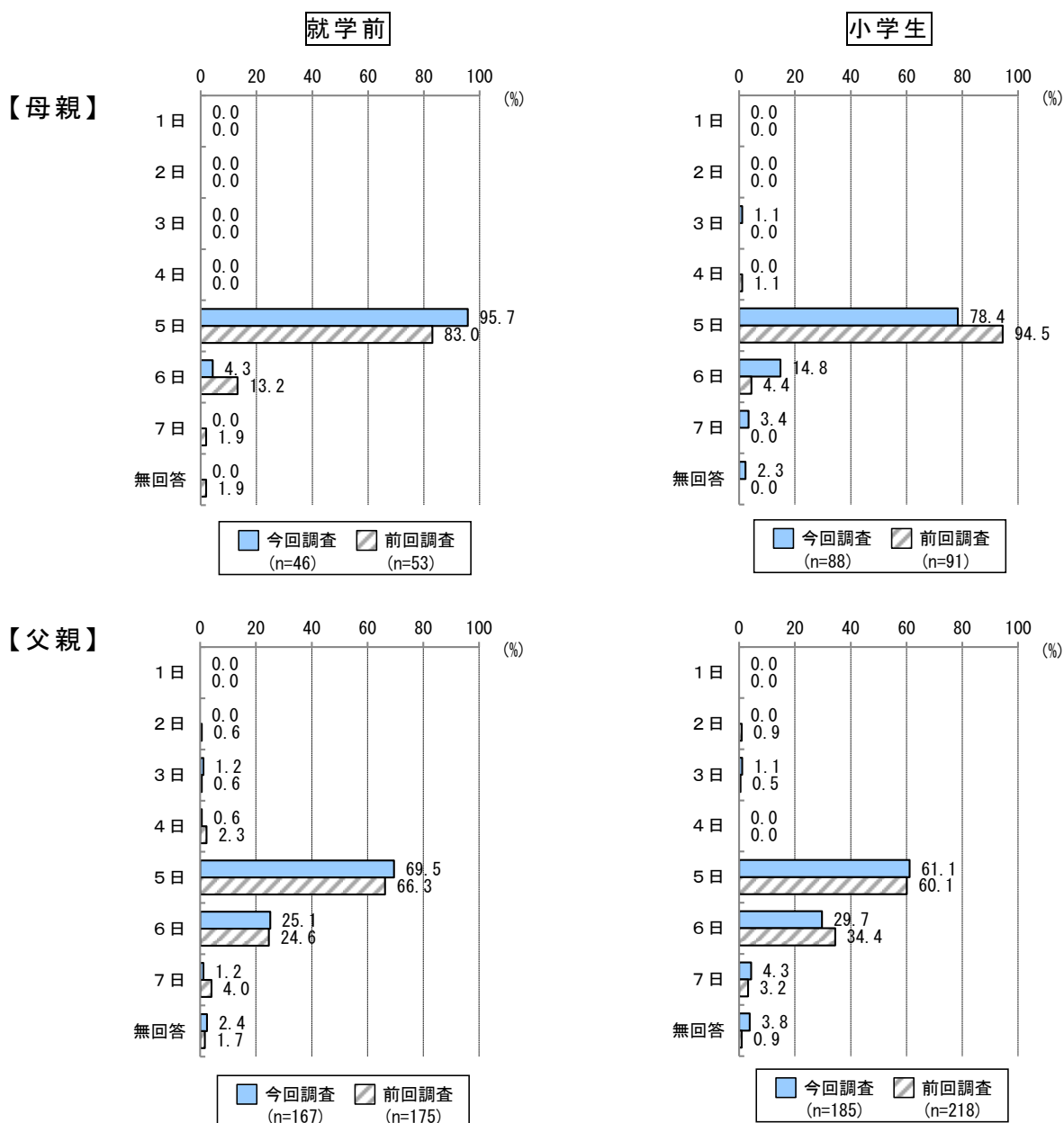
〔２〕フルタイムで就労している保護者の状況

問9(1)、問9(2)／問15(1)、問15(2)で「フルタイムで就労している（休業中は含まず）」とお答えの方のみ

【 就学前：問9(1)-1、問9(2)-1／小学生：問15(1)-1、問15(2)-1 】

1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。（（ ）内に数字でご記入ください。）

■ 1週当たりの就労日数

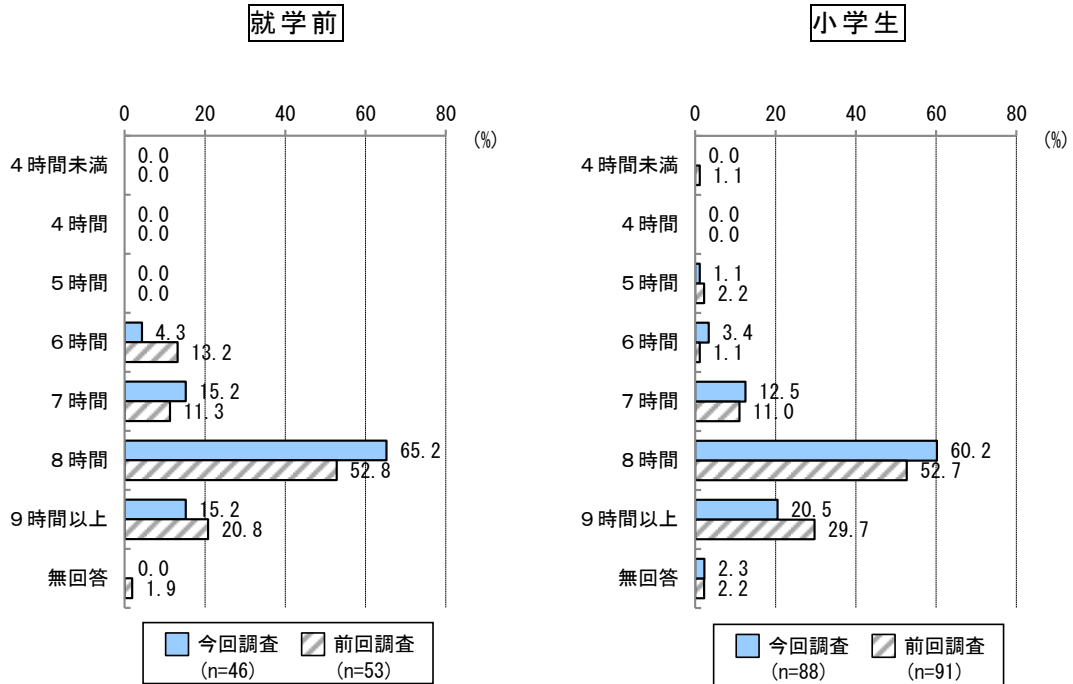


フルタイムで就労している母親の1週当たりの就労日数は、「5日」が最も多く、就学前児童で95.7%、小学生で78.4%となっています。

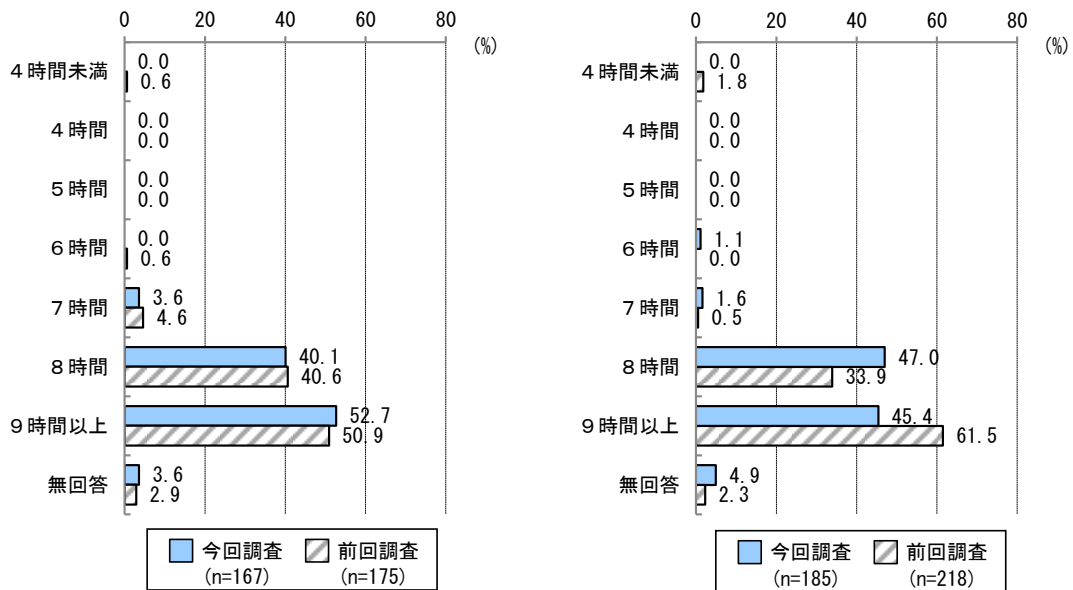
父親の就労日数も「5日」が最も多く、就学前児童で69.5%、小学生で61.1%となっています。次いで「6日」が就学前児童で25.1%、小学生で29.7%となっています。

■ 1日当たりの就労時間

【母親】



【父親】



フルタイムで就労している母親の1日当たりの就労時間は、「8時間」が最も多く、就学前児童で65.2%、小学生で60.2%となっています。

父親の就労時間は、就学前児童で「9時間以上」が52.7%と最も多く、次いで「8時間」が40.1%となっています。小学生では、「8時間」が47.0%と最も多く、次いで「9時間以上」が45.4%となっています。

Ⅱ. 保護者調査結果

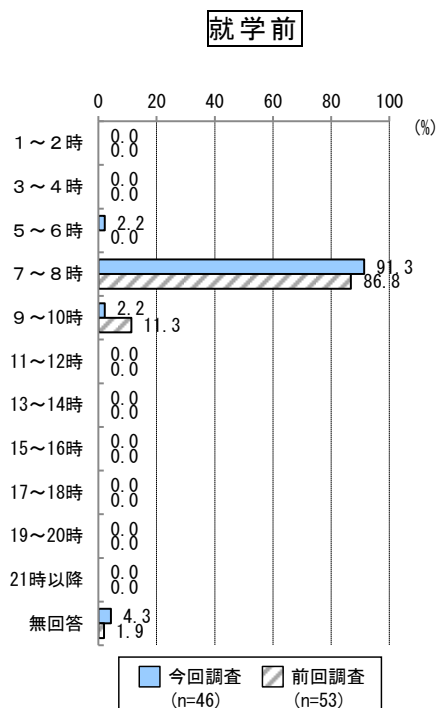
問9(1)、問9(2)／問15(1)、問15(2)で「フルタイムで就労している（休業中は含まず）」とお答えの方のみ

【 就学前：問9(1)-2、問9(2)-2／小学生：問15(1)-2、問15(2)-2 】

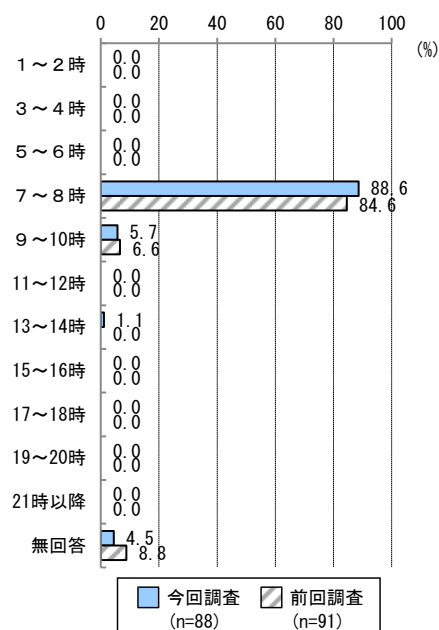
家を出る時間と帰宅時間をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず（例）8時～18時のように、24時間制でお答えください。（（ ）内に数字でご記入ください。）

■ 家を出る時間

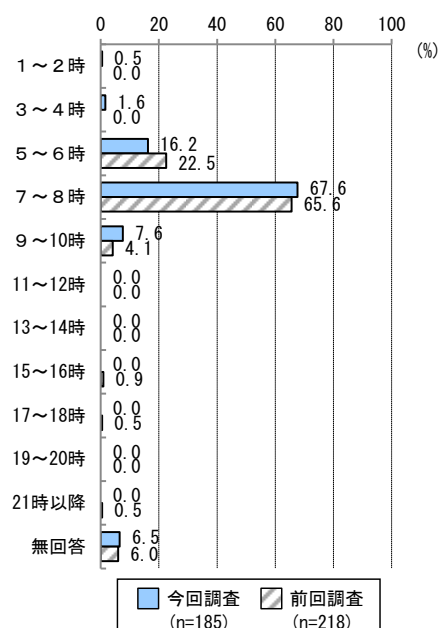
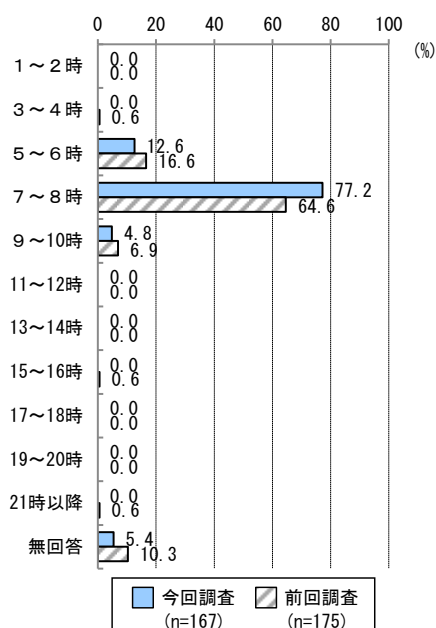
【母親】



小学生



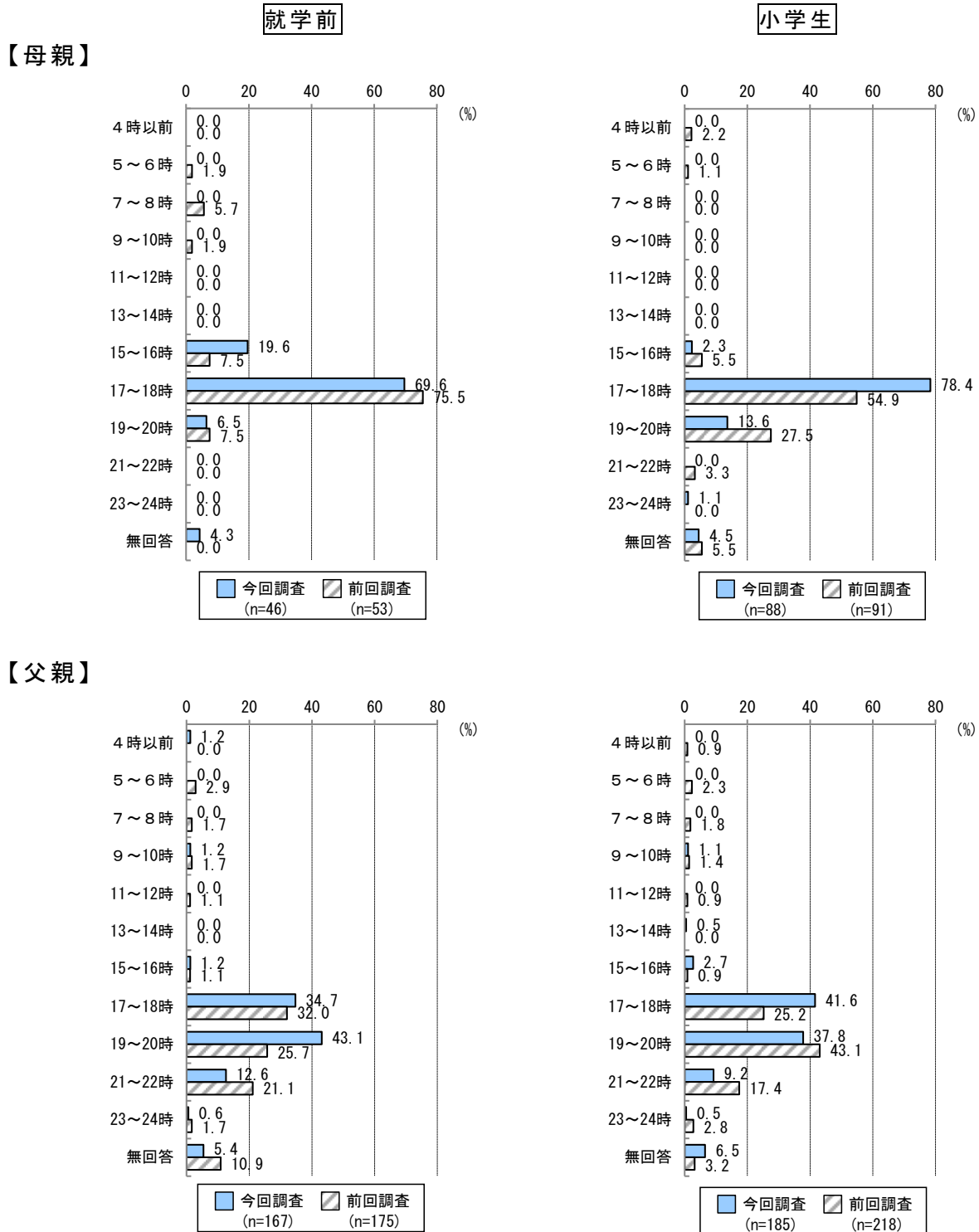
【父親】



フルタイムで就労している母親の家を出る時間は、「7～8時」が最も多く、就学前児童で91.3%、小学生で88.6%となっています。

父親の家を出る時間も「7～8時」が最も多く、就学前児童で77.2%、小学生で67.6%となっています。

■ 帰宅時間



フルタイムで就労している母親の帰宅時間は、「17～18時」が最も多く、就学前児童で69.6%、小学生で78.4%となっています。次いで就学前児童では「15～16時」が19.6%、小学生では「19～20時」が13.6%となっています。

父親の帰宅時間は、就学前児童では「19～20時」が43.1%と最も多く、次いで「17～18時」が34.7%、小学生では「17～18時」が41.6%と最も多く、次いで「19～20時」が37.8%となっています。

Ⅱ. 保護者調査結果

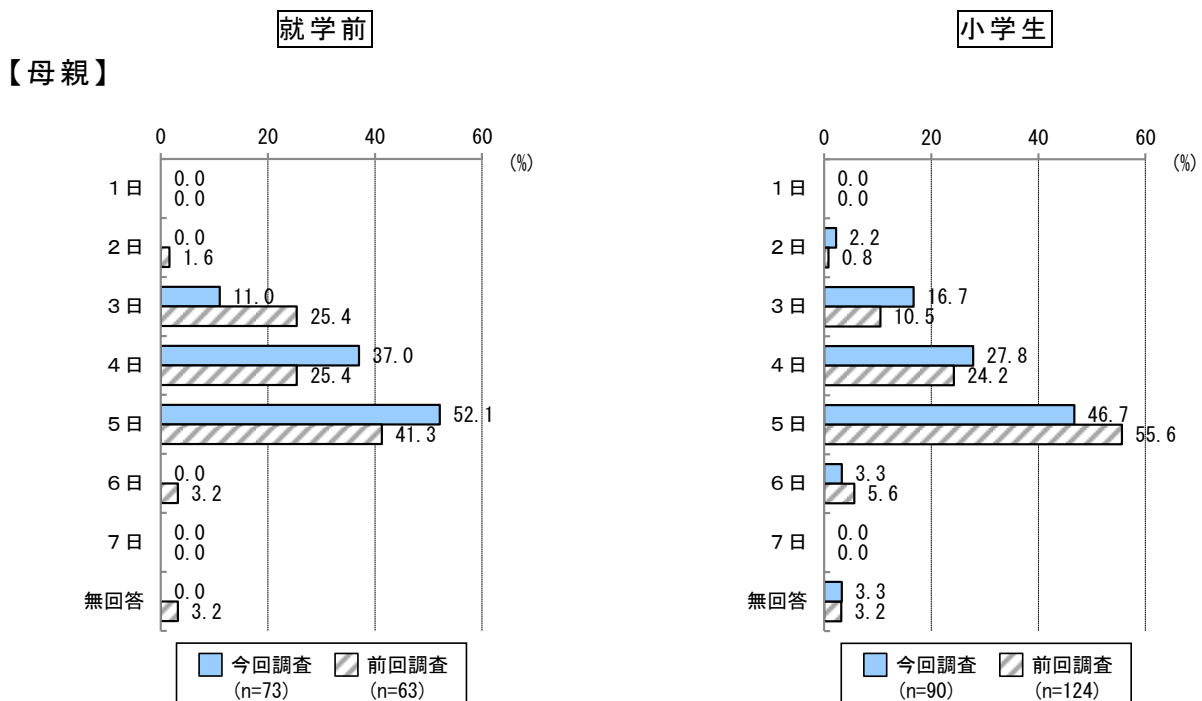
〔 3 〕 パート・アルバイト等で就労している保護者の状況

問9(1)、問9(2)／問15(1)、問15(2)で「パート・アルバイト等で就労している（休業中は含まず）」とお答えの方のみ

【 就学前：問9(1)-1、問9(2)-1／小学生：問15(1)-1、問15(2)-1 】

1 週当たりの「就労日数」、1 日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。（（ ）内に数字でご記入ください。）

■ 1 週当たりの就労日数



【父親】

	就学前児童 今回調査 (n=4)		就学前児童 前回調査 (n=6)	
	件数	%	件数	%
1日	0	0	0	0
2日	0	0	0	0
3日	0	0	1	16.7
4日	2	50.0	0	0
5日	0	0	2	33.3
6日	1	25.0	2	33.3
7日	0	0	0	0
無回答	1	25.0	1	16.7

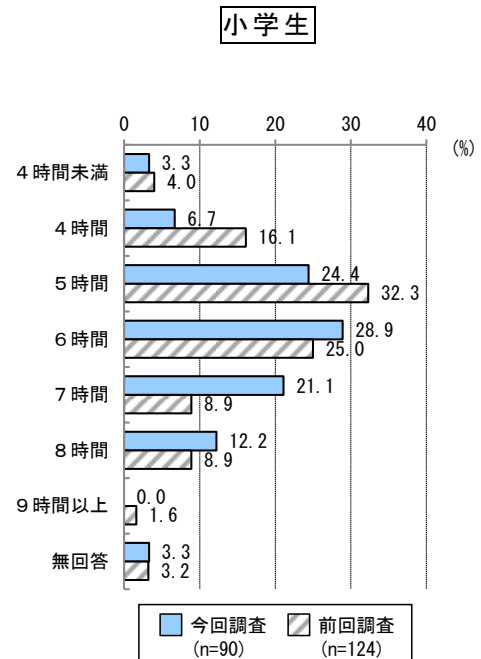
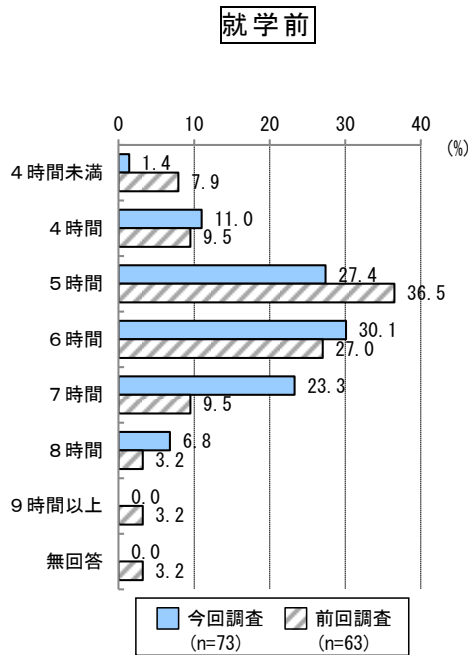
	小学生 今回調査 (n=3)		小学生 前回調査 (n=12)	
	件数	%	件数	%
1日	0	0	0	0
2日	0	0	0	0
3日	0	0	2	16.7
4日	0	0	2	16.7
5日	2	66.7	4	33.3
6日	1	33.3	3	25.0
7日	0	0	0	0
無回答	0	0	1	8.3

パート・アルバイト等で就労している母親の1週当たりの就労日数は、「5日」が最も多く、就学前児童で52.1%、小学生で46.7%となっています。

父親の就労日数は、就学前児童では「4日」が50.0%、小学生では「5日」が66.7%と多くなっています。

■ 1日当たりの就労時間

【母親】



【父親】

	就学前児童 今回調査 (n=4)		就学前児童 前回調査 (n=6)	
	件数	%	件数	%
4時間未満	0	0	0	0
4時間	0	0	0	0
5時間	1	25.0	1	16.7
6時間	2	50.0	1	16.7
7時間	0	0	0	0
8時間	0	0	1	16.7
9時間以上	0	0	2	33.3
無回答	1	25.0	1	16.7

	小学生 今回調査 (n=3)		小学生 前回調査 (n=12)	
	件数	%	件数	%
4時間未満	0	0	0	0
4時間	0	0	0	0
5時間	0	0	5	41.7
6時間	1	33.3	0	0
7時間	0	0	1	8.3
8時間	2	66.7	2	16.7
9時間以上	0	0	3	25.0
無回答	0	0	1	8.3

パート・アルバイト等で就労している母親の1日当たりの就労時間は、「6時間」が最も多く、就学前児童で30.1%、小学生で28.9%となっています。次いで「5時間」が就学前児童で27.4%、小学生で24.4%となっています。

父親の就労時間は、就学前児童では「6時間」が50.0%、小学生では「8時間」が66.7%と多くなっています。

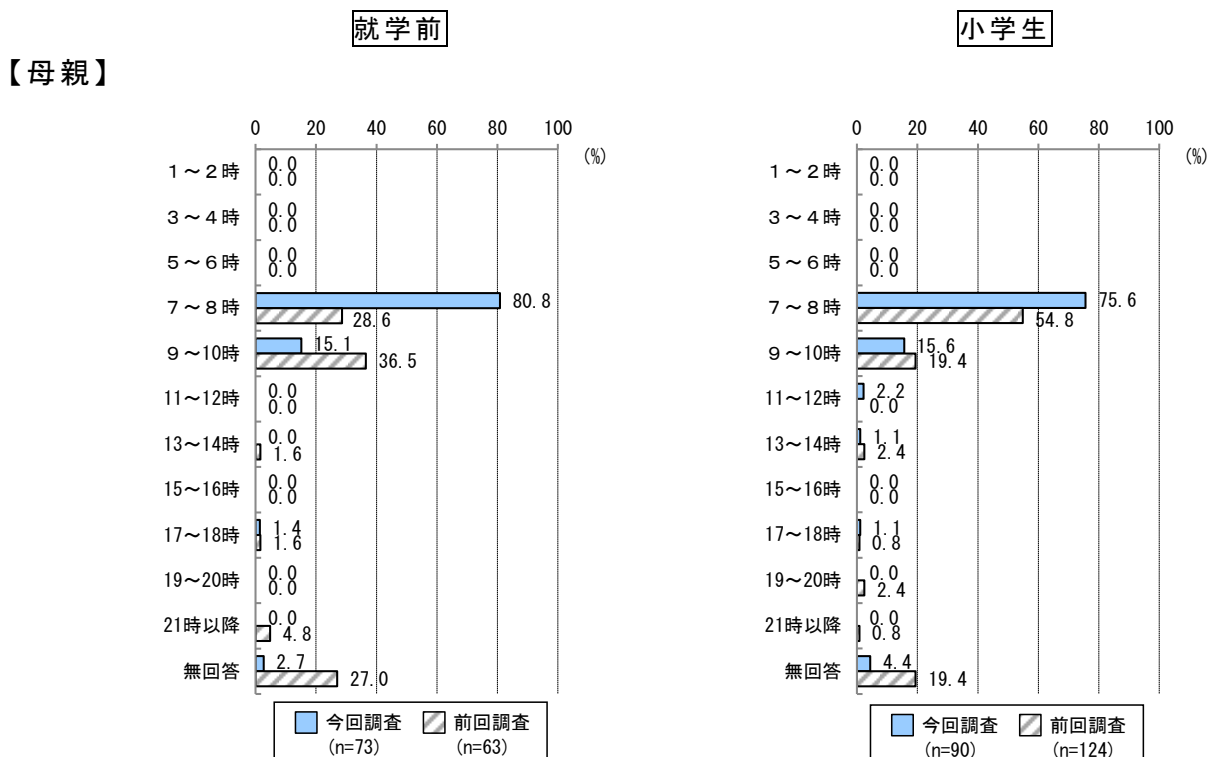
Ⅱ. 保護者調査結果

問9(1)、問9(2)／問15(1)、問15(2)で「パート・アルバイト等で就労している（休業中は含まず）」とお答えの方のみ

【 就学前：問9(1)-2、問9(2)-2／小学生：問15(1)-2、問15(2)-2 】

家を出る時間と帰宅時間をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず（例）8時～18時のように、24時間制でお答えください。（（ ）内に数字でご記入ください。）

■ 家を出る時間



【父親】

	就学前児童 今回調査 (n=4)		就学前児童 前回調査 (n=6)	
	件数	%	件数	%
1～2時	0	0	0	0
3～4時	0	0	0	0
5～6時	0	0	0	0
7～8時	2	50.0	0	0
9～10時	1	25.0	0	0
11～12時	1	25.0	0	0
13～14時	0	0	0	0
15～16時	0	0	0	0
17～18時	0	0	0	0
19～20時	0	0	0	0
21時以降	0	0	0	0
無回答	0	0	6	100.0

	小学生 今回調査 (n=3)		小学生 前回調査 (n=12)	
	件数	%	件数	%
1～2時	0	0	0	0
3～4時	0	0	0	0
5～6時	0	0	1	8.3
7～8時	2	66.7	4	33.3
9～10時	0	0	7	58.3
11～12時	1	33.3	0	0
13～14時	0	0	0	0
15～16時	0	0	0	0
17～18時	0	0	0	0
19～20時	0	0	0	0
21時以降	0	0	0	0
無回答	0	0	0	0

パート・アルバイト等で就労している母親の家を出る時間は、「7～8時」が最も多く、就学前児童で80.8%、小学生で75.6%となっています。

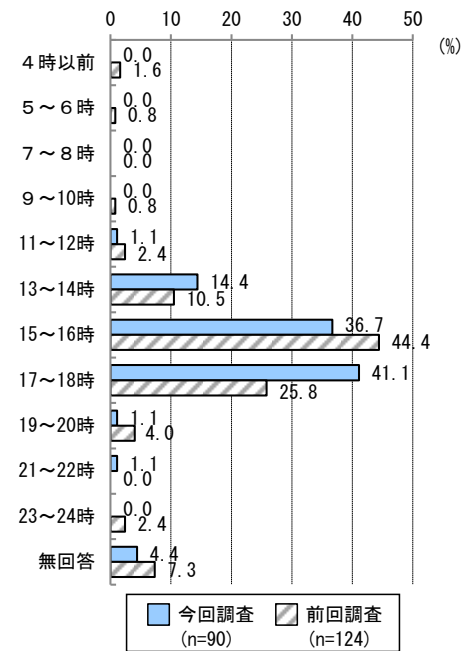
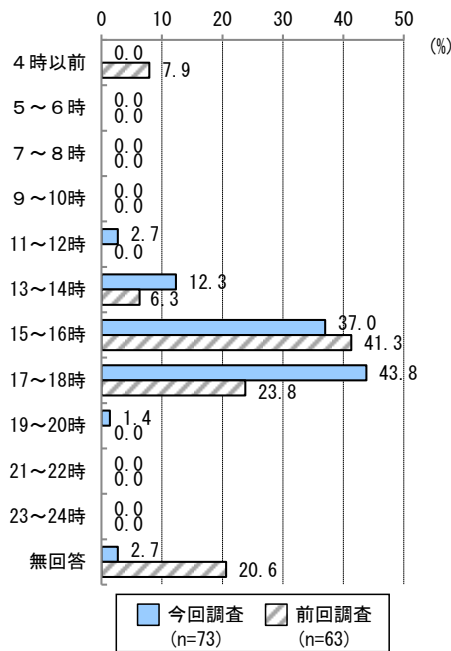
父親の家を出る時間は、「7～8時」が最も多く、就学前児童で50.0%、小学生で66.7%となっています。

■ 帰宅時間

就学前

小学生

【母親】



【父親】

	就学前児童 今回調査 (n=4)		就学前児童 前回調査 (n=6)	
	件数	%	件数	%
4時以前	0	0	0	0
5～6時	0	0	0	0
7～8時	0	0	0	0
9～10時	0	0	0	0
11～12時	0	0	0	0
13～14時	0	0	0	0
15～16時	2	50.0	1	16.7
17～18時	1	25.0	3	50.0
19～20時	0	0	2	33.3
21～22時	1	25.0	0	0
23～24時	0	0	0	0
無回答	0	0	0	0

	小学生 今回調査 (n=3)		小学生 前回調査 (n=12)	
	件数	%	件数	%
4時以前	0	0	2	16.7
5～6時	0	0	2	16.7
7～8時	0	0	0	0
9～10時	0	0	0	0
11～12時	0	0	0	0
13～14時	0	0	0	0
15～16時	1	33.3	2	16.7
17～18時	2	66.7	2	16.7
19～20時	0	0	3	25.0
21～22時	0	0	0	0
23～24時	0	0	0	0
無回答	0	0	1	8.3

パート・アルバイト等で就労している母親の帰宅時間は、「17～18時」が最も多く、就学前児童で43.8%、小学生で41.1%となっています。次いで「15～16時」が就学前児童で37.0%、小学生で36.7%となっています。

父親の帰宅時間は、就学前児童では「15～16時」が50.0%、小学生では「17～18時」が66.7%と多くなっています。

Ⅱ. 保護者調査結果

〔４〕フルタイムへの転換希望

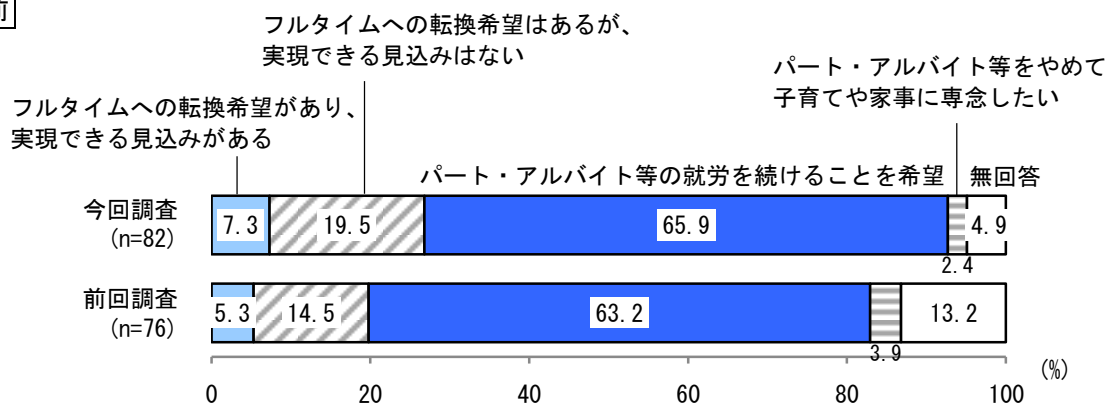
問9(1)、問9(2)／問15(1)、問15(2)で「パート・アルバイト等で就労している」とお答えの方のみ

【 就学前：問10／小学生：問16 】

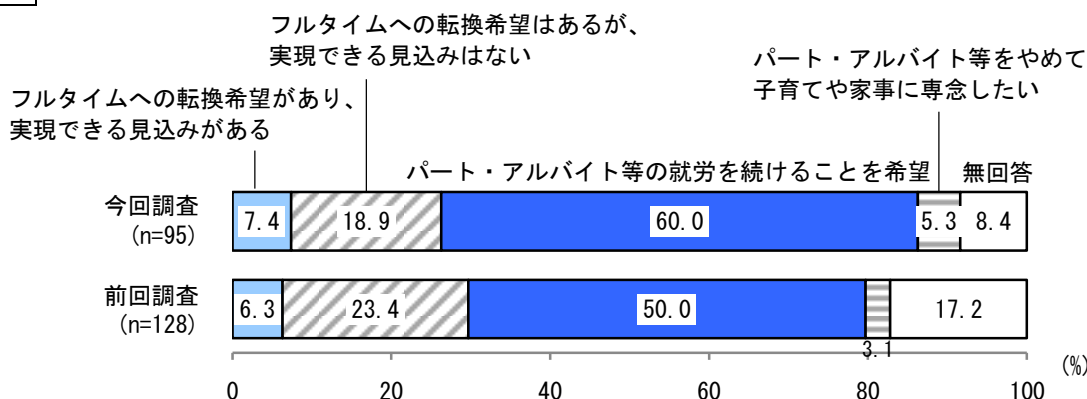
フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号１つに○をつけてください。

【母親】

就学前



小学生



パート・アルバイト等で就労している母親に、フルタイムへの転換希望をたずねたところ、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が就学前児童で 65.9%、小学生で 60.0%と多くなっています。

また、就学前児童では、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」が 7.3%、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が 19.5%で、フルタイムへの転換希望がある人は合計 26.8%となっています。

小学生では、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」が 7.4%、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が 18.9%で、フルタイムへの転換希望がある人は合計 26.3%となっています。

【父親】

就学前

	就学前児童 今回調査 (n=5)		就学前児童 前回調査 (n=7)	
	件数	%	件数	%
フルタイムへの転換希望があり、 実現できる見込みがある	1	20.0	0	0
フルタイムへの転換希望はあるが、 実現できる見込みはない	1	20.0	1	14.3
パート・アルバイト等の就労を 続けることを希望	1	20.0	2	28.6
パート・アルバイト等をやめて 子育てや家事に専念したい	0	0	0	0
無回答	2	40.0	4	57.1

小学生

	小学生 今回調査 (n=3)		小学生 前回調査 (n=13)	
	件数	%	件数	%
フルタイムへの転換希望があり、 実現できる見込みがある	1	33.3	0	0
フルタイムへの転換希望はあるが、 実現できる見込みはない	0	0	1	7.7
パート・アルバイト等の就労を 続けることを希望	0	0	3	23.1
パート・アルバイト等をやめて 子育てや家事に専念したい	0	0	0	0
無回答	2	66.7	9	69.2

パート・アルバイト等で就労している父親に、フルタイムへの転換希望をたずねたところ、就学前児童では、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」がそれぞれ1件ずつとなっています。

小学生では、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」が1件となっています。

Ⅱ. 保護者調査結果

〔５〕就労していない保護者の就労希望

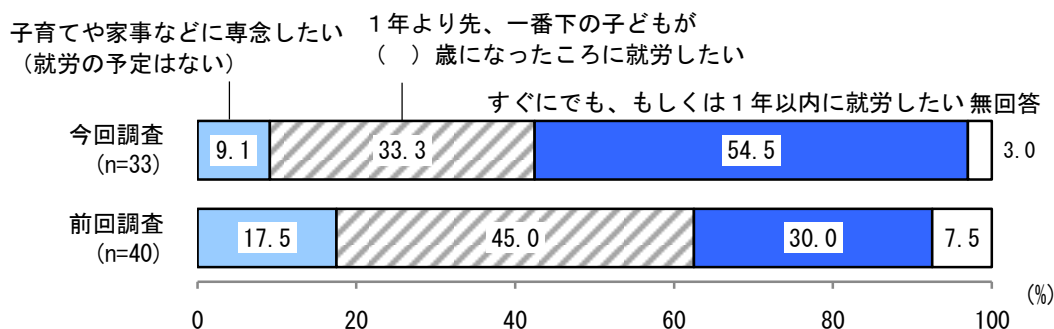
問9(1)、問9(2)／問15(1)、問15(2)で「就労していない」とお答えの方のみ
【就学前：問11／小学生：問17】

就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する（ ）内には数字をご記入ください。

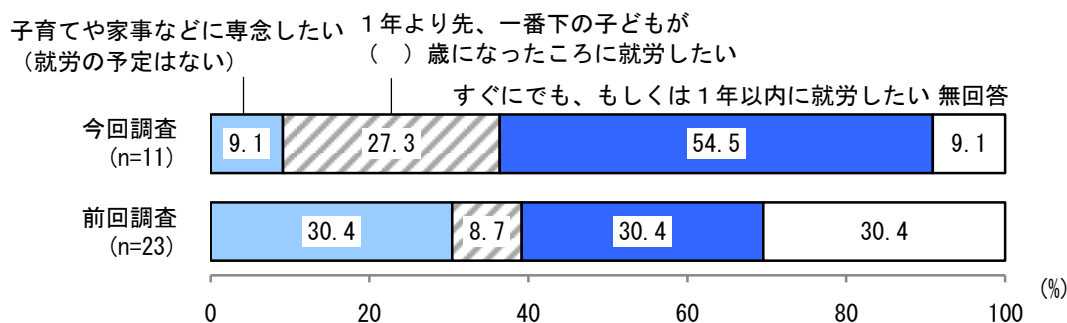
■就労希望

【母親】

就学前



小学生



就労していない母親の就労の希望は、就学前児童では、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が54.5%、「1年より先、一番下の子どもが（ ）歳になったころに就労したい」が33.3%で、就労希望者は合計87.8%となっています。

小学生では、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が54.5%、「1年より先、一番下の子どもが（ ）歳になったころに就労したい」が27.3%で、就労希望者は合計81.8%となっています。

【父親】

就学前

→ 該当者は2名で、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が1件（50.0%）、無回答が1件（50.0%）となっています。

小学生

→ 該当者なし

「1年より先、一番下の子どもが（ ）歳になったところに就労したい」とお答えの方のみ

■ 一番下の子どもが何歳になれば就労したいか

【母親】

就学前

	就学前児童 今回調査 (n=11)		就学前児童 前回調査 (n=18)	
	件数	%	件数	%
0歳	0	0	0	0
1歳	1	9.1	1	5.6
2歳	2	18.2	6	33.3
3歳	8	72.7	10	55.6
4歳	0	0	0	0
5歳	0	0	1	5.6
6歳	0	0	0	0
7歳	0	0	0	0
8歳	0	0	0	0
9歳	0	0	0	0
10歳	0	0	0	0
11歳	0	0	0	0
12歳	0	0	0	0
13歳以上	0	0	0	0
無回答	0	0	0	0

小学生

	小学生 今回調査 (n=3)		小学生 前回調査 (n=2)	
	件数	%	件数	%
0歳	0	0	0	0
1歳	0	0	0	0
2歳	0	0	1	50.0
3歳	3	100.0	1	50.0
4歳	0	0	0	0
5歳	0	0	0	0
6歳	0	0	0	0
7歳	0	0	0	0
8歳	0	0	0	0
9歳	0	0	0	0
10歳	0	0	0	0
11歳	0	0	0	0
12歳	0	0	0	0
13歳以上	0	0	0	0
無回答	0	0	0	0

「1年より先、一番下の子どもが（ ）歳になったところに就労したい」母親が、就労を考える子どもの年齢は、「3歳」が最も多く、就学前児童で72.7%、小学生で100.0%となっています。

【父親】

就学前

→ 該当者なし

小学生

→ 該当者なし

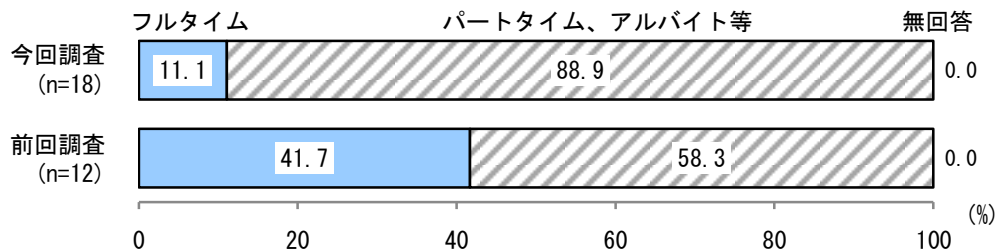
Ⅱ. 保護者調査結果

「すぐにでも、もしくは１年以内に就労したい」とお答えの方のみ

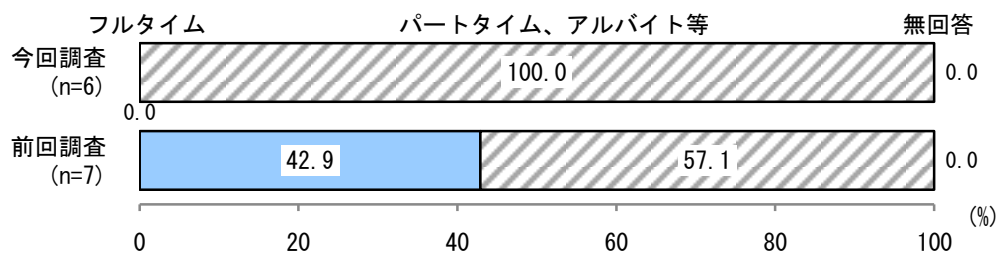
■ 希望する就労形態

【母親】

就学前



小学生



「すぐにでも、もしくは１年以内に就労したい」母親の希望する就労形態は、就学前児童では「フルタイム」が 11.1%、「パートタイム、アルバイト等」が 88.9%となっています。小学生では「フルタイム」が 100.0%となっています。

【父親】

就学前

→ 該当者は１名で、無回答が１件（100.0%）となっています。

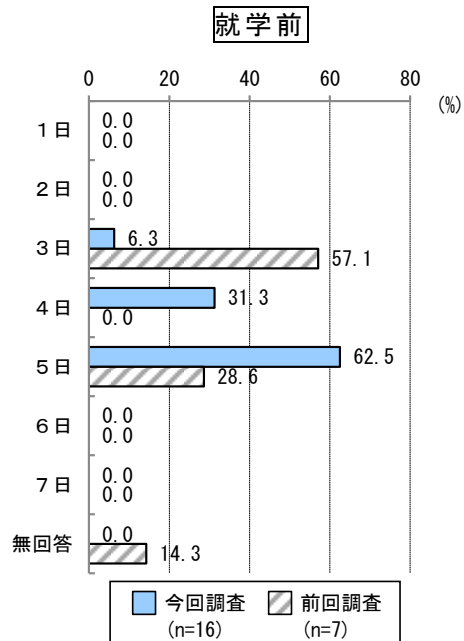
小学生

→ 該当者なし

「パートタイム、アルバイト等」で就労したいとお答えの方のみ

■ 1 週当たりの希望就労日数

【母親】



小学生

	小学生 今回調査 (n=6)		小学生 前回調査 (n=4)	
	件数	%	件数	%
1日	0	0	0	0
2日	0	0	0	0
3日	3	50.0	2	50.0
4日	0	0	0	0
5日	3	50.0	2	50.0
6日	0	0	0	0
7日	0	0	0	0
無回答	0	0	0	0

「パートタイム、アルバイト等」で就労したい母親の、1 週当たりの希望就労日数は、就学前児童では「5 日」が 62.5%と多く、小学生では「3 日」「5 日」が 3 件ずつとなっています。

【父親】

就学前

→ 該当者なし

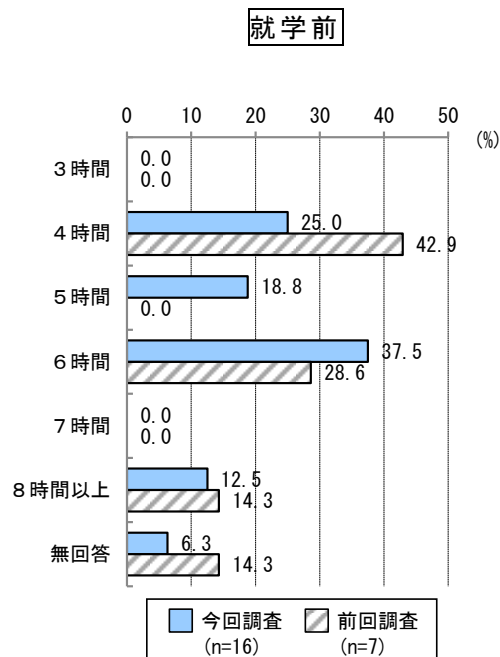
小学生

→ 該当者なし

Ⅱ. 保護者調査結果

■ 1日当たりの希望就労時間

【母親】



小学生

	小学生 今回調査 (n=6)		小学生 前回調査 (n=4)	
	件数	%	件数	%
3時間	0	0	0	0
4時間	0	0	2	50.0
5時間	3	50.0	1	25.0
6時間	3	50.0	0	0
7時間	0	0	1	25.0
8時間以上	0	0	0	0
無回答	0	0	0	0

「パートタイム、アルバイト等」で就労したい母親の、1日当たりの就労時間は、就学前児童では「6時間」が37.5%と最も多く、小学生では「5時間」「6時間」が3件ずつとなっています。

【父親】

就学前

→ 該当者なし

小学生

→ 該当者なし

5 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について

〔1〕育児休業の取得状況

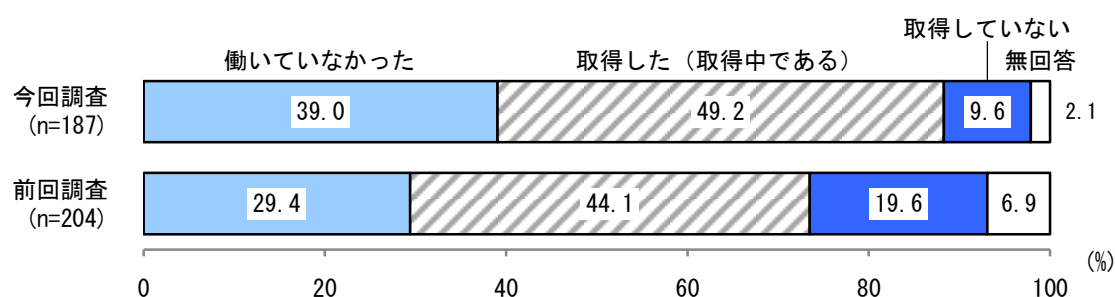
【就学前：問30／小学生：問25】

お子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。父親、母親それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。また、取得していない方はその理由をご記入ください。
(自営業の方等は「3. 取得していない」に○をつけてください。)

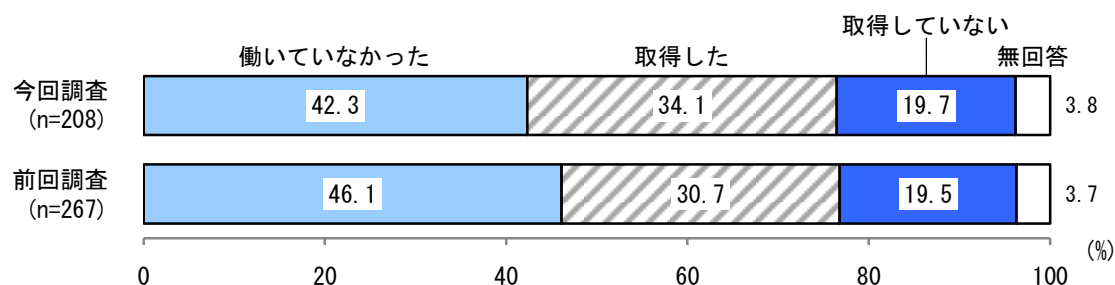
■取得状況

【母親】

就学前



小学生



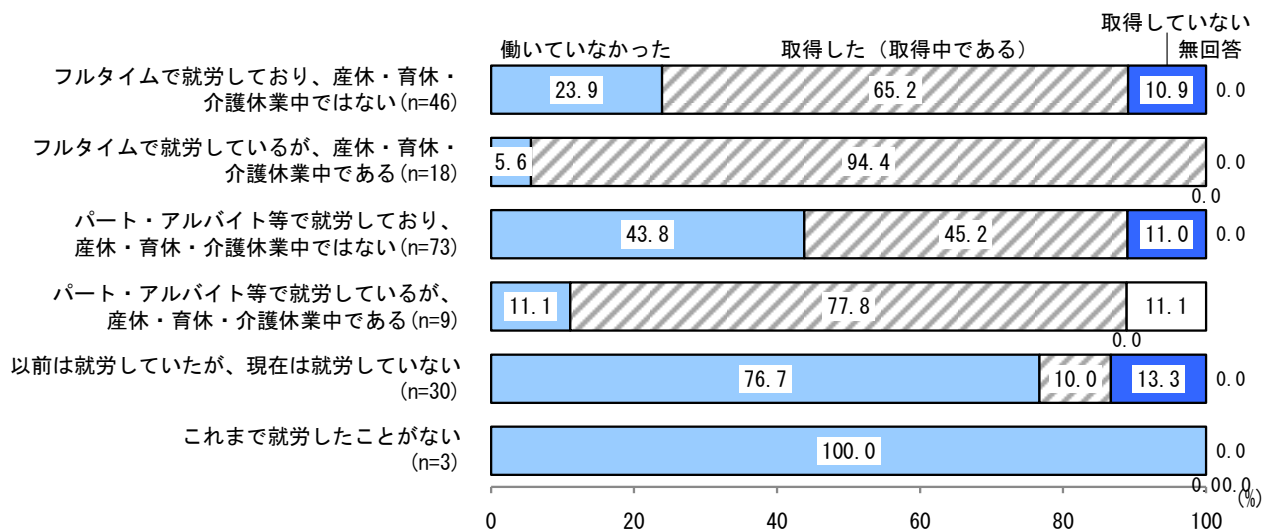
母親の育児休業の取得状況について、就学前児童では、「取得した(取得中である)」が49.2%、「取得していない」が9.6%、「働いていなかった」が39.0%となっています。前回調査に比べて、「取得した(取得中である)」が5.1ポイント増加しています。

小学生では、「取得した」が34.1%、「取得していない」が19.7%、「働いていなかった」が42.3%となっています。

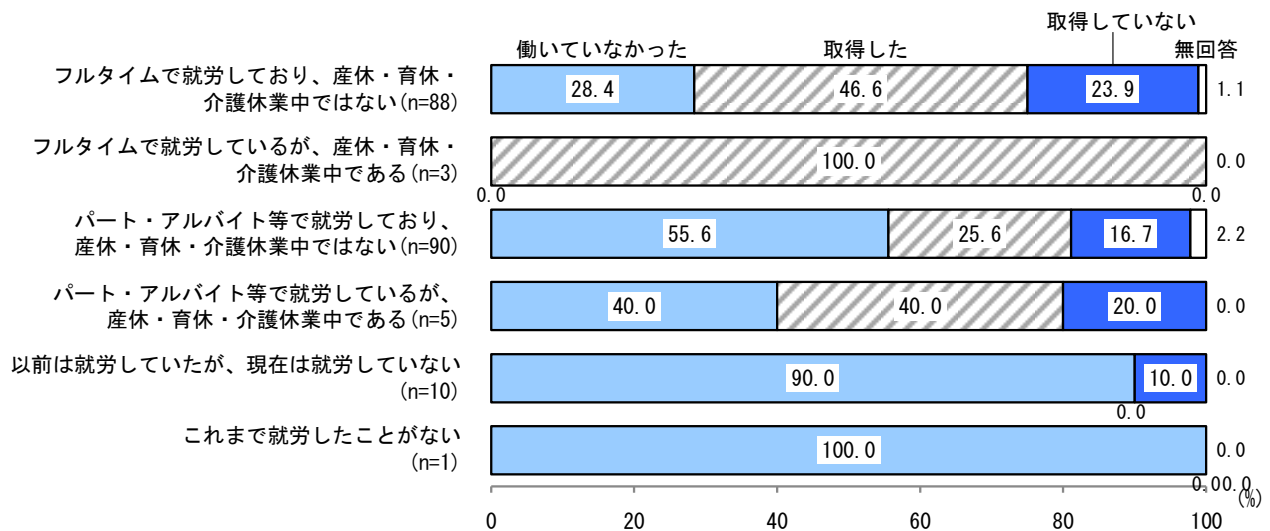
Ⅱ. 保護者調査結果

【母親の就労状況別×育児休業取得状況】

就学前



小学生

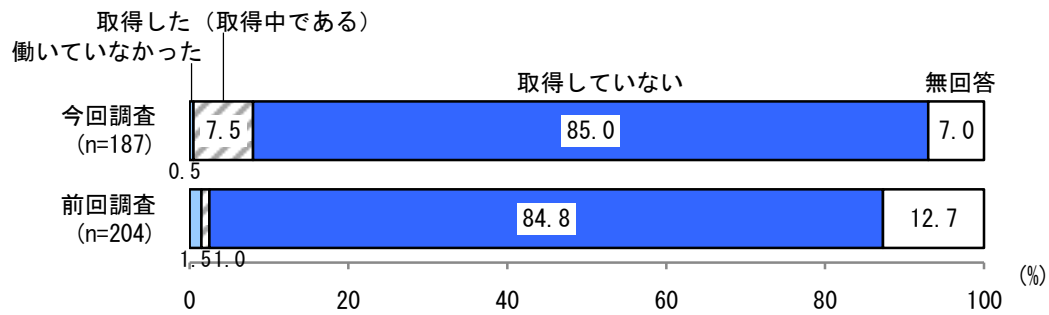


母親の就労状況別に育児休業の取得状況をみると、就学前児童では、「取得した（取得中である）」はフルタイムで就労している母親で6割を超えています。パート・アルバイト等で就労している母親（休業中ではない）では4割と少なくなっています。

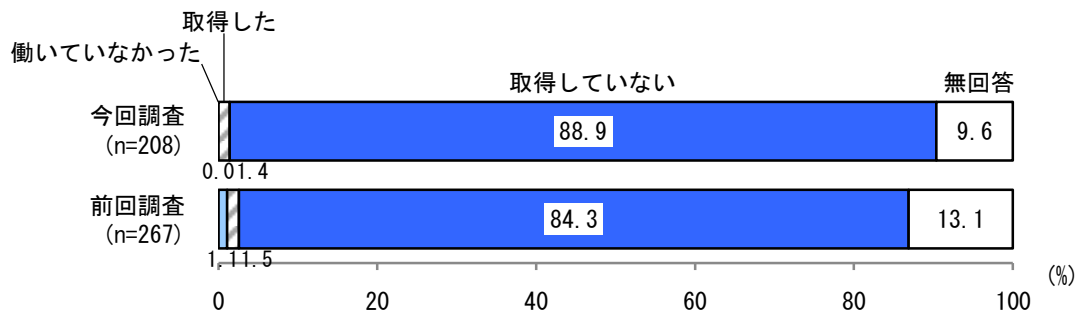
小学生では、フルタイムで就労している母親（休業中ではない）で「取得した（取得中である）」が46.6%と多くなっています。パート・アルバイト等で就労している母親（休業中ではない）では「働いていなかった」が55.6%と多くなっています。

【父親】

就学前



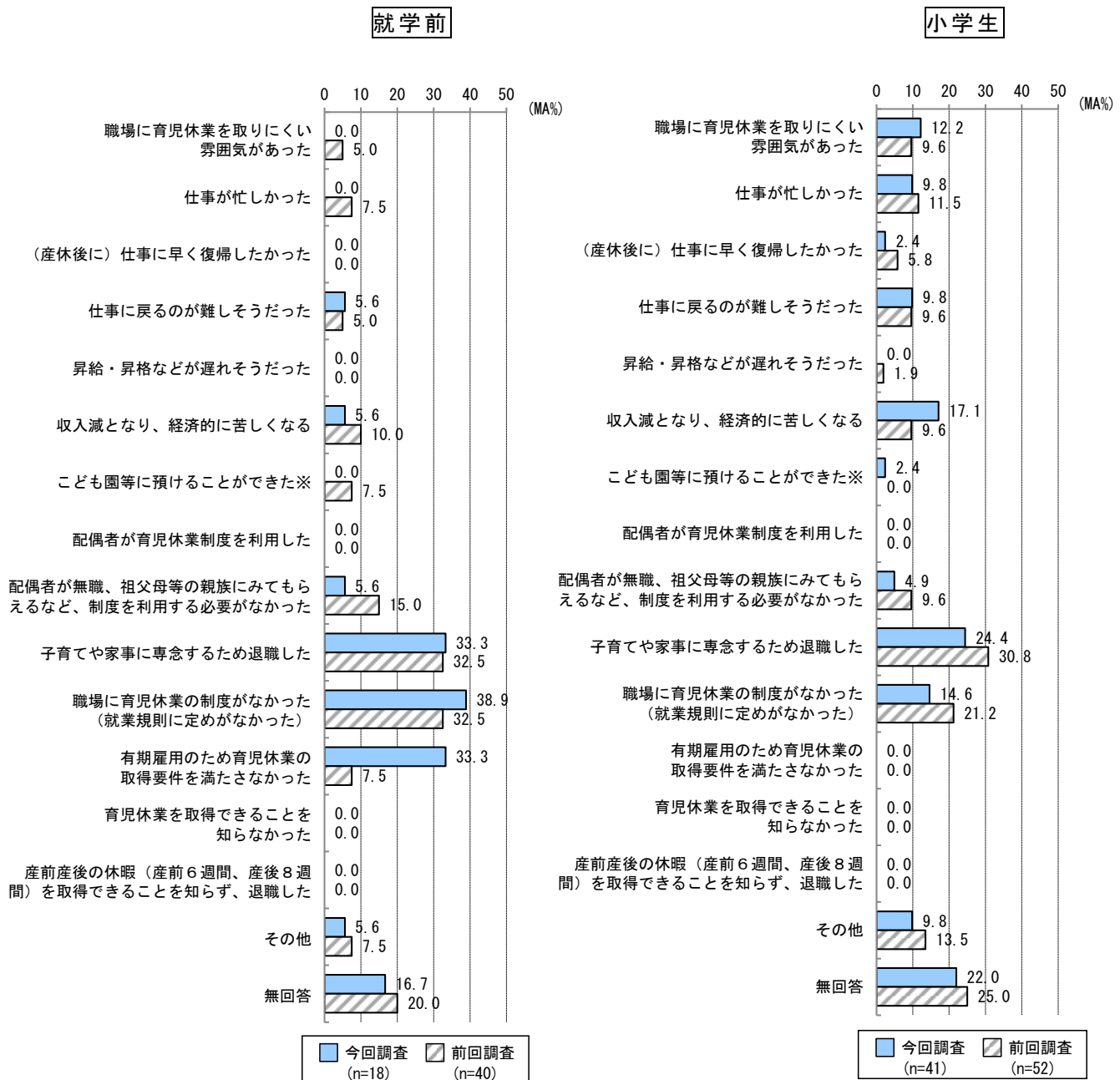
小学生



父親の育児休業の取得状況については、就学前児童、小学生ともに「取得していない」が8割台と多くなっていますが、就学前児童については「取得した（取得中である）」が6.5ポイント増加しています。

Ⅱ. 保護者調査結果

■ 育児休業を取得していない理由 【母親】

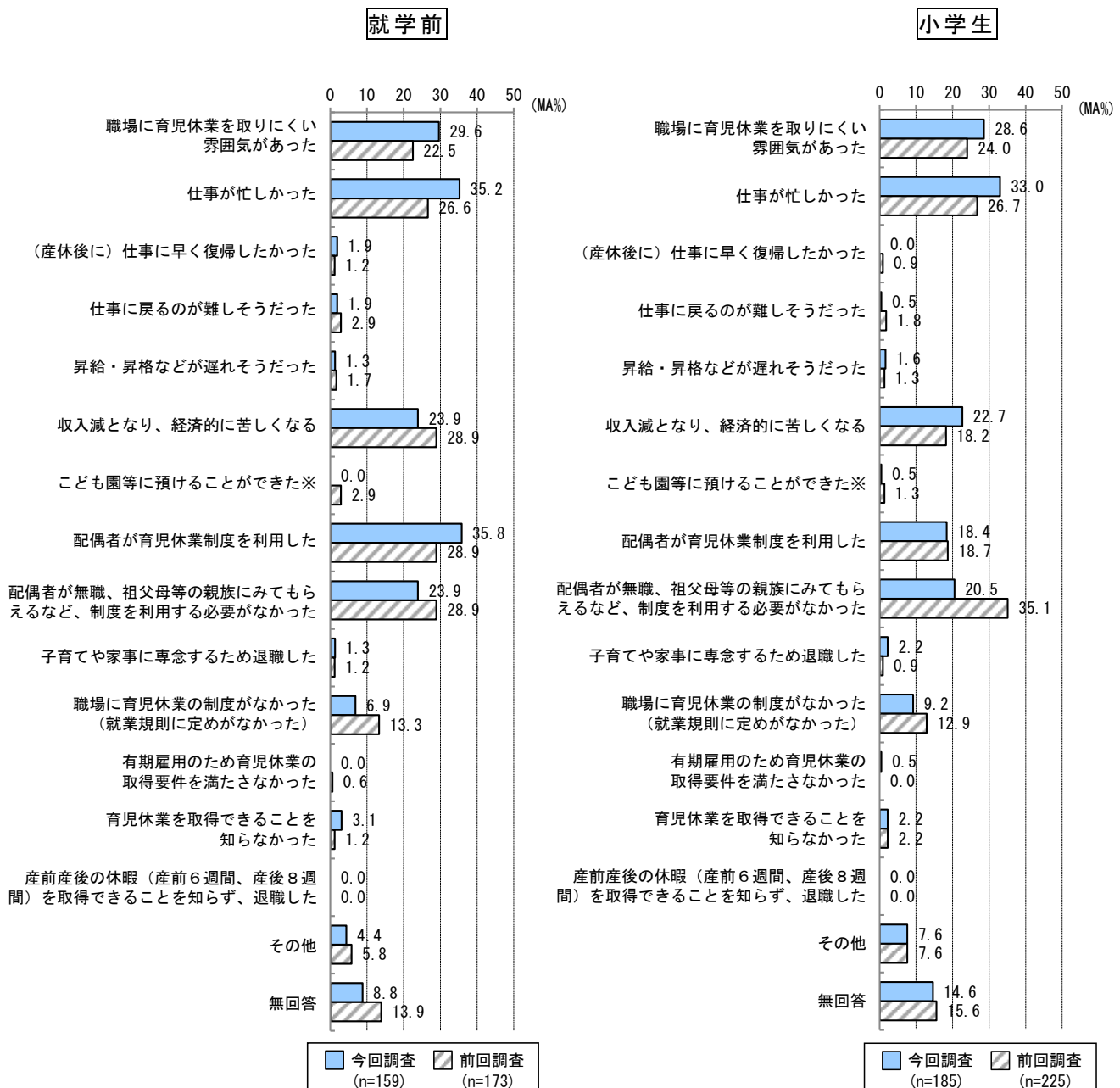


母親の、育児休業を取得していない理由について、就学前児童では、「職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)」が 38.9%と最も多くなっています。

小学生では、「子育てや家事に専念するため退職した」が 24.4%と最も多く、次いで「収入減となり、経済的に苦しくなる」が 17.1%となっています。

前回調査に比べて、就学前児童では「育児休業を取得していない」母親の総数が半数以下になっており、この問いの対象者数自体がかなり減少しています。小学生では「収入減となり、経済的に苦しくなる」が 7.5 ポイント増加している一方で、「子育てや家事に専念するため退職した」が 6.4 ポイント、「職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)」が 6.6 ポイント減少しています。

【父親】



※前回調査では、「保育所などに預けることができた」

父親の、育児休業を取得していない理由について、就学前児童では、「配偶者が育児休業制度を利用した」が35.8%と最も多く、次いで「仕事が忙しかった」が35.2%となっています。前回調査に比べて、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が7.1ポイント、「仕事が忙しかった」が8.6ポイント、「配偶者が育児休業制度を利用した」が6.9ポイント増加している一方で、「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」が5.0ポイント、「職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)」が6.4ポイント減少しています。

小学生では、「仕事が忙しかった」が33.0%と最も多く、次いで「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が28.6%、「収入減となり、経済的に苦しくなる」が22.7%となっています。前回調査に比べて、「仕事が忙しかった」が6.3ポイント増加している一方で、「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」が14.6ポイント減少しています。

Ⅱ. 保護者調査結果

〔２〕育児休業取得後の職場復帰の状況

問30／問25で「取得した（取得中である）」とお答えの方のみ

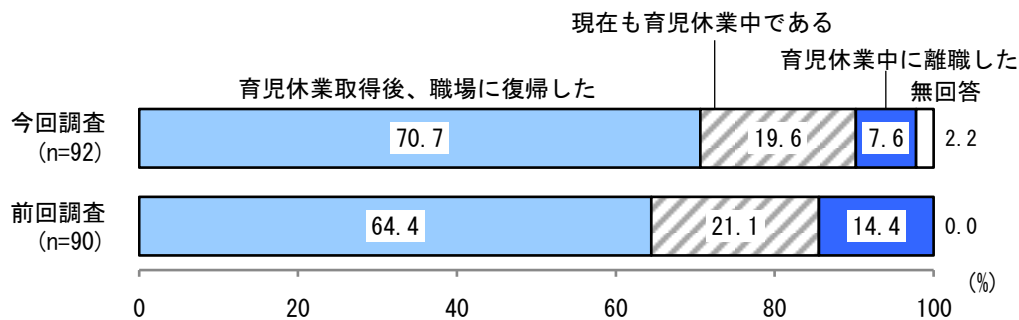
【 就学前：問30-1／小学生：問25-1 】

育児休業取得後、職場に復帰しましたか。

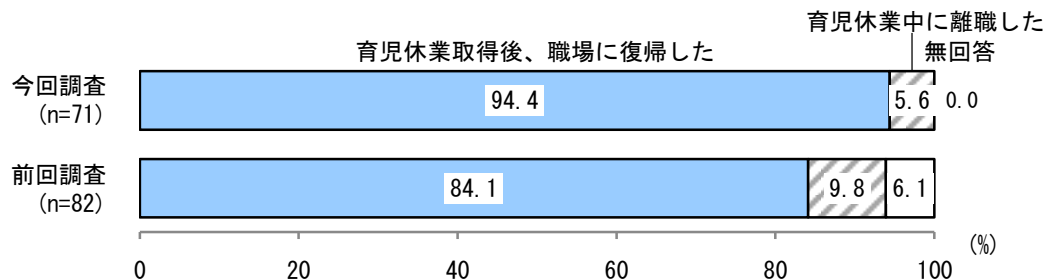
当てはまる番号１つに○をつけてください。

【母親】

就学前



小学生



育児休業を「取得した（取得中である）」母親で、「育児休業取得後、職場に復帰した」人は就学前児童で 70.7%、小学生で 94.4%となっています。

前回調査に比べて、就学前児童・小学生のどちらも「育児休業取得後、職場に復帰した」が５ポイント以上増加しています。

【父親】

就学前

- 該当者は 14 名で、「育児休業取得後、職場に復帰した」が 13 件（92.9%）、「育児休業中に離職した」が 1 件（7.1%）となっています。

小学生

- 該当者は 3 名で、「育児休業取得後、職場に復帰した」が 3 件（100.0%）となっています。

〔３〕職場復帰のタイミング

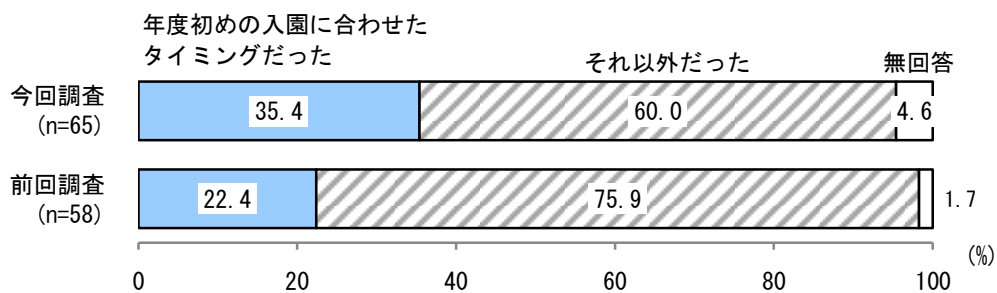
問30-1／問25-1で「育児休業取得後、職場に復帰した」とお答えの方のみ

【就学前：問30-2／小学生：問25-2】

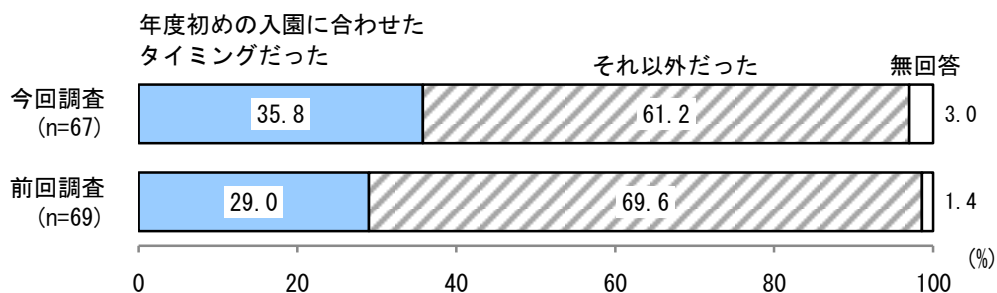
育児休業から職場に復帰したのは、年度初めのこども園入園等に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。どちらか1つに○をつけてください。
 ※年度初めでのこども園入園等を希望して、1月～2月頃復帰して一時的に認可外保育所に入所した場合なども「1」に当てはまります。また、年度初めでの入園を希望して復帰したが、実際には希望するこども園等に入園できなかったという場合も「1」を選択してください。

【母親】

就学前



小学生



「育児休業取得後、職場に復帰した」母親の、職場に復帰したタイミングは、就学前児童では、「年度初めの入園に合わせたタイミングだった」が35.4%、「それ以外だった」が60.0%となっています。前回調査に比べて、「それ以外だった」は15.9ポイント減少しています。小学生では、「年度初めの入園に合わせたタイミングだった」が35.8%、「それ以外だった」が61.2%となっています。前回調査に比べて、「それ以外だった」は8.4ポイント減少しています。

【父親】

就学前

→ 該当者は13名で、「それ以外だった」が11件（84.6%）、無回答が2件（15.4%）となっています。

小学生

→ 該当者は3名で、「年度初めの入園に合わせたタイミングだった」が1件（33.3%）、「それ以外だった」が2件（66.7%）となっています。

Ⅱ. 保護者調査結果

〔４〕 育児休業の取得期間

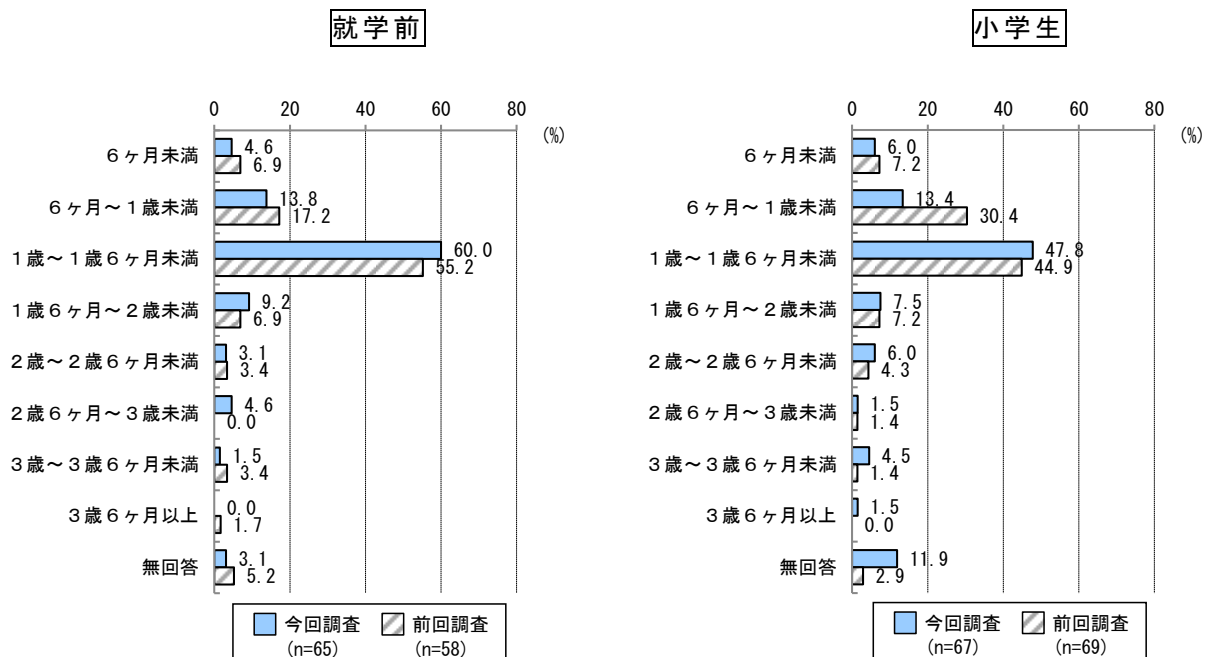
問30-1／問25-1で「育児休業取得後、職場に復帰した」とお答えの方のみ

【 就学前：問30-3／小学生：問25-3 】

育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。

() 内に数字でご記入ください。

【母親】



「育児休業取得後、職場に復帰した」母親の、実際の取得期間は、「1歳～1歳6ヶ月未満」が最も多く、就学前児童で60.0%、小学生で47.8%となっています。次いで「6ヶ月～1歳未満」が、就学前児童で13.8%、小学生で13.4%となっています。

前回調査に比べて、小学生で「6ヶ月～1歳未満」が17.0ポイント減少しています。

【父親】

就学前

→ 該当者は13名で、「6ヶ月未満」が7件（53.8%）、「1歳～1歳6ヶ月未満」、無回答がそれぞれ3件ずつ（23.1%）となっています。

小学生

→ 該当者は3名で、「6ヶ月未満」が2件（66.7%）、「2歳～2歳6ヶ月未満」が1件（33.3%）となっています。

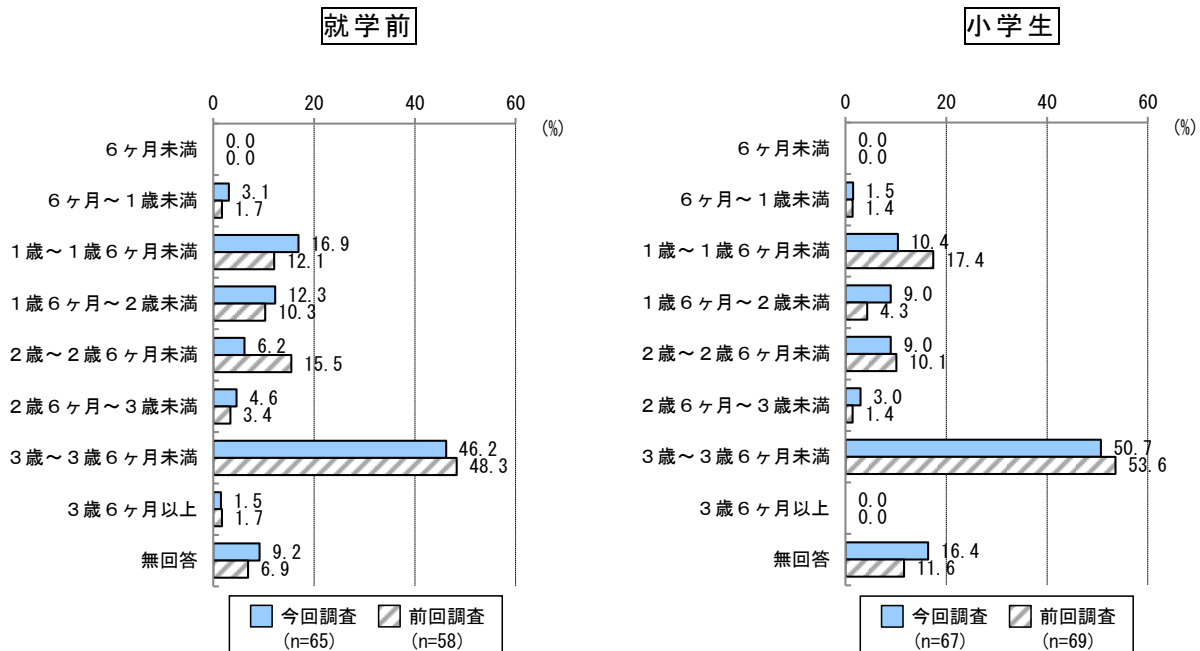
〔５〕 ３歳まで育児休暇を取得できる制度がある場合に希望する期間

問30-1／問25-1で「育児休業取得後、職場に復帰した」とお答えの方のみ

【 就学前：問30-4／小学生：問25-4 】

お勤め先に、育児のために３歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。（ ）内に数字でご記入ください。

【母親】



「育児休業取得後、職場に復帰した」母親が、３歳まで休暇を取得できる制度があった場合に希望する取得期間は、「３歳～３歳６ヶ月未満」が最も多く、就学前児童で46.2%、小学生で50.7%となっています。

【父親】

就学前

→ 該当者は13名で、「１歳～１歳６ヶ月未満」が５件（38.5%）、「６ヶ月未満」が４件（30.8%）、「３歳～３歳６ヶ月未満」が１件（7.7%）、無回答が３件（23.1%）となっています。

小学生

→ 該当者は３名で、「３歳～３歳６ヶ月未満」が３件（100.0%）となっています。

Ⅱ. 保護者調査結果

〔 6 〕 希望の時期に職場復帰しなかった理由

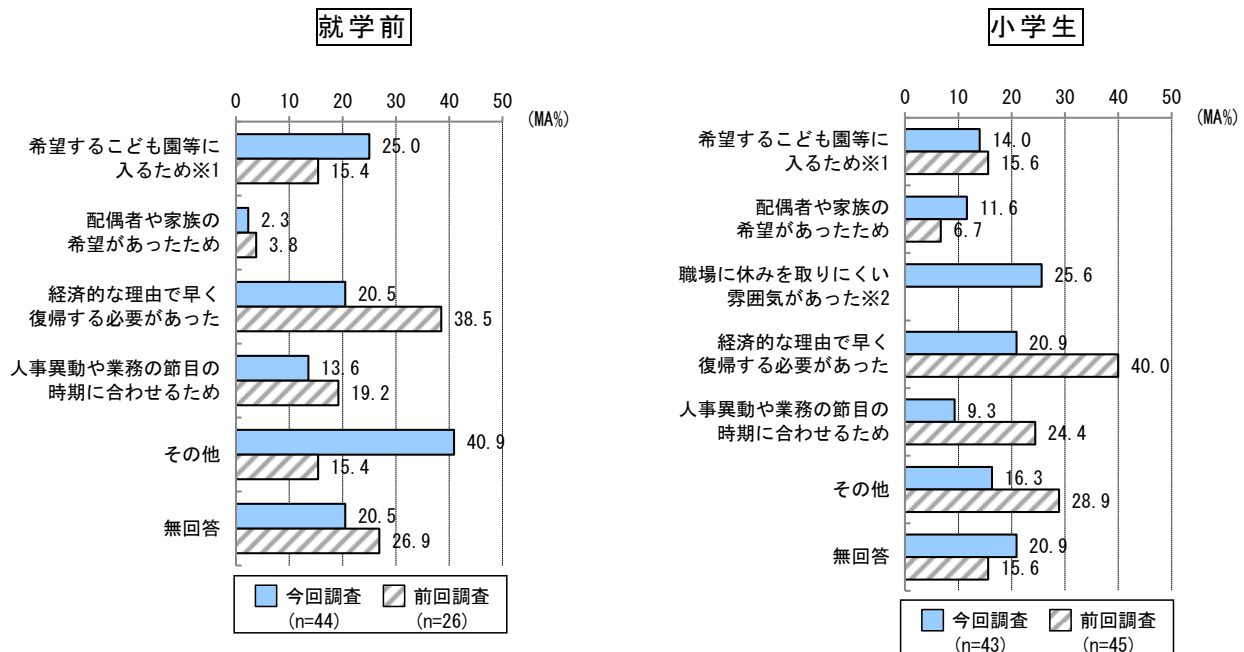
問30-3、問30-4/問25-3、問25-4で実際の復帰と希望が異なる方のみ
【 就学前：問30-5／小学生：問25-5 】

希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。

※当てはまる番号すべてに○をつけてください。

（ 1 ）「希望」より早く復帰した方

【母親】



※1 前回調査では、「希望する保育所に入るため」

※2 「職場に休みを取りにくい雰囲気があった」は、前回調査では選択肢なし

希望より早く職場復帰した母親の、早く復帰した理由について、就学前児童では、「その他」が 40.9%と最も多く、次いで「希望するこども園等に入るため」が 25.0%、「経済的な理由で早く復帰する必要があった」が 20.5%となっています。「その他」の主な意見は職場の制度により 1 年しか取得できない、職場の雰囲気・人手不足などとなっています。

小学生では、「職場に休みを取りにくい雰囲気があった」が 25.6%と最も多く、次いで「経済的な理由で早く復帰する必要があった」が 20.9%となっています。

【父親】

就学前

→ 該当者は 4 名で、「経済的な理由で早く復帰する必要があった」が 3 件（75.0%）、無回答が 1 件（25.0%）となっています。

小学生

→ 該当者は 3 名で、「職場に休みを取りにくい雰囲気があった」「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」「その他」がそれぞれ 1 件ずつ（33.3%）となっています。

(2)「希望」より遅く復帰した方

【母親】

就学前

→ 該当者は3名で、「希望することも園等に入れなかったため」「その他」、無回答がそれぞれ1件ずつ(33.3%)となっています。

小学生

→ 該当者は3名で、無回答が3件(100.0%)となっています。

【父親】

就学前

→ 該当者なし

小学生

→ 該当者なし

Ⅱ. 保護者調査結果

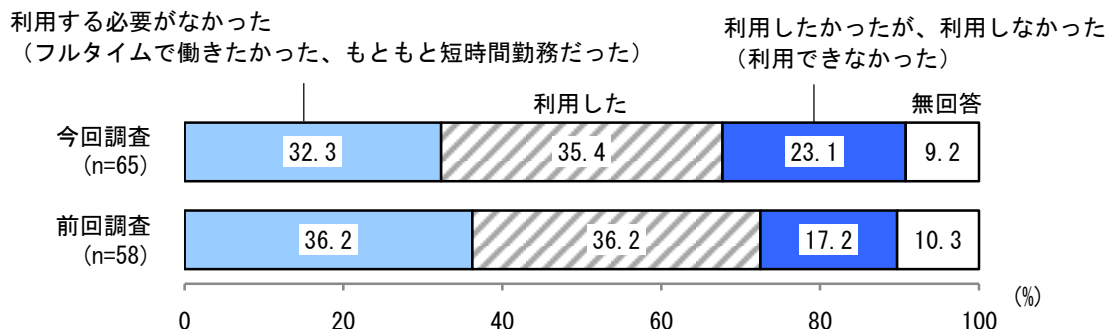
〔 7 〕 短時間勤務制度の利用状況

問30-1／問25-1で「育児休業取得後、職場に復帰した」とお答えの方のみ
【 就学前：問30-6／小学生：問25-6 】

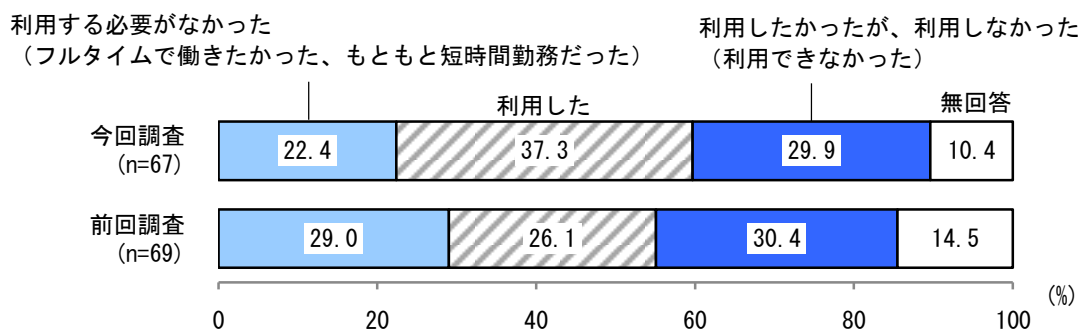
育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。
当てはまる番号1つに○をつけてください。

【母親】

就学前



小学生



「育児休業取得後、職場に復帰した」母親で、短時間勤務制度を「利用した」は、就学前児童で 35.4%、小学生で 37.3%となっています。小学生では、前回調査に比べて、「利用した」は 11.2 ポイント増加しています。

【父親】

就学前

- 該当者は 13 名で、「利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった）」が 9 件（69.2%）、「利用した」が 1 件（7.7%）、無回答が 3 件（23.1%）となっています。

小学生

- 該当者は 3 名で、「利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった）」が 2 件（66.7%）、「利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」が 1 件（33.3%）となっています。

〔 8 〕 短時間勤務制度を利用しなかった理由

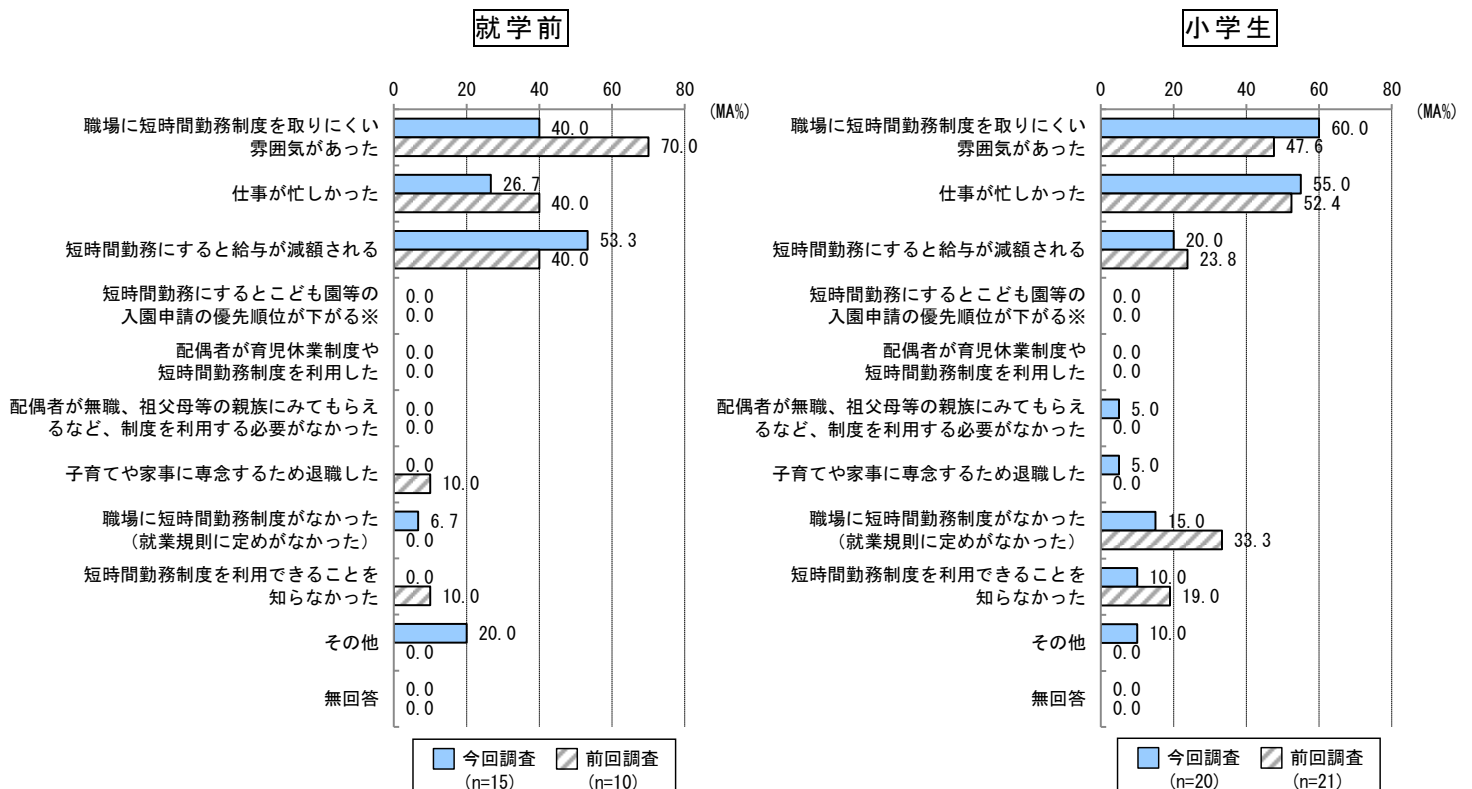
問30-6/問25-6で「利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」とお答えの方のみ

【 就学前：問30-7／小学生：問25-7 】

短時間勤務制度を利用しなかった理由は何ですか。

当てはまる番号すべてに○をつけてください。

【母親】



※前回調査では、「短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる」

短時間勤務制度を「利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」母親の、利用しなかった理由は、就学前児童では、「短時間勤務にすると給与が減額される」が 53.3%と最も多く、次いで「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」が 40.0%、「仕事が忙しかった」が 26.7%となっています。

小学生では、「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」が 60.0%と最も多く、次いで「仕事が忙しかった」が 55.0%、「短時間勤務にすると給与が減額される」が 20.0%となっています。

【父親】

就学前

→ 該当者なし

小学生

→ 該当者は1名で、「配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した」「職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」がそれぞれ1件ずつ（100.0%）となっています。

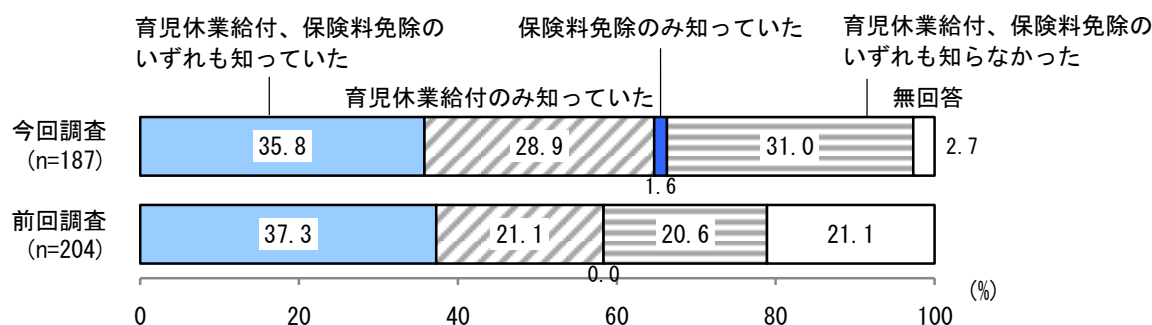
Ⅱ. 保護者調査結果

〔 9 〕 育児休業給付及び保険料免除の認知状況

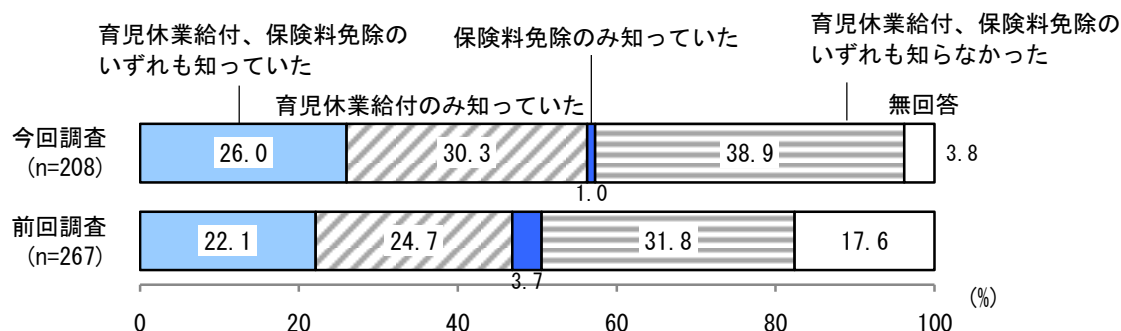
【 就学前：問31／小学生：問26 】

子どもが原則1歳（こども園等における保育の実施が行われないなど一定の要件を満たす場合は2歳）になるまで育児休業給付が支給される仕組み、子どもが満3歳になるまでの育児休業等（法定の育児休業及び企業が法定を上回る期間設けた育児休業に準ずる措置）期間について一部の健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存じでしたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

就学前



小学生



育児休業給付及び保険料免除の認知状況は、就学前児童では、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」が35.8%、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」が31.0%、「育児休業給付のみ知っていた」が28.9%となっています。

小学生では、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」が38.9%、「育児休業給付のみ知っていた」が30.3%、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」が26.0%となっています。

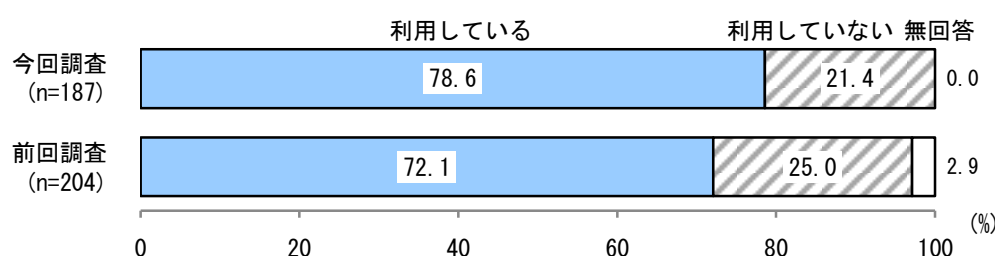
6 定期的な教育・保育事業の利用状況（就学前児童のみ）

※「定期的な教育・保育事業」：月単位で定期的に利用している事業
幼稚園や保育所など、問 12-1 に示した事業が含まれる

〔 1 〕 利用の有無

【 就学前：問12／小学生：－ 】

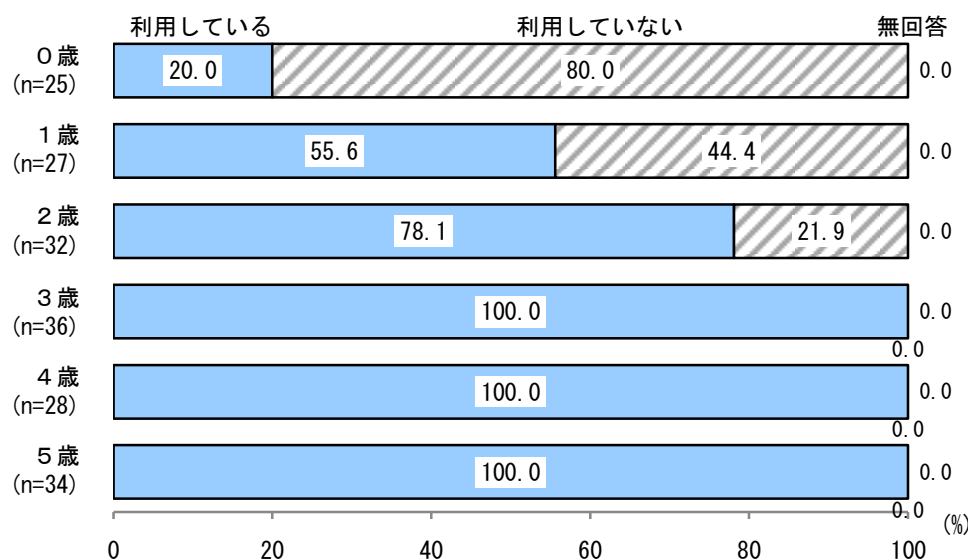
お子さんは現在、こども園等の「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。あてはまる番号 1 つに○をつけてください。



定期的な教育・保育事業を「利用している」は 78.6%、「利用していない」は 21.4% となっています。

前回調査に比べて、「利用している」が 6.5 ポイント増加しています。

【 年齢別 × 定期的な教育・保育事業の利用の有無 】



年齢別にみると、「利用している」は「0 歳」では 20.0%と少なく、年齢が上がるにつれて増えていき、「1 歳」で 55.6%と半数を超えると、「3 歳」以降は 100.0%となっています。

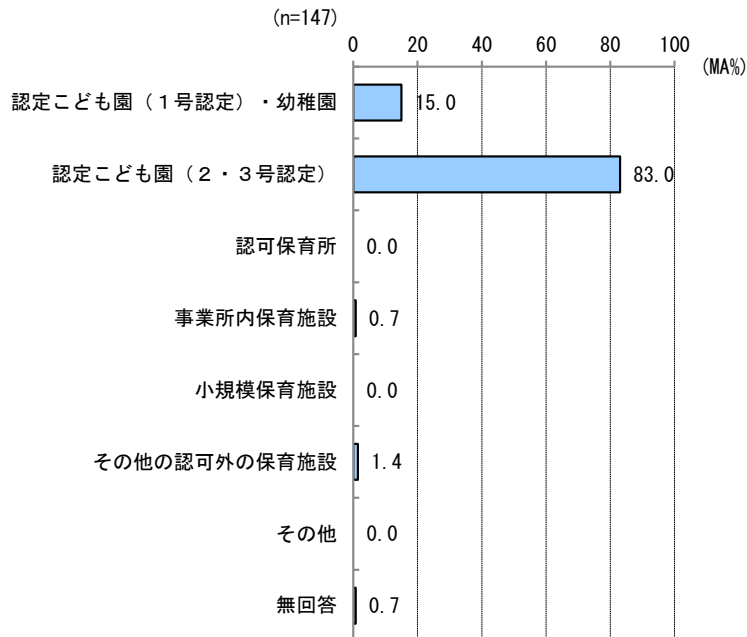
Ⅱ. 保護者調査結果

〔２〕 平日に定期的に利用している事業

問12で「利用している」とお答えの方のみ

【 就学前：問12-1／小学生：－ 】

お子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。



※各事業の内容については以下のとおり

「認可保育所」…国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員20人以上のもの

「事業所内保育施設」…企業が主に従業員用に運営する施設

「小規模保育施設」…国が定める最低基準に適合した施設で市町村の認可を受けた定員概ね6～19人のもの

定期的な教育・保育の事業を「利用している」とお答えの方の、平日に利用している事業は、「認定こども園（2・3号認定）」と「認定こども園（1号認定）・幼稚園」とを合わせると、98.0%となっています。

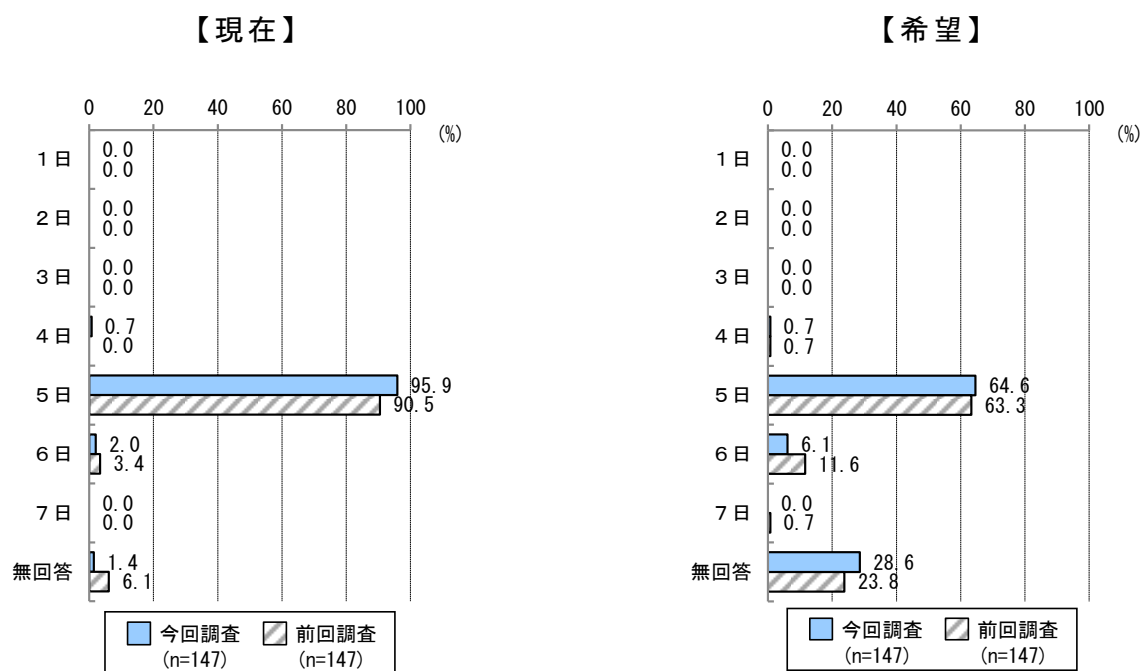
〔 3 〕 利用状況

問12で「利用している」とお答えの方のみ

【 就学前：問12-2／小学生：－ 】

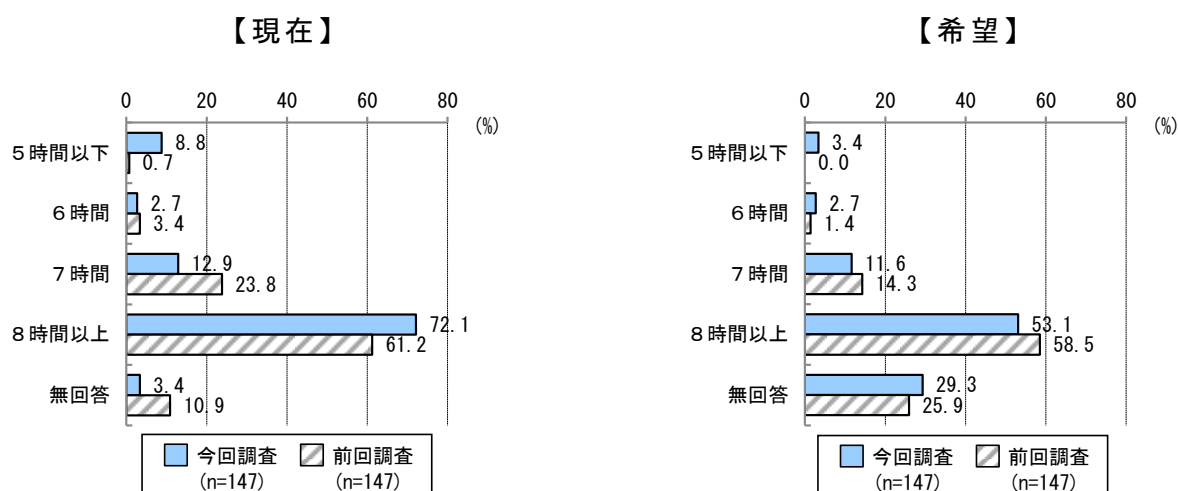
平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。1週当たり何日、1日当たり何時間（何時から何時まで）かを、（ ）内に具体的な数字でご記入ください。時間は、必ず（例）9時～18時のように24時間制でご記入ください。

■ 1週当たりの利用日数



平日に定期的に利用している教育・保育事業の、1週当たりの利用日数は「5日」が最も多く、現在で95.9%、希望で64.6%となっています。

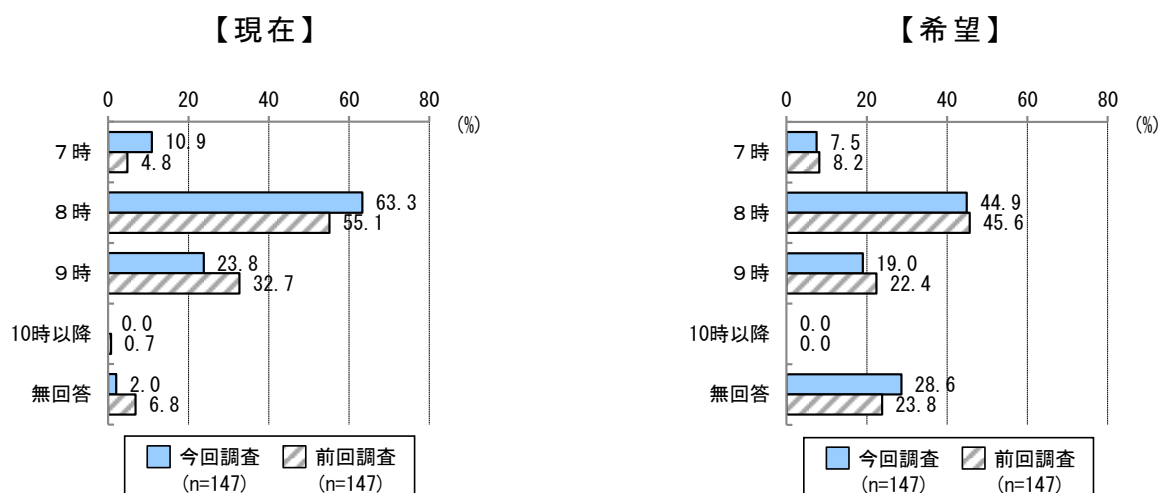
■ 1日当たりの利用時間



1日当たりの利用時間は「8時間以上」が最も多く、現在で72.1%、希望で53.1%となっています。

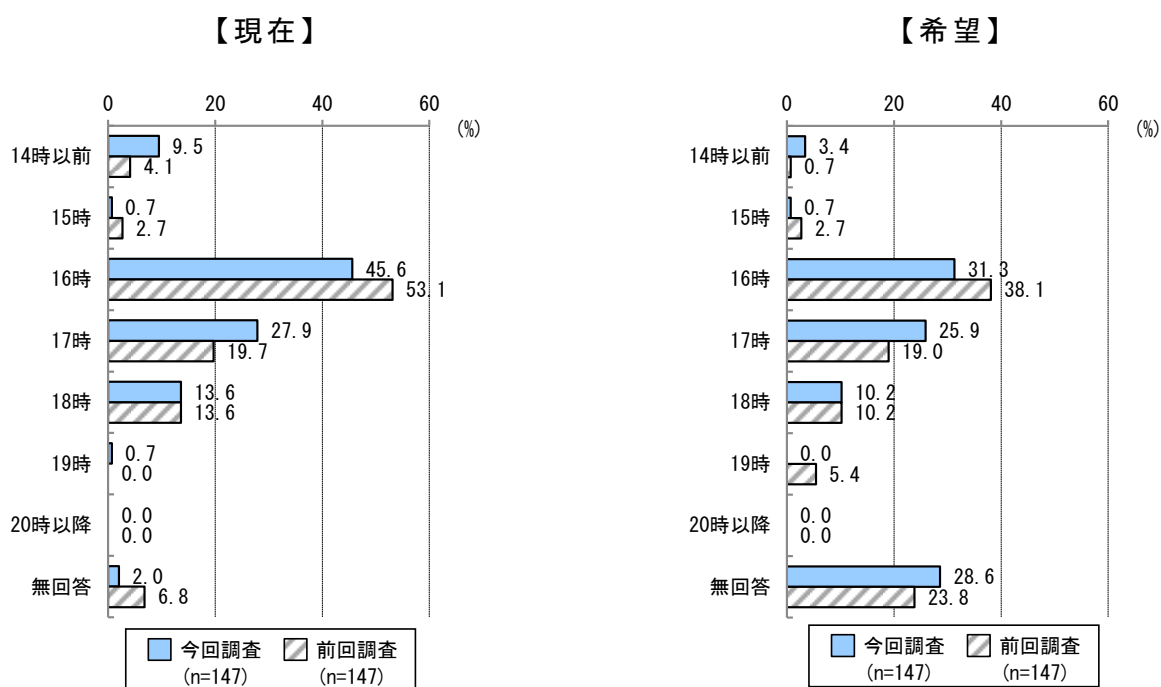
Ⅱ. 保護者調査結果

■ 開始時間



開始時間は「8時」が最も多く、現在で 63.3%、希望で 44.9%となっています。次いで「9時」が現在で 23.8%、希望で 19.0%となっています。

■ 終了時間



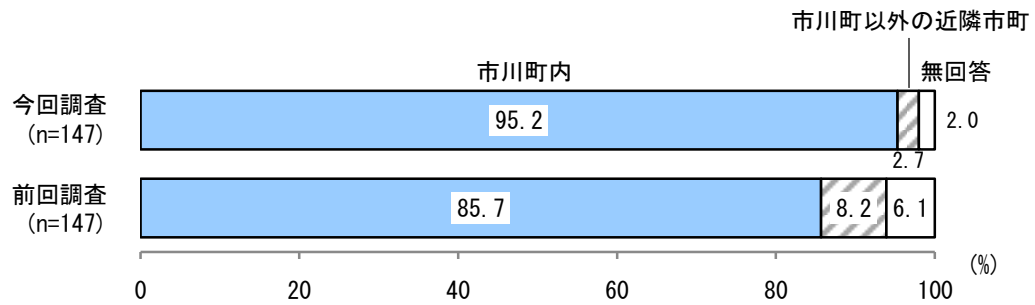
終了時間は「16時」が最も多く、現在で 45.6%、希望で 31.3%となっています。

〔４〕実施場所

問12で「利用している」とお答えの方のみ

【 就学前：問12-3／小学生：－ 】

現在、利用している教育・保育事業の実施場所についてうかがいます。
当てはまる番号１つに○をつけてください。



平日に定期的に利用している教育・保育事業の実施場所は、「市川町内」が 95.2% となっています。前回調査に比べて、「市川町内」が 9.5 ポイント増加しています。

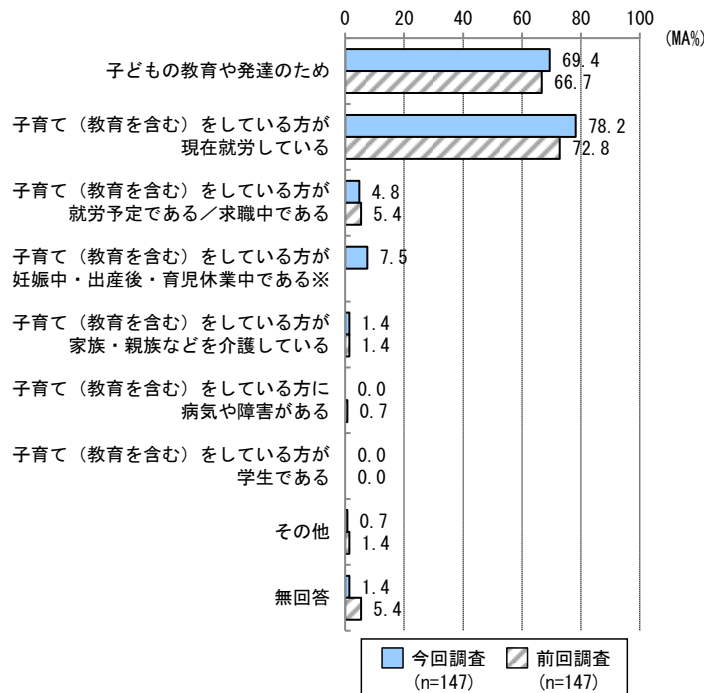
Ⅱ. 保護者調査結果

〔５〕 利用している理由

問12で「利用している」とお答えの方のみ

【 就学前：問12-4／小学生：－ 】

平日に定期的に教育・保育の事業を利用されている理由についてうかがいます。
主な理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。



※「子育て（教育を含む）をしている方が妊娠中・出産後・育児休業中である」は、前回調査では選択肢なし

平日に定期的に教育・保育事業を「利用している」理由は、「子育て（教育を含む）をしている方が現在就労している」が78.2%と最も多く、次いで「子どもの教育や発達のため」が69.4%となっています。

【地区別×平日、定期的に教育・保育事業を利用している理由】

(上段：人／下段：MA%)										
	n	子どもの教育や発達のため	子育て（教育を含む）をしている方が現在就労している	子育て（教育を含む）をしている方が就労予定である／求職中である	子育て（教育を含む）をしている方が妊娠中・出産後・育児休業中である	子育て（教育を含む）をしている方が家族・親族などを介護している	子育て（教育を含む）をしている方に病気や障害がある	子育て（教育を含む）をしている方が学生である	その他	無回答
全 体	147	102	115	7	11	2	0	0	1	2
	100.0	69.4	78.2	4.8	7.5	1.4	0	0	0.7	1.4
川辺地区	74	49	59	5	6	0	0	0	0	1
	100.0	66.2	79.7	6.8	8.1	0	0	0	0	1.4
瀬加地区	14	10	11	0	2	0	0	0	1	1
	100.0	71.4	78.6	0	14.3	0	0	0	7.1	7.1
甘地地区	36	27	29	0	1	1	0	0	0	0
	100.0	75.0	80.6	0	2.8	2.8	0	0	0	0
鶴居地区	21	15	14	2	2	1	0	0	0	0
	100.0	71.4	66.7	9.5	9.5	4.8	0	0	0	0

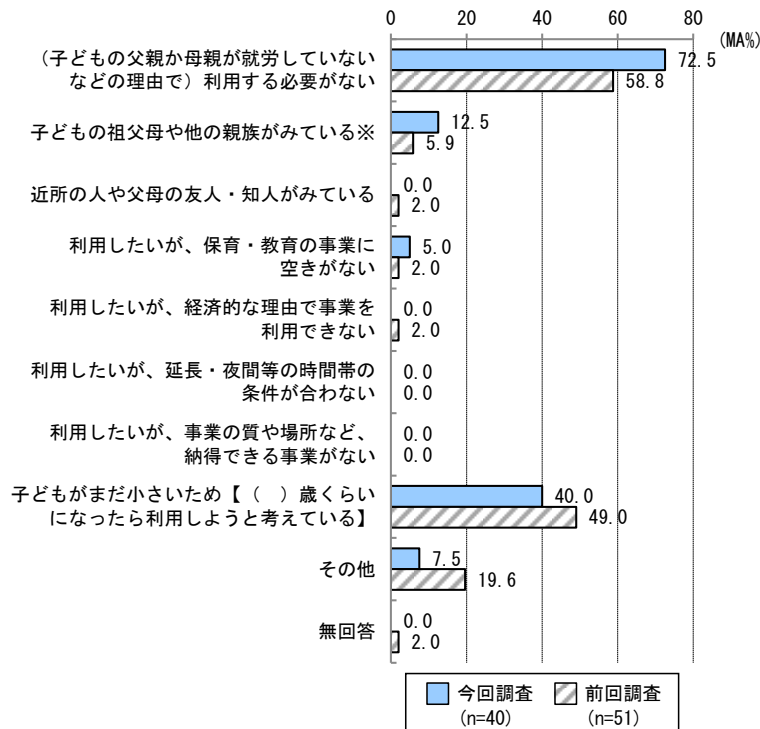
地区別に見ると、川辺地区、瀬加地区、甘地地区で「子育て（教育を含む）をしている方が現在就労している」、鶴居地区で「子どもの教育や発達のため」が最も多くなっています。

〔 6 〕 利用していない理由

問12で「利用していない」とお答えの方のみ

【 就学前：問12-5／小学生：－ 】

利用していない理由は何ですか。理由としてもっとも当てはまる番号すべてに○をつけてください。



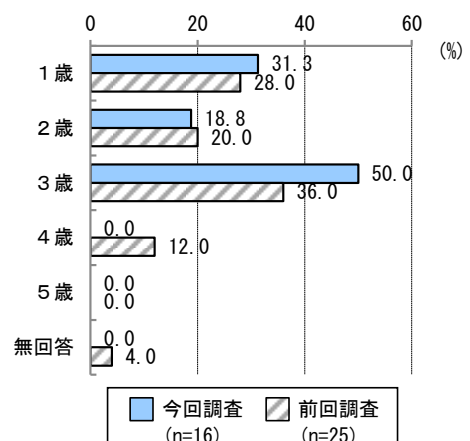
※前回調査では、「子どもの祖父母や親戚の人がみている」

平日に定期的に教育・保育事業を「利用していない」理由は、「(子どもの父親か母親が就労していないなどの理由で) 利用する必要がない」が72.5%と最も多く、次いで「子どもがまだ小さいため【() 歳くらいになったら利用しようと考えている】」が40.0%となっています。

前回調査に比べて、「利用する必要がない」が13.7ポイント増加している一方で、「子どもがまだ小さいため【() 歳くらいになったら利用しようと考えている】」が9.0ポイント減少しています。

「子どもがまだ小さいため」とお答えの方のみ

■ 利用を考える子どもの年齢



また、「子どもがまだ小さいため」とお答えの方が利用を考える子どもの年齢は、「3歳」が50.0%と最も多く、次いで「1歳」が31.3%となっています。

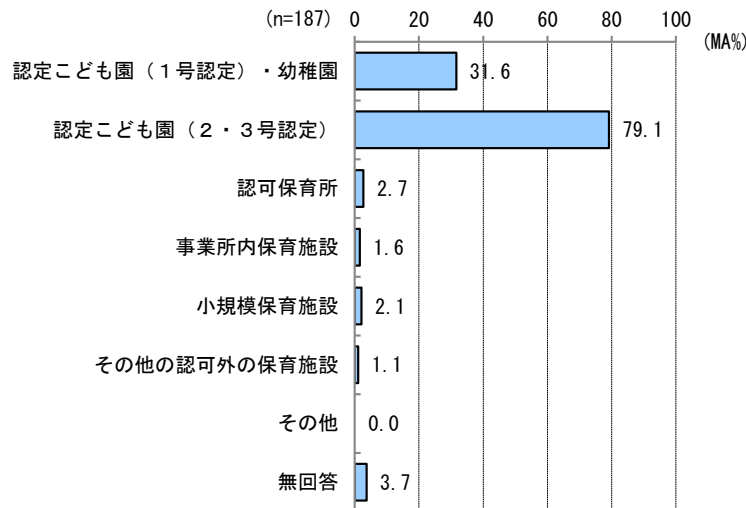
Ⅱ. 保護者調査結果

〔 7 〕 定期的に利用したい教育・保育事業

【 就学前：問13／小学生： - 】

現在、利用している、利用していないにかかわらず、お子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。



平日の定期的な教育・保育事業として利用したい事業は、「認定こども園（2・3号認定）」が79.1%と最も多く、次いで「認定こども園（1号認定）・幼稚園」が31.6%となっています。

【年齢別 × 今後利用したい教育・保育事業】

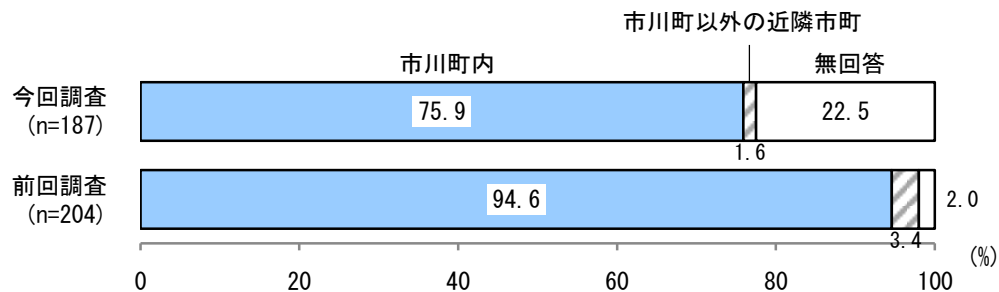
		(上段：人／下段：MA%)							
	n	認定こども園（1号認定）	認定こども園（2・3号認定）	認可保育所	事業所内保育施設	小規模保育施設	その他の認可外の保育施設	その他	無回答
全 体	187	59	148	5	3	4	2	0	7
	100.0	31.6	79.1	2.7	1.6	2.1	1.1	0	3.7
0 歳	25	11	21	1	0	0	0	0	2
	100.0	44.0	84.0	4.0	0	0	0	0	8.0
1 歳	27	14	18	0	1	1	2	0	0
	100.0	51.9	66.7	0	3.7	3.7	7.4	0	0
2 歳	32	10	27	0	0	0	0	0	0
	100.0	31.3	84.4	0	0	0	0	0	0
3 歳	36	11	29	3	0	1	0	0	2
	100.0	30.6	80.6	8.3	0	2.8	0	0	5.6
4 歳	28	7	22	1	1	1	0	0	0
	100.0	25.0	78.6	3.6	3.6	3.6	0	0	0
5 歳	34	5	29	0	0	0	0	0	2
	100.0	14.7	85.3	0	0	0	0	0	5.9

年齢別にみると、すべての年齢層で「認定こども園（2・3号認定）」が最も多くなっています。

〔 8 〕 利用したい場所

【 就学前：問13-1／小学生：－ 】

教育・保育事業を利用したい場所についてうかがいます。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。



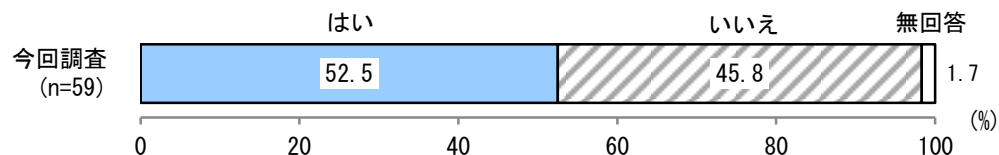
平日に定期的に教育・保育事業を利用したい場所は、「市川町内」が 75.9%となっています。

〔 9 〕 一時預かり保育の利用希望【新規設問】

問13で「認定こども園（1号認定）・幼稚園」とお答えの方のみ

【 就学前：問13-2／小学生：－ 】

特に就園時間後の一時預かり保育の利用を強く希望しますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。



定期的に利用したい教育・保育事業で認定こども園（1号認定）・幼稚園とお答えの方に、特に就園時間後の一時預かり保育の利用を強く希望するかをたずねたところ、「はい」は 52.5%となっています。

7 土日・祝日、長期休業中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望（就学前児童のみ）

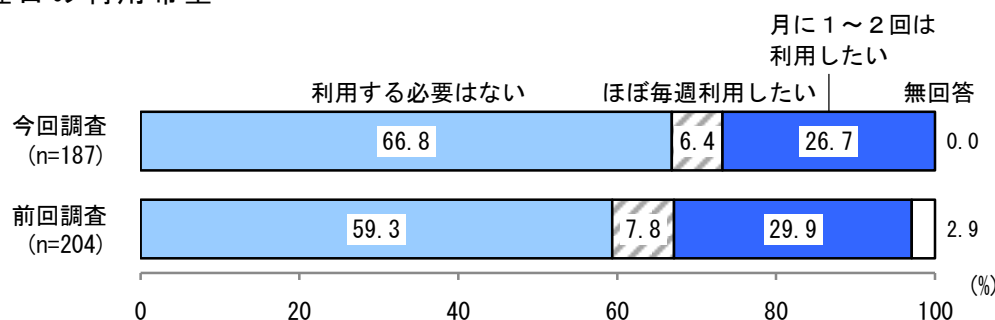
〔1〕 土日・祝日の、定期的な教育・保育事業の利用希望

【 就学前：問16／小学生：－ 】

お子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。希望がある場合は、利用したい時間帯を、（例）9時～18時のように24時間制でご記入ください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

※教育・保育事業とは、認定こども園、保育所、認可外保育施設などの事業を指す。

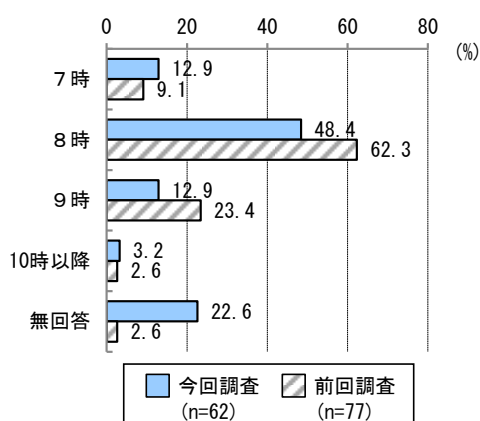
（1）土曜日の利用希望



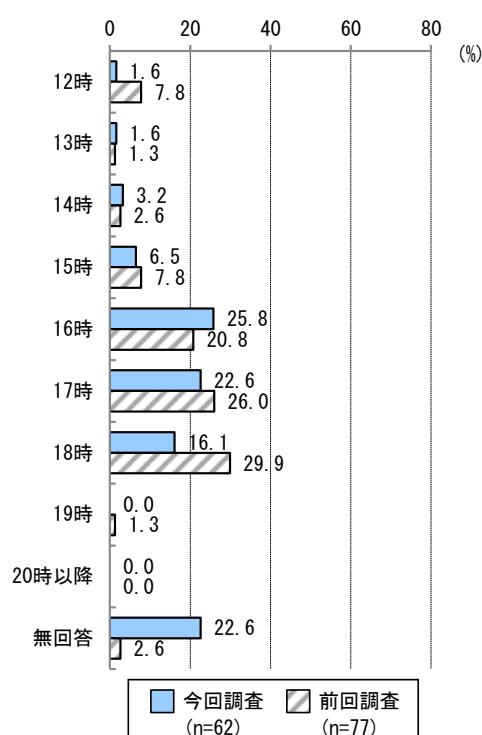
土曜日の定期的な教育・保育事業の利用希望については、「ほぼ毎週利用したい」が6.4%、「月に1～2回は利用したい」が26.7%で、利用希望者は合計33.1%となっています。前回調査に比べて、「利用する必要はない」が7.5ポイント増加しています。

「ほぼ毎週利用したい」「月に1～2回は利用したい」とお答えの方のみ

■ 土曜日の希望開始時間

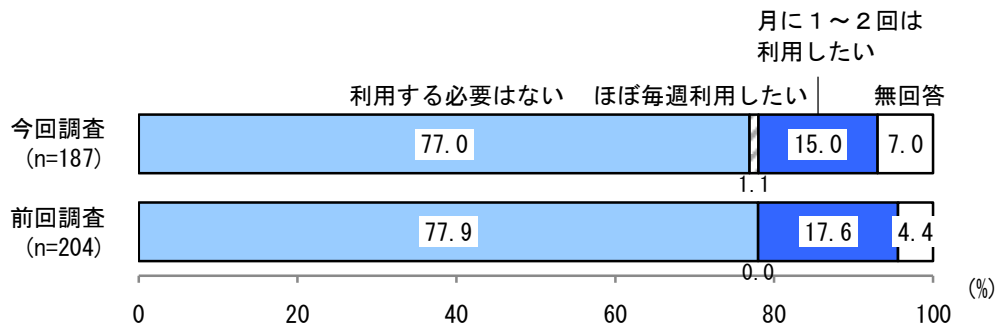


■ 土曜日の希望終了時間



土曜日の利用希望者の希望開始時間は「8時」が48.4%と最も多くなっています。希望終了時間は、「16時」が25.8%と最も多く、次いで「17時」が22.6%、「18時」が16.1%となっています。

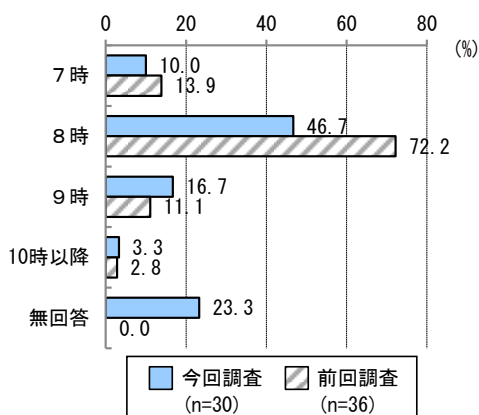
(2) 日曜日・祝日の利用希望



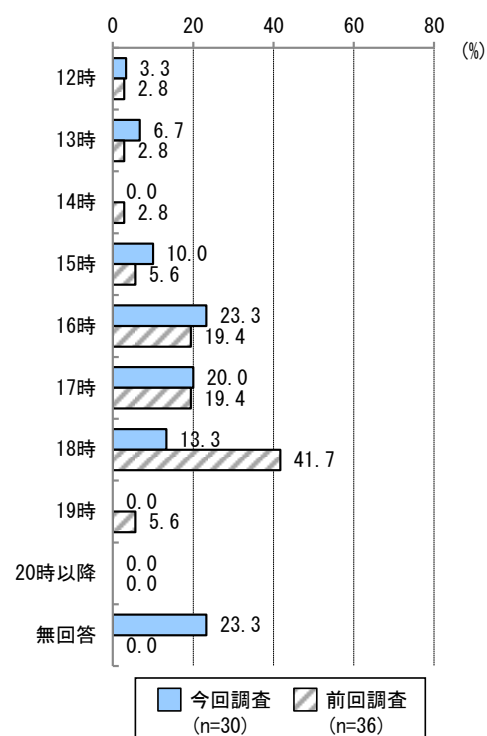
日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望については、「ほぼ毎週利用したい」が1.1%、「月に1～2回は利用したい」が15.0%となっています。

「ほぼ毎週利用したい」「月に1～2回は利用したい」とお答えの方のみ

■ 日曜日・祝日の希望開始時間



■ 日曜日・祝日の希望終了時間



日曜日・祝日の利用希望者の希望開始時間は「8時」が46.7%と最も多くなっています。希望終了時間は、「16時」が23.3%と最も多く、次いで「17時」が20.0%、「18時」が13.3%となっています。

Ⅱ. 保護者調査結果

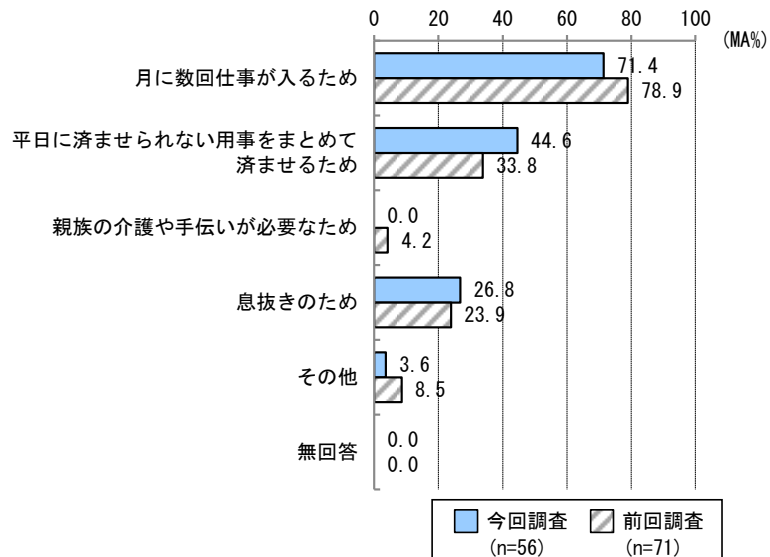
〔２〕 土日・祝日のために利用したい理由

問16の(1)もしくは(2)で「月に1～2回は利用したい」とお答えの方のみ

【 就学前：問16-1／小学生：－ 】

毎週ではなく、たまに利用したい理由はなんですか。

当てはまる番号すべてに○をつけてください。



土曜日と日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業の利用を「月に1～2回は利用したい」とお答えの方に、毎週ではなく、たまに利用したい理由をたずねたところ、「月に数回仕事が入るため」が71.4%と最も多く、次いで「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」が44.6%、「息抜きのため」が26.8%となっています。

前回調査に比べて、「月に数回仕事が入るため」が7.5ポイント減少している一方で、「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」が10.8ポイント増加しています。

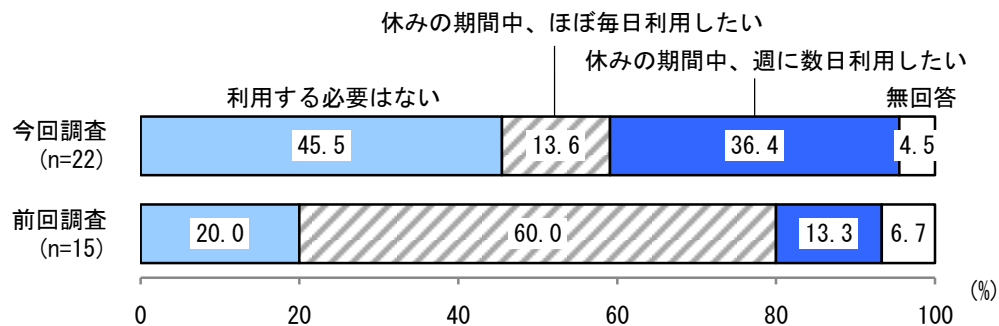
〔３〕長期休業期間中の教育・保育事業の利用希望

「認定こども園（１号認定）」を利用されている方のみ

【 就学前：問17／小学生：－ 】

お子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休業期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。希望がある場合は、利用したい時間帯を、（例）９時～１８時のように２４時間制でご記入ください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

■長期休業期間中の利用希望



認定こども園（１号認定）利用者の、夏休み・冬休みなど長期の休業期間中の定期的な教育・保育事業の利用希望については、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」が13.6%、「休みの期間中、週に数日利用したい」が36.4%で、利用希望者は合計50.0%となっています。

【地区別×長期休業期間中の教育・保育事業の利用希望】

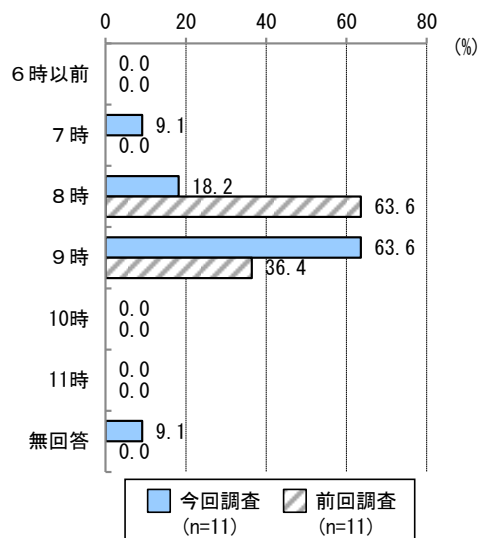
(上段：人／下段：%)					
	n	利用する必要はない	休みの期間中、ほぼ毎日利用したい	休みの期間中、週に数日利用したい	無回答
全 体	22	10	3	8	1
	100.0	45.5	13.6	36.4	4.5
川辺地区	8	3	1	4	0
	100.0	37.5	12.5	50.0	0
瀬加地区	1	1	0	0	0
	100.0	100.0	0	0	0
甘地地区	6	4	0	1	1
	100.0	66.7	0	16.7	16.7
鶴居地区	5	2	0	3	0
	100.0	40.0	0	60.0	0

地区別にみると、認定こども園（１号認定）利用者は川辺地区、鶴居地区で「休みの期間中、週に数日利用したい」が最も多くなっています。

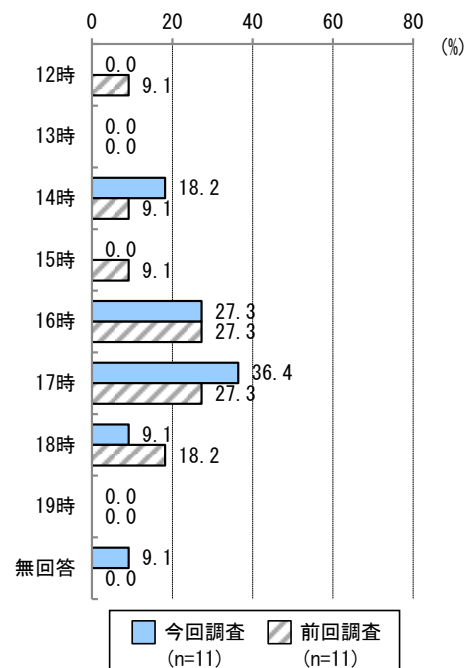
Ⅱ. 保護者調査結果

「ほぼ毎日利用したい」「週に数日利用したい」とお答えの方のみ

■ 長期休業期間中の希望開始時間



■ 長期休業期間中の希望終了時間



長期休業期間中の利用希望者の希望開始時間は「9時」が63.6%と最も多くなっています。希望終了時間は、「17時」が36.4%と最も多く、次いで「16時」が27.3%となっています。

〔4〕 長期休業期間中のたまに利用したい理由

問17で、「週に数日利用したい」とお答えの方のみ

〔就学前：問17-1 / 小学生：- 〕

毎日ではなく、たまに利用したい理由はなんですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

→ 該当者は8名で、「買い物等の用事をまとめて済ませるため」が6件(75.0%)、「息抜きのため」が4件(50.0%)、「週に数回仕事が入るため」が2件(25.0%)となっています。

8 地域の子育て支援事業の利用状況

〔1〕町の子育て支援サービスの認知度、利用経験、今後の利用意向

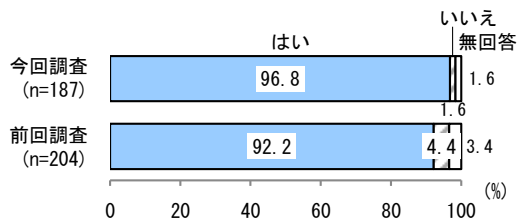
【 就学前：問14／小学生：問19 】

市川町には次のような子育て支援サービスがありますが、知っていたり、利用したりしたことはありますか。また、今後利用したいと思いますか。サービスごとにA、B、Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。

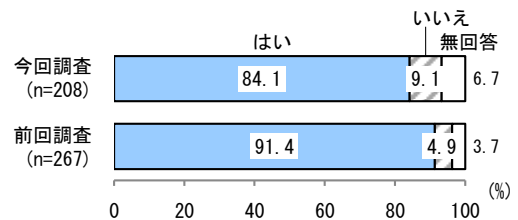
A 認知度（知っている）

就学前

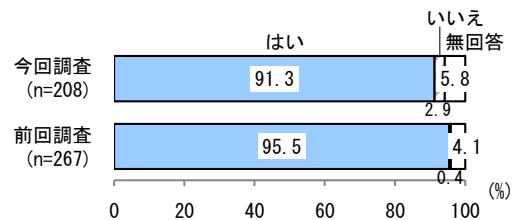
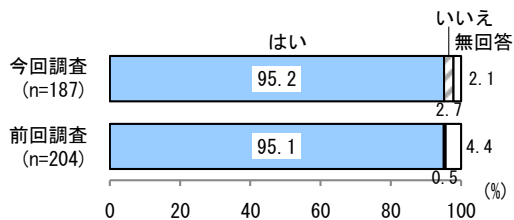
①地域子育て支援センター



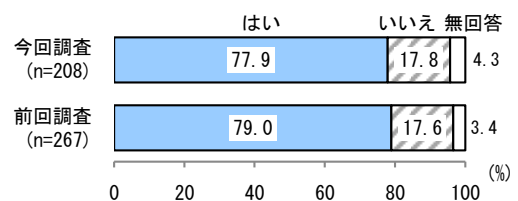
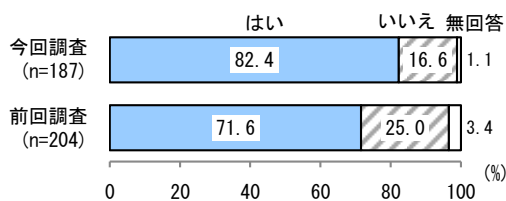
小学生



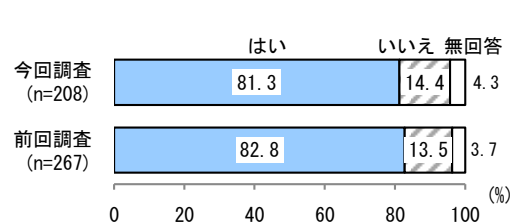
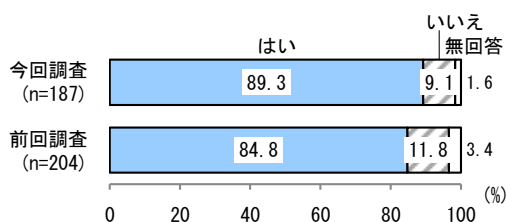
②市川町保健福祉センター



③妊婦相談・訪問



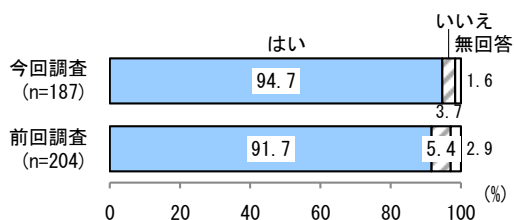
④育児相談



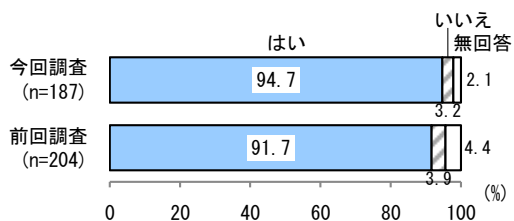
Ⅱ. 保護者調査結果

就学前

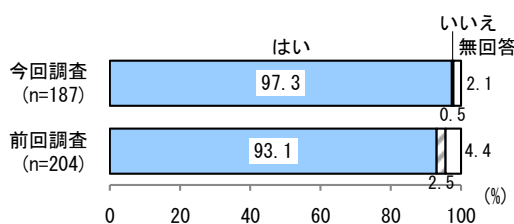
⑤乳児健診・新生児訪問



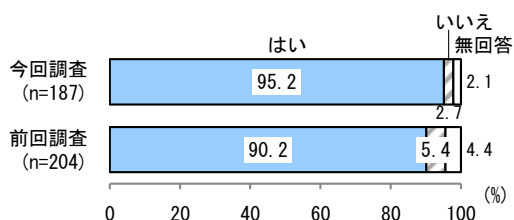
⑥市川町文化センター



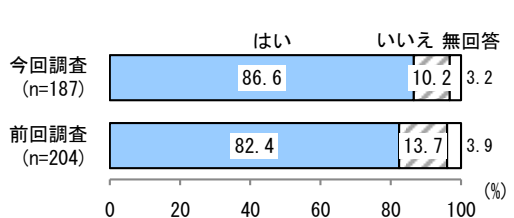
⑦いちかわ図書館



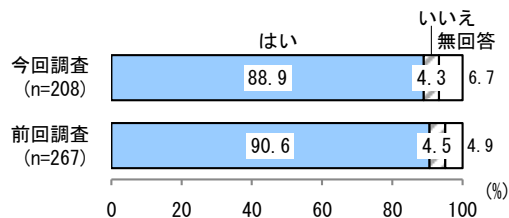
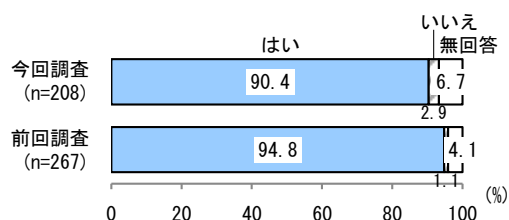
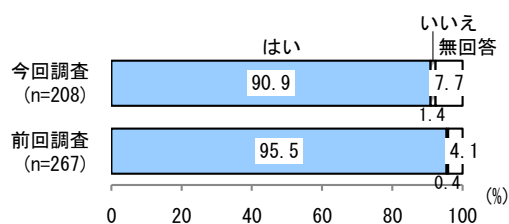
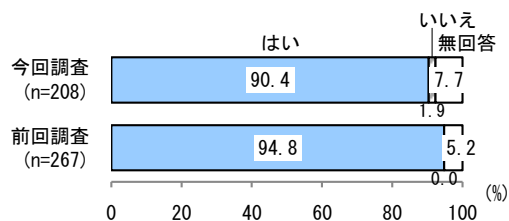
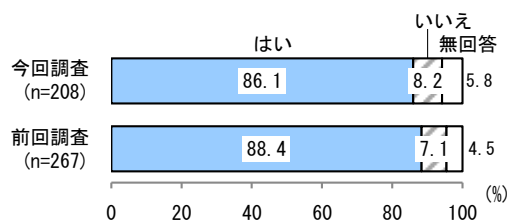
⑧市川町スポーツセンター



⑨学童保育事業



小学生



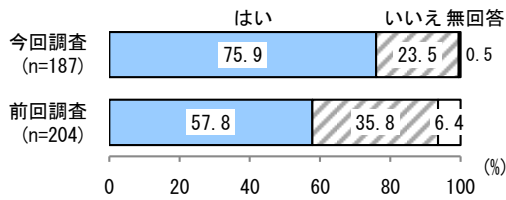
市川町が行っている子育て支援サービスの認知についてみると、就学前児童では、「いちかわ図書館」で「はい（知っている）」が97.3%と最も多く、多くのサービスで9割前後の認知となっています。前回調査に比べて、「妊婦相談・訪問」が10.8ポイント増加しています。

小学生では、「市川町保健福祉センター」で「はい（知っている）」が91.3%と最も多く、就学前児童と同じく、多くのサービスで9割前後の認知となっています。

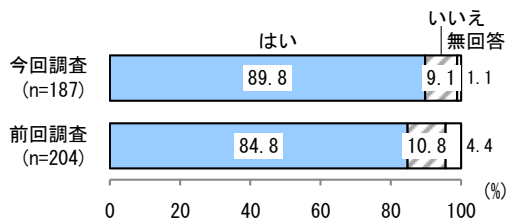
B 利用経験（これまでに利用したことがある）

就学前

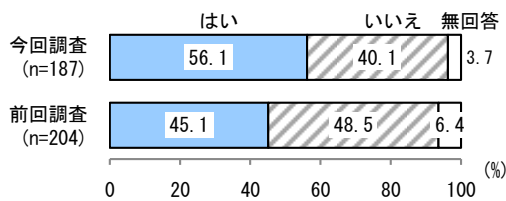
①地域子育て支援センター



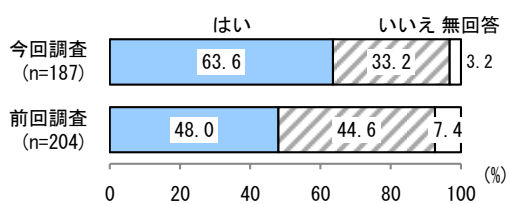
②市川町保健福祉センター



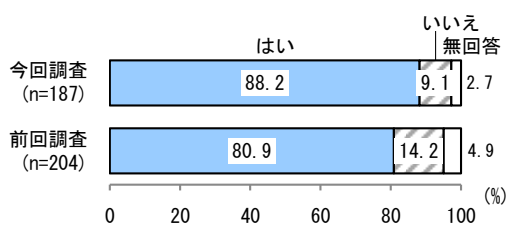
③妊婦相談・訪問



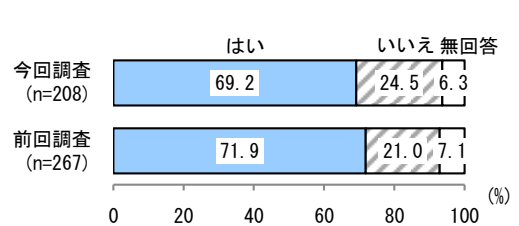
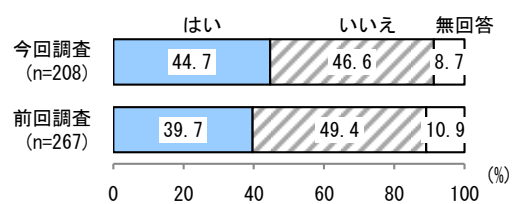
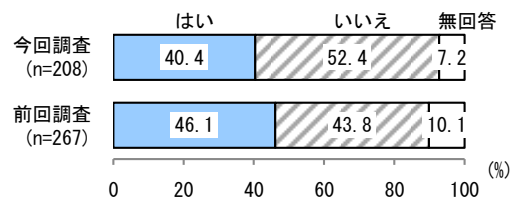
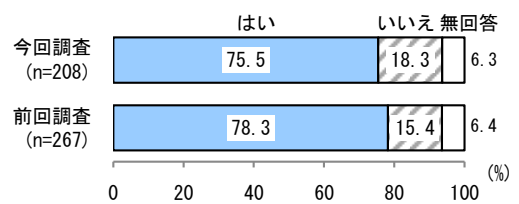
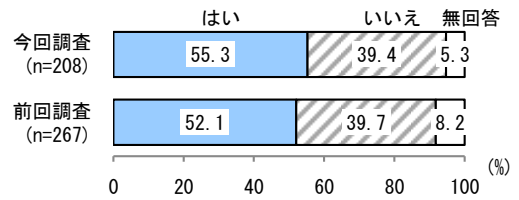
④育児相談



⑤乳児健診・新生児訪問



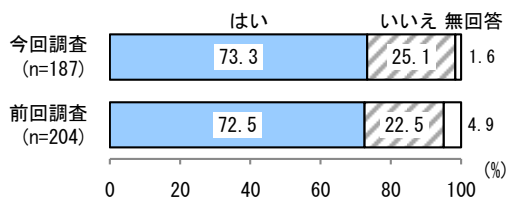
小学生



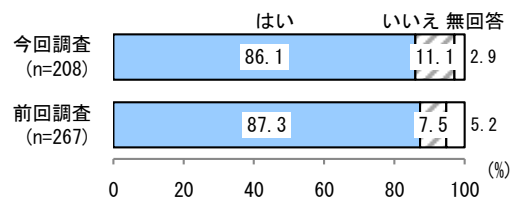
Ⅱ. 保護者調査結果

就学前

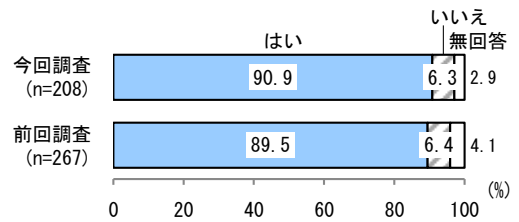
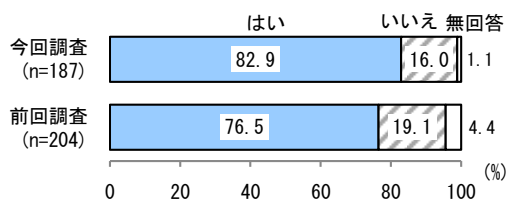
⑥市川町文化センター



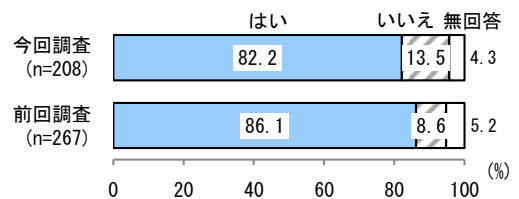
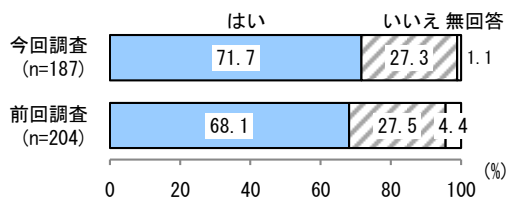
小学生



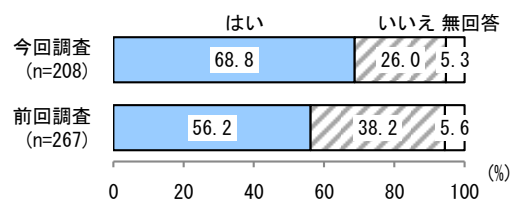
⑦いちかわ図書館



⑧市川町スポーツセンター



⑨学童保育事業



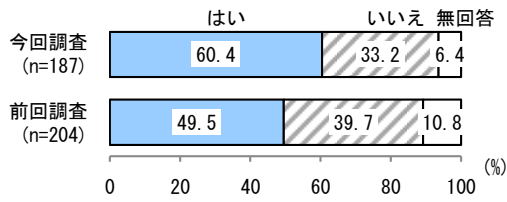
利用経験についてみると、就学前児童では、「市川町保健福祉センター」で「はい（利用したことがある）」が 89.8%と最も多く、次いで「乳児健診・新生児訪問」が 88.2%となっています。前回調査に比べて、「地域子育て支援センター」が 18.1 ポイント、「育児相談」で 15.6 ポイント増加しています。

小学生では、「いちかわ図書館」で「はい（利用したことがある）」が 90.9%と最も多く、次いで「市川町文化センター」が 86.1%となっています。前回調査に比べて、「学童保育事業」が 12.6 ポイント増加しています。

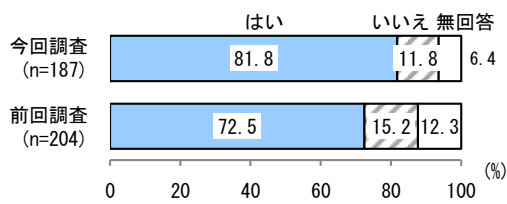
C 今後の利用意向（今後利用したい）

就学前

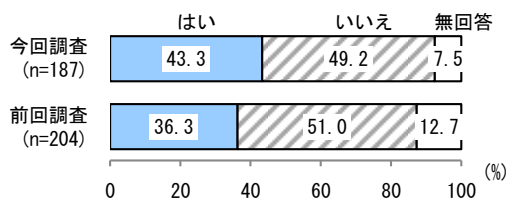
①地域子育て支援センター



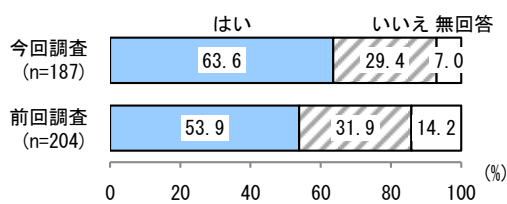
②市川町保健福祉センター



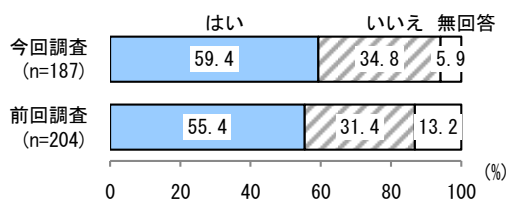
③妊婦相談・訪問



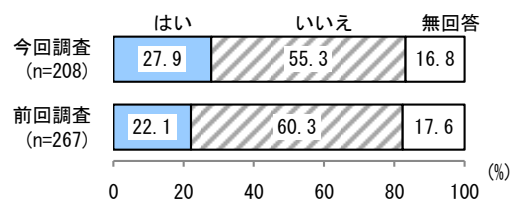
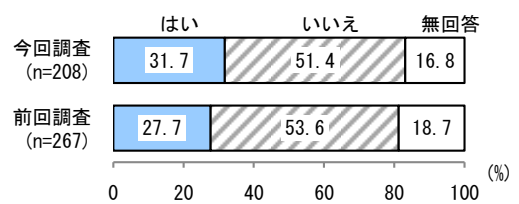
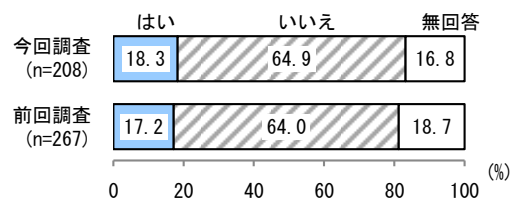
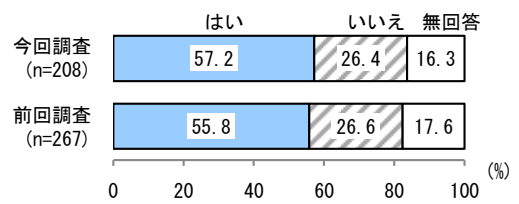
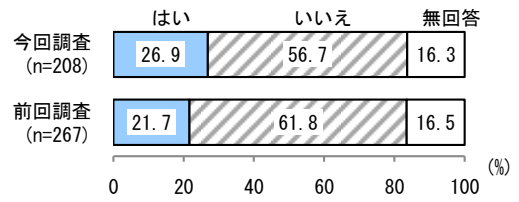
④育児相談



⑤乳児健診・新生児訪問



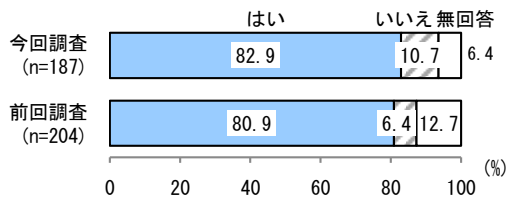
小学生



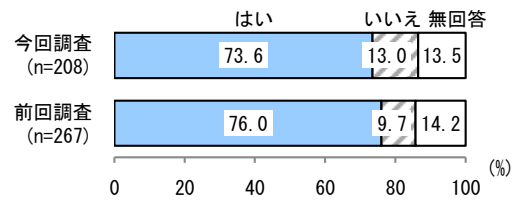
Ⅱ. 保護者調査結果

就学前

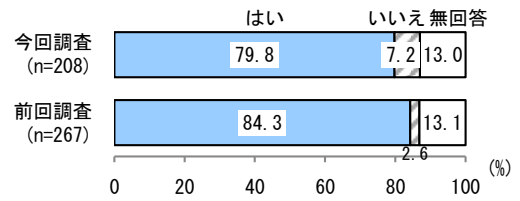
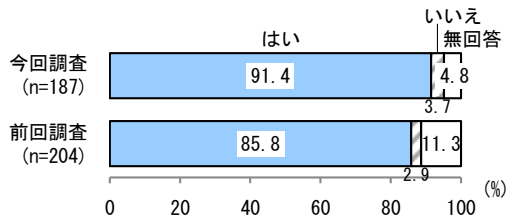
⑥市川町文化センター



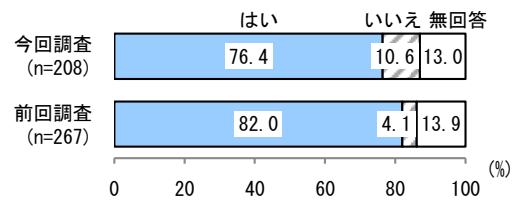
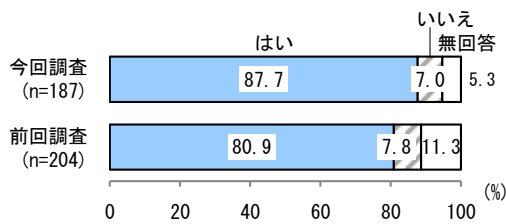
小学生



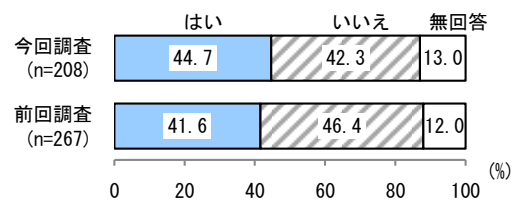
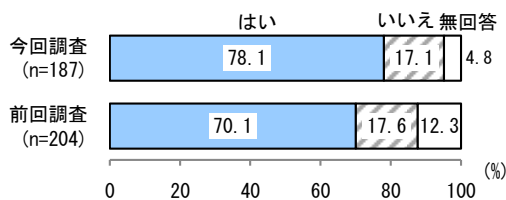
⑦いichかわ図書館



⑧市川町スポーツセンター



⑨学童保育事業



今後の利用意向についてみると、就学前児童では、「いichかわ図書館」で「はい（今後利用したい）」が91.4%と最も多く、次いで「市川町スポーツセンター」が87.7%となっています。前回調査に比べて、「地域子育て支援センター」が10.9ポイント、「市川町保健福祉センター」が9.3ポイント増加しています。

小学生でも、「いichかわ図書館」で「はい（今後利用したい）」が79.8%と最も多く、次いで「市川町スポーツセンター」が76.4%となっています。

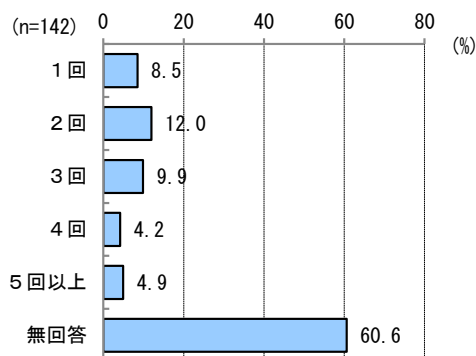
〔２〕地域子育て支援拠点事業の利用状況【新規設問】（就学前児童のみ）

問14で①地域子育て支援センターの「B 利用したことがある」で「はい」とお答えの方のみ

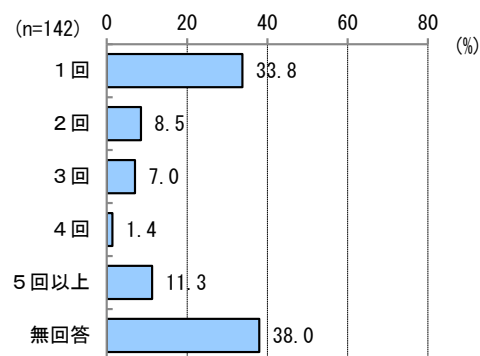
【 就学前：問15／小学生：問- 】

地域子育て支援センターの、おおよその利用回数（頻度）を（ ）内に数字でご記入ください。

■ 1 週当たりの利用回数



■ 1 ヶ月当たりの利用回数



「地域子育て支援センター」利用者の1週当たりの利用回数は、「2回」が12.0%と最も多くなっています。1ヶ月当たりの利用回数は、「1回」が33.8%と最も多くなっています。

9 病気の際の対応

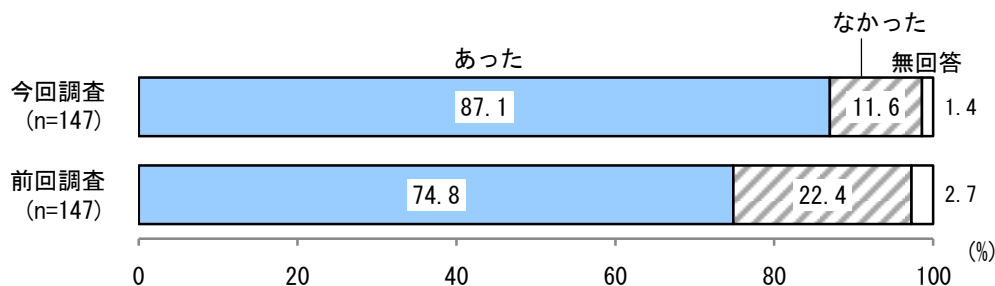
〔 1 〕 病気やケガで通常の事業が利用できなかった／学校を休んだこと

就学前児童は、平日の定期的な教育・保育の事業を利用している方のみ

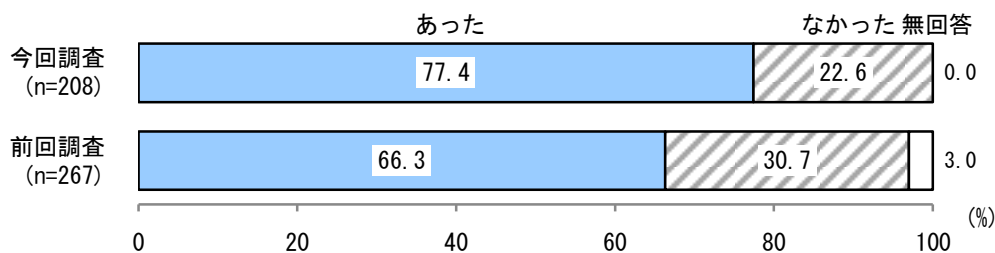
【 就学前：問18／小学生：問18 】

この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか／病気やケガで学校を休んだことはありますか。

就学前



小学生



就学前児童で、平日の定期的な教育・保育の事業を利用している方で、この1年間に子どもが病気やケガで通常の利用ができなかったことが「あった」は 87.1%となっています。

小学生で、病気やケガで学校を休んだことが「あった」は 77.4%となっています。

前回調査に比べて、「あった」は就学前児童で 12.3 ポイント、小学生で 11.1 ポイント増加しています。

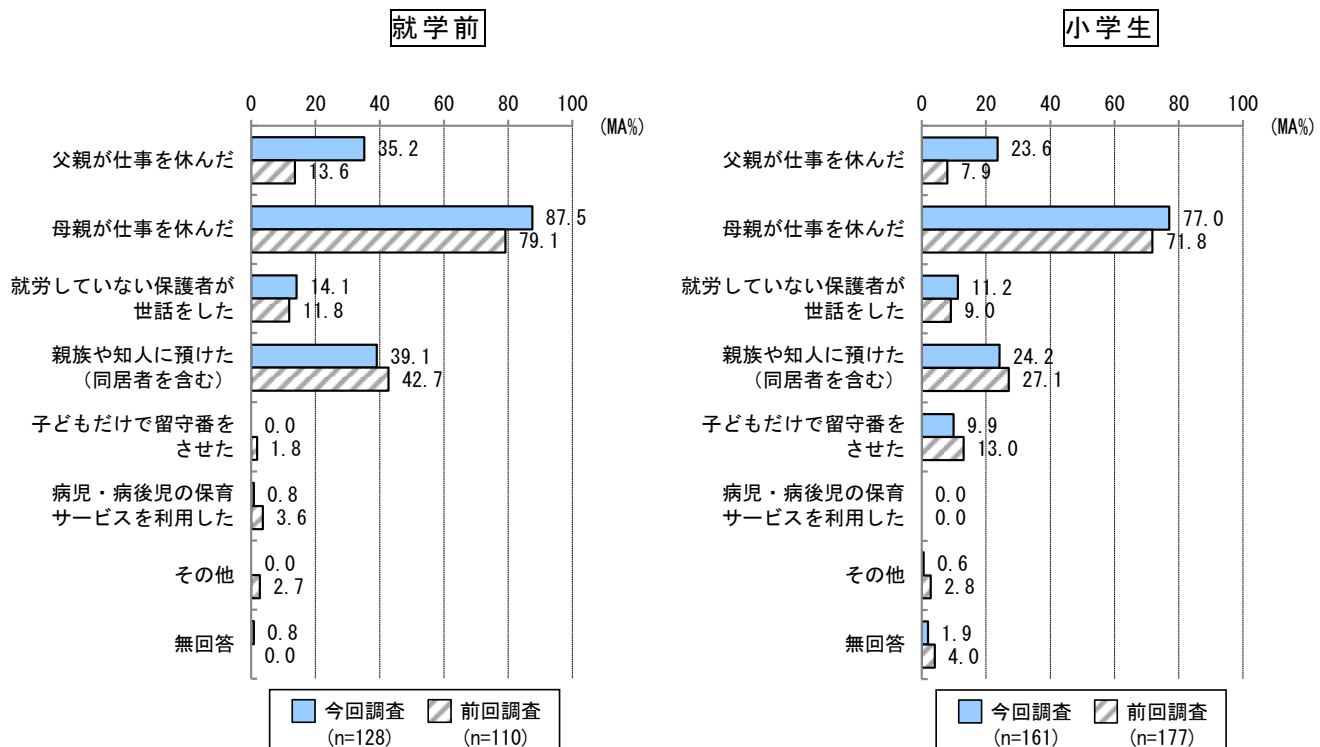
〔 2 〕 病気やケガの際の対処の方法

問18で「あった」とお答えの方のみ

【 就学前：問18-1／小学生：問18-1 】

お子さんが病気やケガで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった／学校を休んだ場合に、この1年間に行った対処方法として当てはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も（ ）内に数字でご記入ください。（半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。）

■ 対処の方法



子どもが病気やケガで通常の事業の利用ができなかった／学校を休んだことが「あった」方の、この1年間に行った対処の方法は、「母親が仕事を休んだ」が、就学前児童で 87.5%、小学生で 77.0%と最も多くなっています。次いで「親族や知人に預けた（同居者を含む）」が、就学前児童で 39.1%、小学生で 24.2%となっています。

前回調査に比べて、就学前児童・小学生ともに、「父親が仕事を休んだ」が 15 ポイント以上増加しています。

Ⅱ. 保護者調査結果

■この１年間に対処した日数

就学前

	父親が仕事を休んだ (n=45)		母親が仕事を休んだ (n=112)		就労していない 保護者が世話をした (n=18)		親族や知人に 預けた（同居者を含む） (n=50)		子どもだけで 留守番をさせた (n=0)		病児・病後児の 保育サービスを利用した (n=1)		その他 (n=0)	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
1日	7	15.6	4	3.6	0	0	3	6.0	0	0	0	0	0	0
2日	8	17.8	4	3.6	3	16.7	7	14.0	0	0	0	0	0	0
3日	8	17.8	13	11.6	2	11.1	7	14.0	0	0	0	0	0	0
4日	0	0	2	1.8	0	0	3	6.0	0	0	0	0	0	0
5日	7	15.6	21	18.8	2	11.1	10	20.0	0	0	1	100.0	0	0
6日	0	0	2	1.8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7日	2	4.4	7	6.3	1	5.6	0	0	0	0	0	0	0	0
8日	0	0	4	3.6	1	5.6	0	0	0	0	0	0	0	0
9日	0	0	1	0.9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10日以上	6	13.3	36	32.1	4	22.2	11	22.0	0	0	0	0	0	0
無回答	7	15.6	18	16.1	5	27.8	9	18.0	0	0	0	0	0	0

小学生

	父親が仕事を休んだ (n=38)		母親が仕事を休んだ (n=124)		就労していない 保護者が世話をした (n=18)		親族や知人に 預けた（同居者を含む） (n=39)		子どもだけで 留守番をさせた (n=16)		病児・病後児の 保育サービスを利用した (n=0)		その他 (n=1)	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
1日	12	31.6	20	16.1	3	16.7	6	15.4	4	25.0	0	0	0	0
2日	9	23.7	27	21.8	6	33.3	12	30.8	7	43.8	0	0	0	0
3日	9	23.7	13	10.5	2	11.1	6	15.4	1	6.3	0	0	0	0
4日	0	0	5	4.0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	100.0
5日	3	7.9	19	15.3	1	5.6	6	15.4	1	6.3	0	0	0	0
6日	0	0	7	5.6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7日	0	0	5	4.0	1	5.6	0	0	0	0	0	0	0	0
8日	0	0	1	0.8	1	5.6	0	0	0	0	0	0	0	0
9日	0	0	1	0.8	0	0	0	0	1	6.3	0	0	0	0
10日以上	3	7.9	12	9.7	1	5.6	1	2.6	1	6.3	0	0	0	0
無回答	2	5.3	14	11.3	3	16.7	8	20.5	1	6.3	0	0	0	0

また対処した日数についてみると、就学前児童は、「母親が仕事を休んだ」「就労していない保護者が世話をした」「親族や知人に預けた（同居者を含む）」で「10日以上」、「父親が仕事を休んだ」で「2日」「3日」が最も多くなっています。

小学生は、「母親が仕事を休んだ」「就労していない保護者が世話をした」「親族や知人に預けた（同居者を含む）」「子供だけで留守番をさせた」で「2日」、「父親が仕事を休んだ」で「1日」が最も多くなっています。

〔 3 〕 病児・病後児保育の利用希望

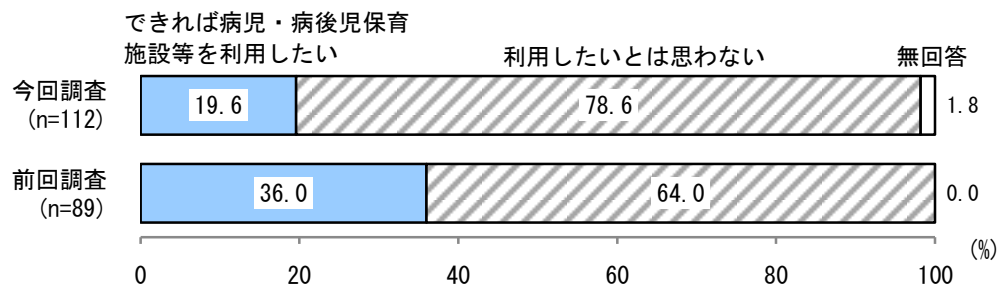
問18-1で「父親または母親が仕事を休んだ」とお答えの方のみ

【 就学前：問18-2／小学生：問18-2 】

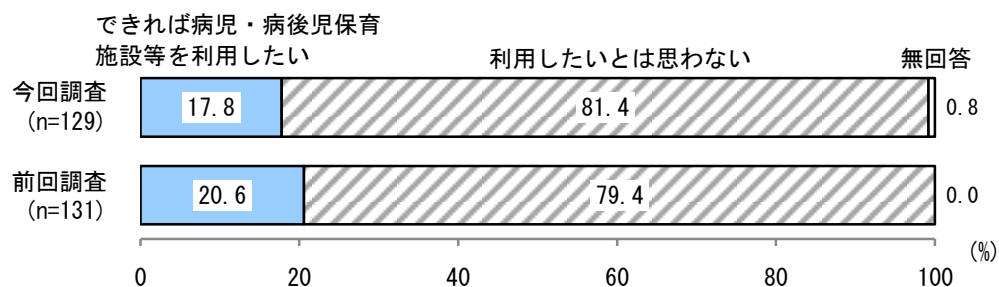
その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、日数についても（ ）内に数字でご記入ください。なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかります。利用前に医師の受診が必要となります。

※現在は、ケアステーションかんざき（公立神崎総合病院敷地内）で病児・病後児保育を実施しています。

就学前



小学生



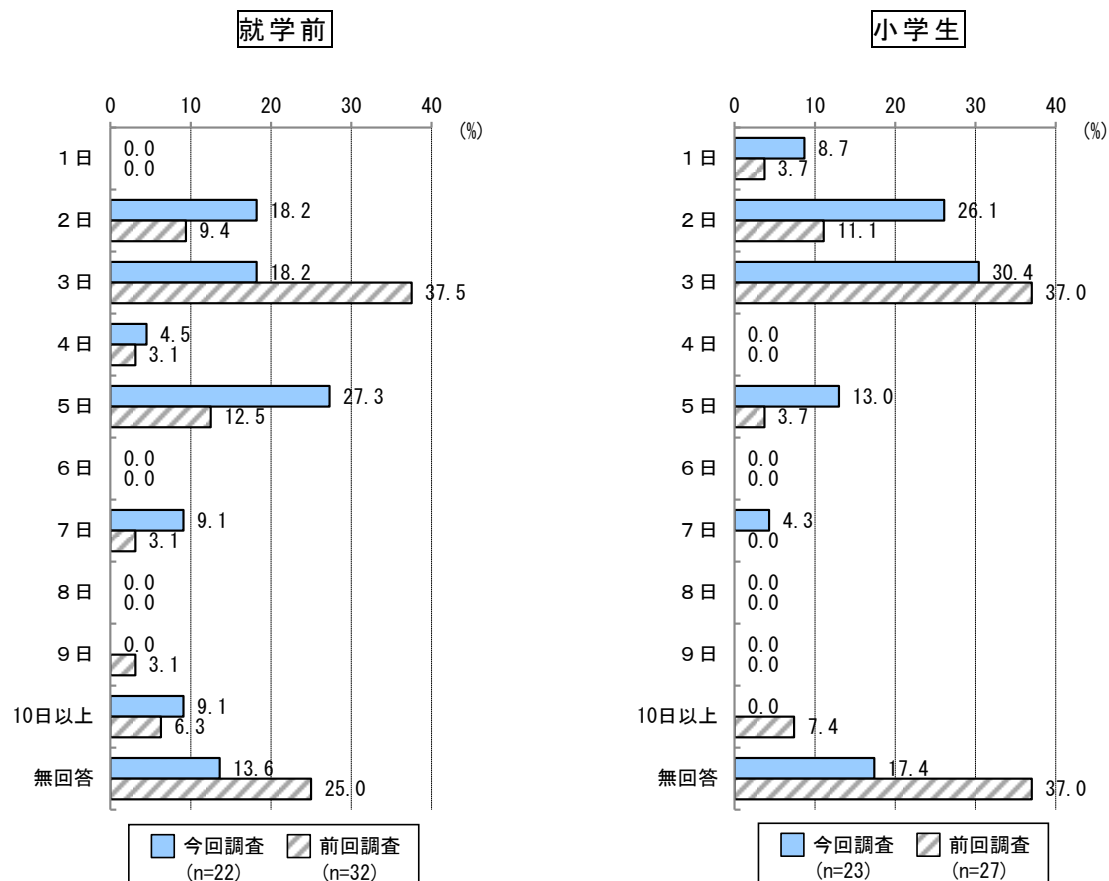
父親または母親が休んだとお答えの方で、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」と思った人は、就学前児童で19.6%、小学生で17.8%となっています。

前回調査に比べて、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」が就学前児童で16.4ポイント、小学生で2.8ポイント減少しています。

Ⅱ. 保護者調査結果

「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」とお答えの方のみ

■ 希望利用日数



病児・病後児のための保育施設等を利用したい方の希望利用日数は、就学前児童では「5日」が27.3%と最も多くなっています。

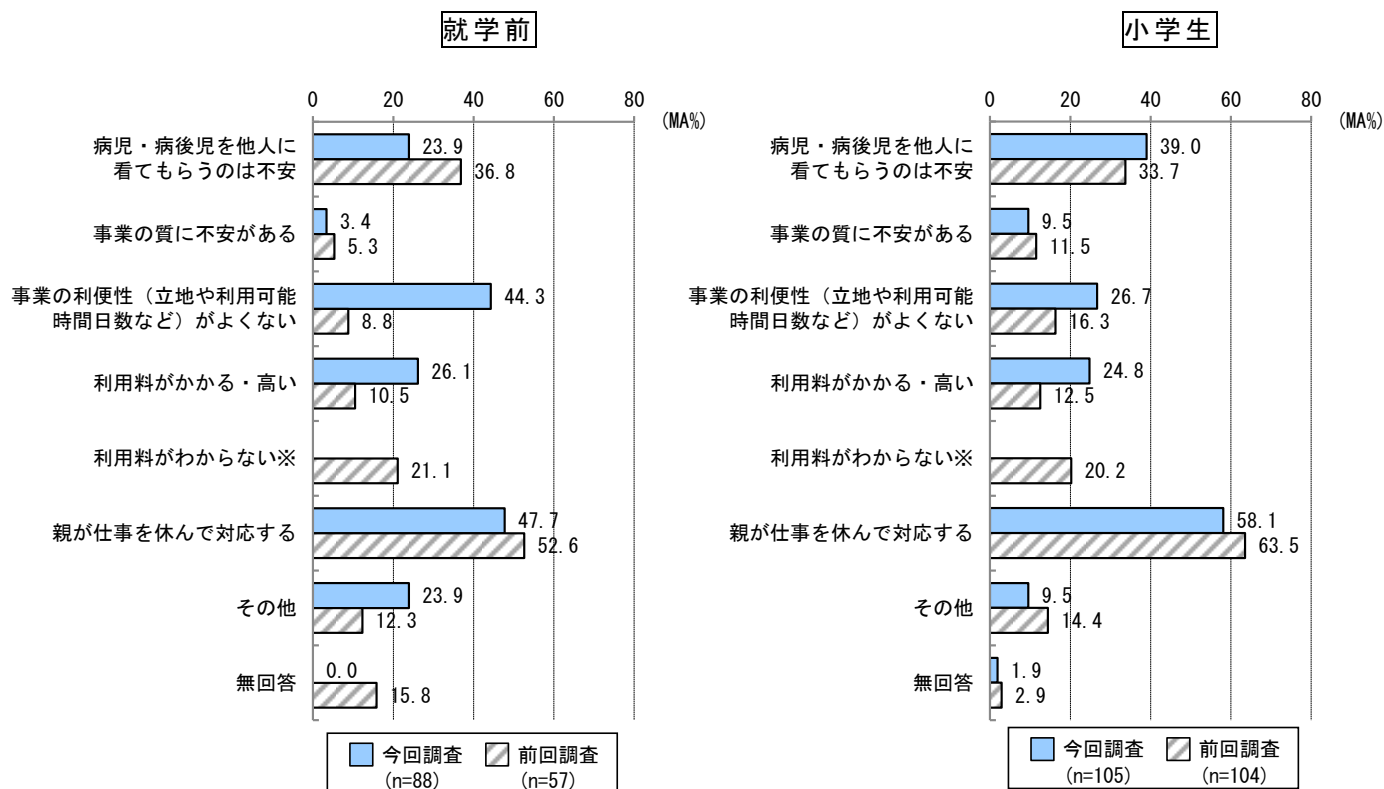
小学生では「3日」が30.4%と最も多く、次いで「2日」が26.1%となっています。

〔４〕病児・病後児保育施設等を利用したいとは思わない理由

問18-2で「利用したいとは思わない」とお答えの方のみ

【 就学前：問18-3／小学生：問18-3 】

そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。



※「利用料がわからない」は、今回調査では選択肢なし

病児・病後児のための保育施設等を利用したいとは思わない理由は、「親が仕事を休んで対応する」が就学前児童で 47.7%、小学生で 58.1%と最も多く、次いで就学前児童では「事業の利便性（立地や利用可能時間日数など）がよいくない」が 44.3%、小学生では「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」が 39.0%となっています。

前回調査に比べて、「事業の利便性（立地や利用可能時間日数など）がよいくない」が就学前児童で 35.5 ポイント、小学生で 10.4 ポイント増加しています。また、「利用料がかかる・高い」が就学前児童で 15.6 ポイント、小学生で 12.3 ポイント増加しています。

Ⅱ. 保護者調査結果

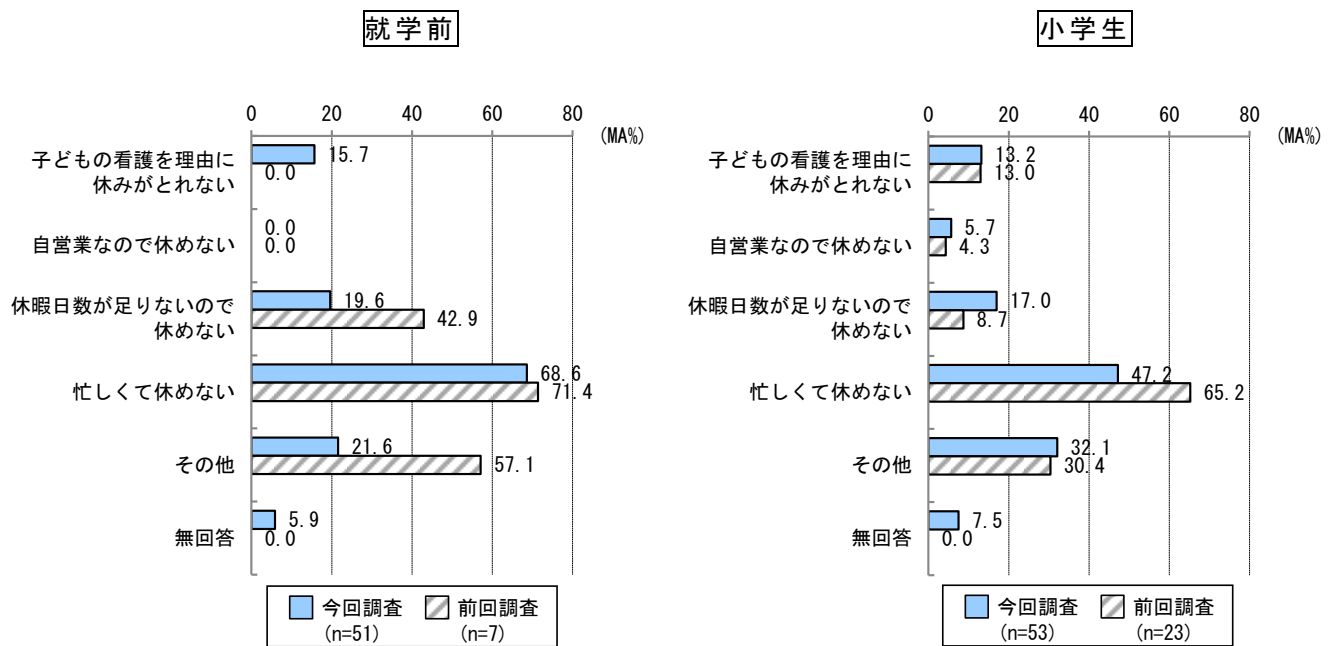
〔５〕 保護者が看ることが難しい理由

問18-1で「父親または母親が仕事を休んだ」「就労していない保護者が世話をした」以外をお答えの方のみ

【 就学前：問18-4／小学生：問18-4 】

その理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

※前回調査では、できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たいと思ったかの設問において、「休んで看ることは非常に難しい」と答えた方を対象とした設問



保護者が看ることが難しい理由は、「忙しくて休めない」が就学前児童で 68.6%、小学生で 47.2%と最も多くなっています。

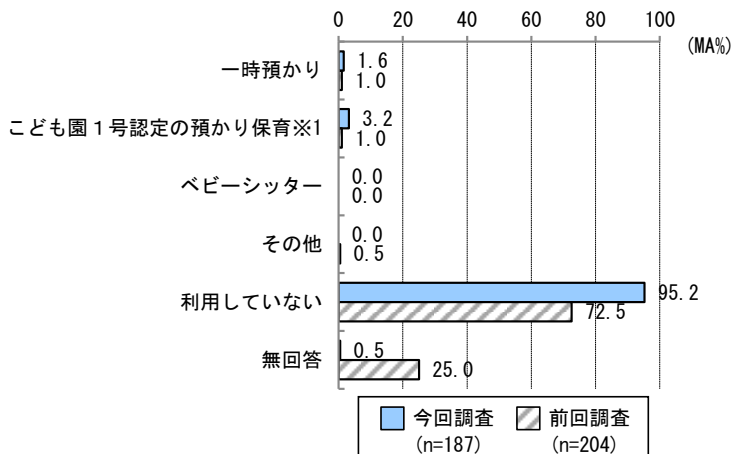
10 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用（就学前児童のみ）

〔1〕不定期に利用している教育・保育事業

【就学前：問19／小学生：－】

お子さんについて、日中の定期的な保育以外に、リフレッシュ、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。

ある場合は、当てはまる番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数（おおよそ）も（ ）内に数字でご記入ください。



※「一時預かり」…私用など理由を問わずにこども園等で一時的に子供を保育する事業

※「こども園1号認定の預かり保育」…通常の就園時間を延長して預かる事業のうち不定期に利用する場合のみ

※1 前回調査では、「幼稚園の預かり保育」

不定期な教育・保育事業の利用は、「一時預かり」が1.6%、「こども園1号認定の預かり保育」が3.2%となっていますが、「利用していない」が95.2%と、前回調査に比べて22.7ポイント増加しています。

■ 1年間の利用日数

	一時預かり (n=3)		こども園1号認定の預かり保育 (n=6)		ベビーシッター (n=0)		その他 (n=0)	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
1日	0	0	0	0	0	0	0	0
2日	0	0	2	33.3	0	0	0	0
3日	0	0	0	0	0	0	0	0
4日	1	33.3	0	0	0	0	0	0
5日	0	0	0	0	0	0	0	0
6日	0	0	0	0	0	0	0	0
7日	0	0	2	33.3	0	0	0	0
8日	0	0	0	0	0	0	0	0
9日	0	0	0	0	0	0	0	0
10日以上	1	33.3	0	0	0	0	0	0
無回答	1	33.3	2	33.3	0	0	0	0

また、その1年間の利用日数は、「一時預かり」で「4日」「10日以上」がそれぞれ1件ずつ、「こども園1号認定の預かり保育」で「2日」「7日」がそれぞれ2件となっています。

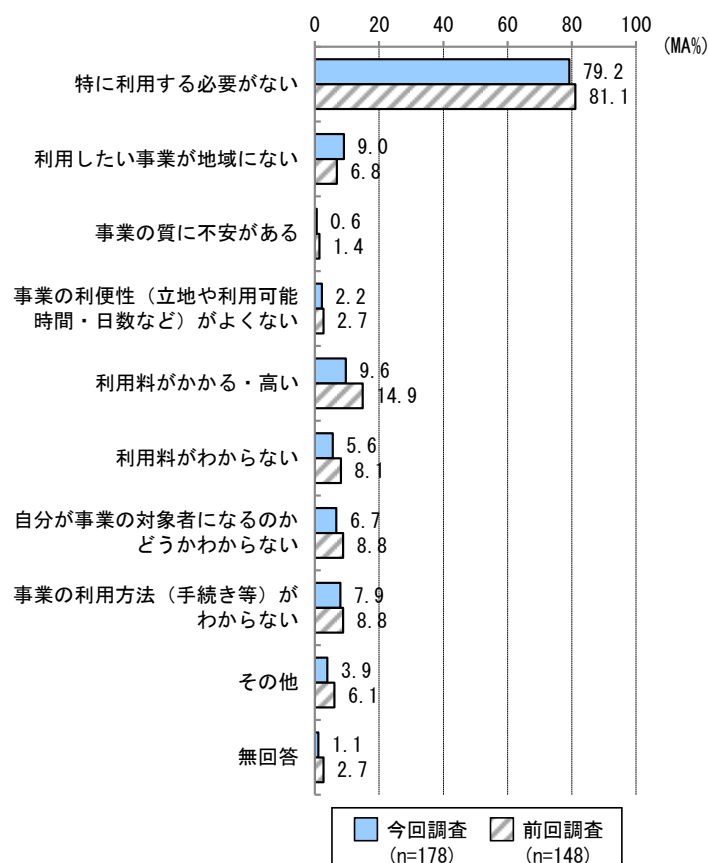
Ⅱ. 保護者調査結果

〔２〕 不定期的な事業利用をしていない理由

問19で「利用していない」とお答えの方のみ

【 就学前：問19-1／小学生：－ 】

現在利用していない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。



不定期的な教育・保育事業を「利用していない」理由は、「特に利用する必要がない」が79.2%と最も多く、次いで「利用料がかかる・高い」が9.6%となっています。前回調査に比べて、「利用料がかかる・高い」が5.3ポイント減少しています。

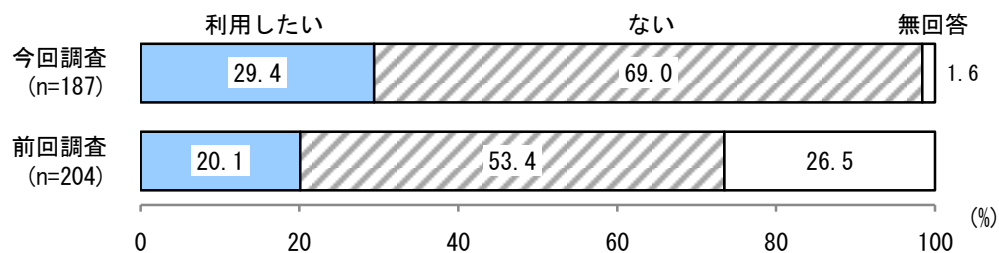
〔 3 〕 不定期な事業利用の希望

【 就学前：問20／小学生： - 】

お子さんについて、リフレッシュ、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な日数をご記入ください。（利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を（ ）内に数字でご記入ください。）

なお事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

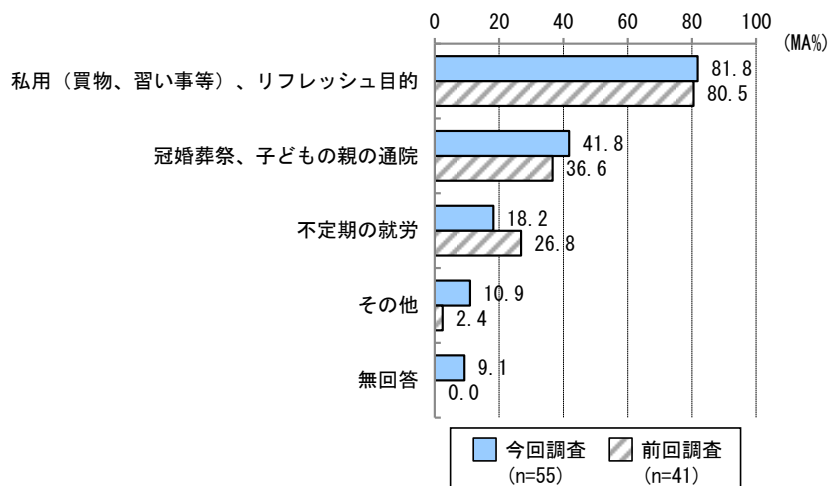
■ 利用希望の有無



不定期な教育・保育事業を「利用したい」人は 29.4%となっています。

「利用したい」とお答えの方のみ

■ 利用目的



不定期な教育・保育事業を「利用したい」人の利用目的は、「私用（買物、習い事等）、リフレッシュ目的」が 81.8%と最も多く、次いで「冠婚葬祭、子どもの親の通院」が 41.8%、「不定期の就労」が 18.2%となっています。

前回調査に比べて、「冠婚葬祭、子どもの親の通院」が 5.2 ポイント増加している一方で、「不定期の就労」が 8.6 ポイント減少しています。

Ⅱ. 保護者調査結果

■ 年間の希望利用日数

	利用日数合計 (n=55)		私用（買物、習い事等）、リフレッシュ目的 (n=45)		冠婚葬祭、子どもの親の通院 (n=23)		不特定の就労 (n=10)		その他 (n=6)	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
1日	0	0	0	0	1	4.3	2	20.0	0	0
2日	2	3.6	2	4.4	4	17.4	2	20.0	1	16.7
3日	2	3.6	4	8.9	2	8.7	0	0	0	0
4日	0	0	3	6.7	1	4.3	1	10.0	1	16.7
5日	4	7.3	7	15.6	7	30.4	2	20.0	1	16.7
6日	1	1.8	3	6.7	2	8.7	0	0	1	16.7
7日	0	0	1	2.2	0	0	0	0	0	0
8日	1	1.8	0	0	2	8.7	0	0	0	0
9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10日以上	42	76.4	25	55.6	3	13.0	3	30.0	2	33.3
無回答	3	5.5	0	0	1	4.3	0	0	0	0

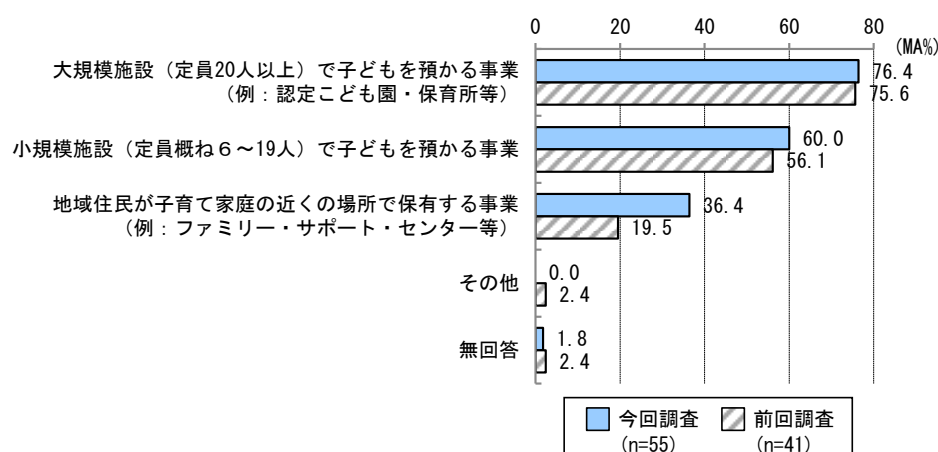
不特定の教育・保育事業を「利用したい」人の年間の希望利用日数は、「私用（買物、習い事等）、リフレッシュ目的」「不特定の就労」で「10日以上」、「冠婚葬祭、子どもの親の通院」で「5日」が最も多く、利用したい日数の合計も、「10日以上」が最も多くなっています。

〔4〕子どもを預ける場合に望ましい事業形態

問20で「利用したい」とお答えの方のみ

【 就学前：問20-1／小学生：－ 】

問20の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。



不特定の教育・保育事業を「利用したい」人が、子どもを預ける場合に望ましいと思われる事業形態は、「大規模施設で子どもを預かる事業」が76.4%と最も多く、次いで「小規模施設で子どもを預かる事業」が60.0%となっています。

前回調査に比べて、「地域住民が子育て家庭の近くの場所で保有する事業」が16.9ポイント増加しています。

〔５〕短期入所生活援助事業利用の希望【新規設問】

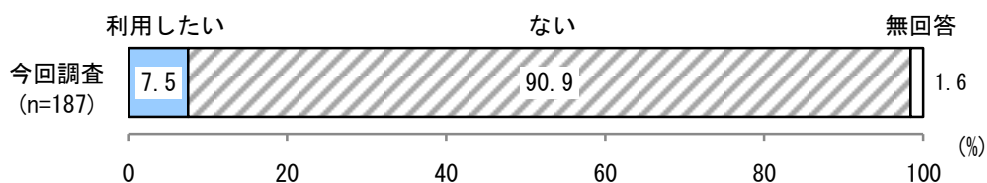
【就学前：問21／小学生：－】

お子さんについて、保護者の用事（冠婚葬祭や出張等）、保護者・家族（兄弟姉妹含む）の育児疲れや育児不安、病気などにより、泊りがけで年間何日くらい家族以外に預ける必要があると思いますか。

短期入所生活援助事業（ショートステイ）（児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業）の利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な泊数をご記入ください。（利用したい泊数の合計と、目的別の内訳の日数を（ ）内に数字でご記入ください。）

なお事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

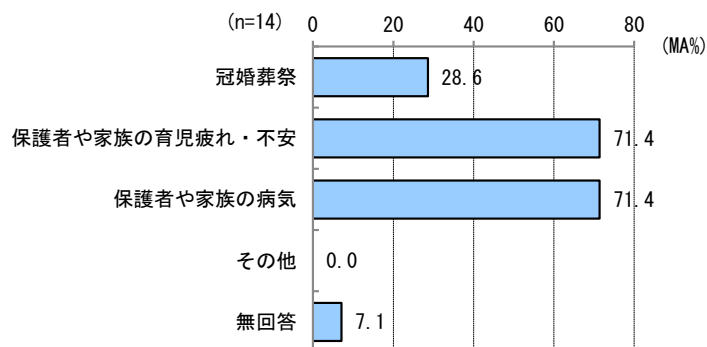
■ 利用希望の有無



短期入所生活援助事業を「利用したい」人は 7.5%となっています。

「利用したい」とお答えの方のみ

■ 利用目的



短期入所生活援助事業を「利用したい」人の利用目的は、「保護者や家族の育児疲れ・不安」「保護者や家族の病気」が 71.4%、「冠婚葬祭」が 28.6%となっています。

Ⅱ. 保護者調査結果

■ 年間の希望利用日数

	利用日数合計		冠婚葬祭		保護者や家族の 育児疲れ・不安		保護者や家族の 病気		その他	
	(n=14)		(n=4)		(n=10)		(n=10)		(n=0)	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
1日	2	14.3	1	25.0	2	20.0	2	20.0	0	0
2日	2	14.3	1	25.0	2	20.0	3	30.0	0	0
3日	1	7.1	0	0	1	10.0	0	0	0	0
4日	0	0	0	0	3	30.0	0	0	0	0
5日	3	21.4	2	50.0	2	20.0	2	20.0	0	0
6日	0	0	0	0	0	0	2	20.0	0	0
7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10日以上	5	35.7	0	0	0	0	0	0	0	0
無回答	1	7.1	0	0	0	0	1	10.0	0	0

短期入所生活援助事業を「利用したい」人の年間の希望利用日数は、「冠婚葬祭」で「5日」、「保護者や家族の育児疲れ・不安」で「4日」、「保護者や家族の病気」で「2日」が最も多く、利用したい日数の合計は、「10日以上」が最も多くなっています。

11 放課後の過ごし方

〔1〕小学校低学年時（１～３年生）の放課後の過ごし方

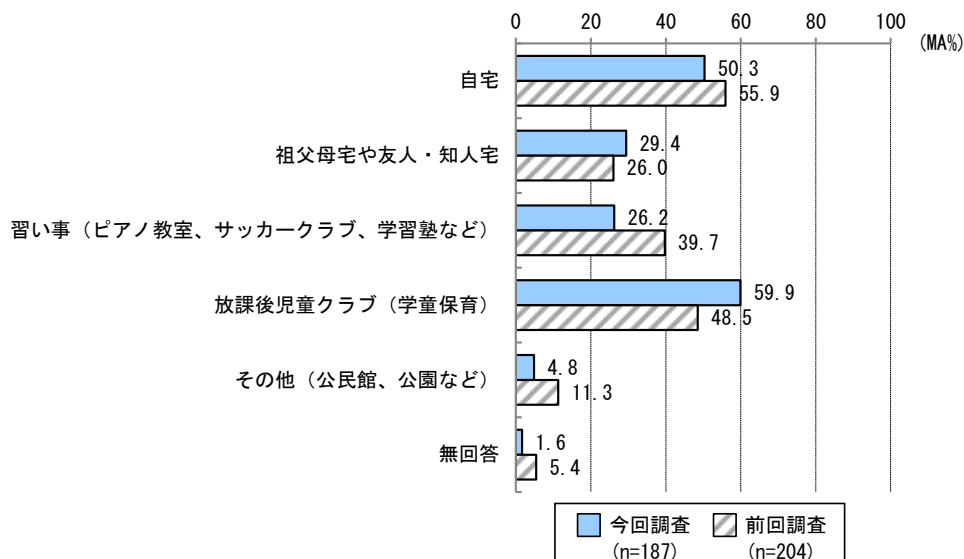
【 就学前：問22／小学生：問7 】

お子さんについて、小学校低学年（１～３年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たり日数を（ ）に数字でお答えください。また、「放課後児童クラブ（学童保育）」の場合には、利用を希望する時間も（ ）内に数字でご記入ください。時間は必ず（例）18時のように24時間制でご記入ください。

※「放課後児童クラブ（学童保育）」…保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに、指導員の下、子どもの生活の場を提供するもの。

就学前

■小学校低学年時（１～３年生）に放課後を過ごさせたい場所



就学前児童の保護者が、小学校低学年時（１～３年生）に放課後の時間を過ごさせたい場所は、「放課後児童クラブ（学童保育）」が 59.9%と最も多く、次いで「自宅」が 50.3%、「祖父母宅や友人・知人宅」が 29.4%となっています。

前回調査に比べて、「自宅」が 5.6 ポイント、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が 13.5 ポイント減少している一方で、「放課後児童クラブ（学童保育）」が 11.4 ポイント増加しています。

Ⅱ. 保護者調査結果

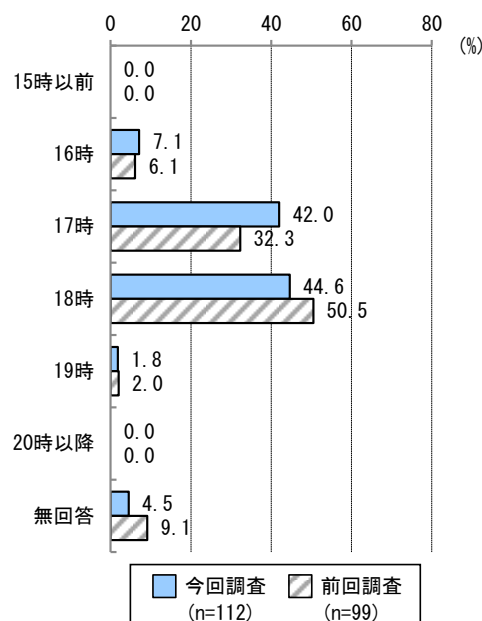
■ 1週間あたりの希望利用日数

	自宅 (n=94)		祖父母宅や 友人・知人宅 (n=55)		習い事（ピアノ 教室、サッカー クラブ、学習塾 など） (n=49)		放課後児童 クラブ (学童保育) (n=112)		その他 (公民館、公園 など) (n=9)	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
1日	13	13.8	18	32.7	25	51.0	1	0.9	2	22.2
2日	12	12.8	8	14.5	13	26.5	11	9.8	4	44.4
3日	12	12.8	6	10.9	4	8.2	20	17.9	2	22.2
4日	5	5.3	4	7.3	0	0	10	8.9	1	11.1
5日	33	35.1	9	16.4	0	0	63	56.3	0	0
6日	0	0	0	0	0	0	3	2.7	0	0
7日	1	1.1	0	0	0	0	0	0	0	0
無回答	18	19.1	10	18.2	7	14.3	4	3.6	0	0

また、その1週間あたりの希望利用日数は、「自宅」「放課後児童クラブ（学童保育）」で「5日」、「祖父母宅や友人・知人宅」「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」で「1日」、「その他（公民館、公園など）」で「2日」が最も多くなっています。

「放課後児童クラブ（学童保育）」とお答えの方のみ

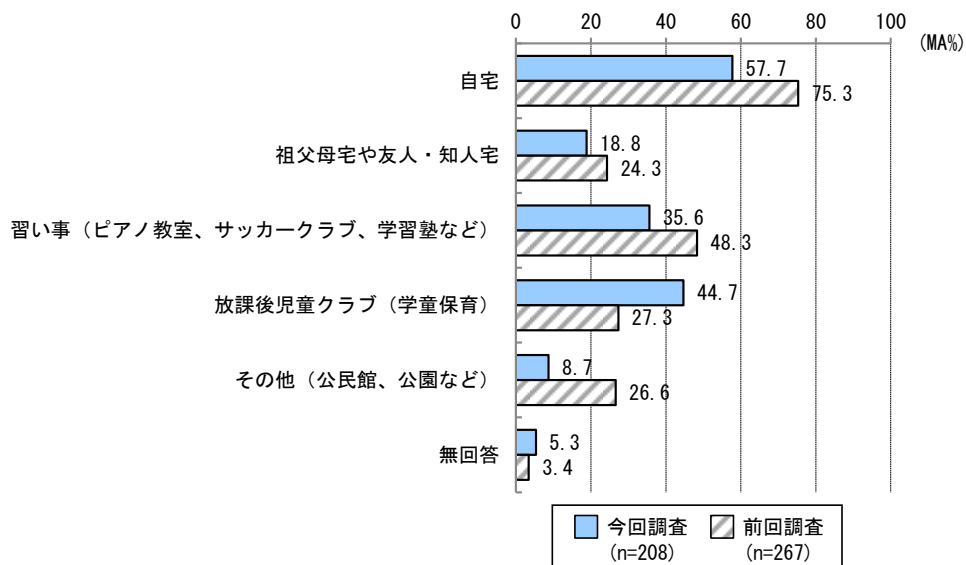
■ 希望終了時間



「放課後児童クラブ（学童保育）」を選択した方の希望終了時間は、「18時」が44.6%と最も多く、次いで「17時」が42.0%となっています。

小学生

■ 小学校低学年時（１～３年生）に放課後を過ごさせたい場所



小学生の保護者が、小学校低学年時（１～３年生）に放課後の時間を過ごさせたい場所は、「自宅」が 57.7%と最も多く、次いで「放課後児童クラブ（学童保育）」が 44.7%、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が 35.6%となっています。

前回調査に比べて、「自宅」が 17.6 ポイント、「祖父母宅や友人・知人宅」が 5.5 ポイント、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が 12.7 ポイント、「その他（公民館、公園など）」が 17.9 ポイント減少している一方で、「放課後児童クラブ（学童保育）」が 17.4 ポイント増加しています。

【地区別×小学校低学年時（１～３年生）に放課後を過ごさせたい場所】

	n	自宅	祖父母宅や友人・知人宅	習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	放課後児童クラブ（学童保育）	その他（公民館、公園など）	無回答
全 体	208	120	39	74	93	18	11
	100.0	57.7	18.8	35.6	44.7	8.7	5.3
川辺地区	85	44	11	28	45	6	4
	100.0	51.8	12.9	32.9	52.9	7.1	4.7
瀬加地区	28	19	8	11	7	4	3
	100.0	67.9	28.6	39.3	25.0	14.3	10.7
甘地地区	56	37	11	20	24	5	2
	100.0	66.1	19.6	35.7	42.9	8.9	3.6
鶴居地区	39	20	9	15	17	3	2
	100.0	51.3	23.1	38.5	43.6	7.7	5.1

地区別にみると、川辺地区では他地区に比べて「放課後児童クラブ（学童保育）」が多くなっています。

Ⅱ. 保護者調査結果

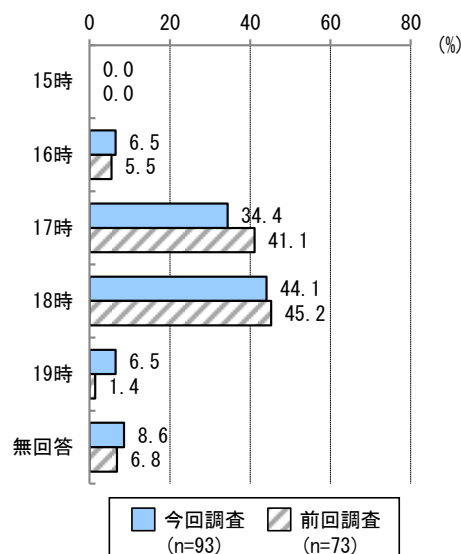
■ 1週間あたりの希望利用日数

	自宅 (n=120)		祖父母宅や 友人・知人宅 (n=39)		習い事（ピアノ 教室、サッカー クラブ、学習塾 など） (n=74)		放課後児童 クラブ (学童保育) (n=93)		その他 (公民館、公園 など) (n=18)	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
1日	13	10.8	20	51.3	22	29.7	2	2.2	5	27.8
2日	25	20.8	7	17.9	34	45.9	11	11.8	7	38.9
3日	19	15.8	3	7.7	11	14.9	18	19.4	5	27.8
4日	15	12.5	3	7.7	0	0	11	11.8	1	5.6
5日	30	25.0	3	7.7	5	6.8	45	48.4	0	0
6日	1	0.8	0	0	0	0	1	1.1	0	0
7日	4	3.3	0	0	0	0	0	0	0	0
無回答	13	10.8	3	7.7	2	2.7	5	5.4	0	0

また、その1週間あたりの希望利用日数は、「自宅」「放課後児童クラブ（学童保育）」で「5日」、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」「その他（公民館、公園など）」で「2日」、「祖父母宅や友人・知人宅」で「1日」が最も多くなっています。

「放課後児童クラブ（学童保育）」とお答えの方のみ

■ 希望終了時間



「放課後児童クラブ（学童保育）」を選択した方の希望終了時間は、「18時」が44.1%と最も多く、次いで「17時」が34.4%となっています。

〔 2 〕 小学校高学年時（ 4 ～ 6 年生 ） の放課後の過ごし方

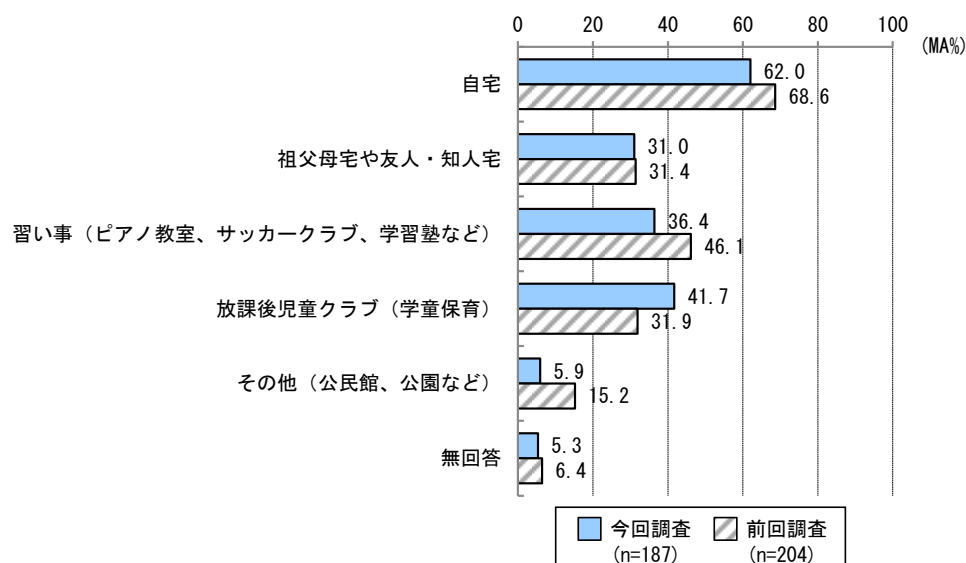
【 就学前：問23／小学生：問8 】

お子さんについて、小学校高学年（ 4 ～ 6 年生 ） になったら、放課後（ 平日の小学校終了後 ） の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週あたり日数を（ ）に数字でお答えください。また、「放課後児童クラブ（学童保育）」の場合には、利用を希望する時間も（ ）内に数字でご記入ください。時間は必ず（例）18時のように24時間制でご記入ください。

※就学前児童については、現在お持ちのイメージで回答。

就学前

■ 小学校高学年時（ 4 ～ 6 年生 ） に放課後を過ごさせたい場所



就学前児童の保護者が、小学校高学年時（ 4 ～ 6 年生 ） に放課後の時間を過ごさせたい場所は、「自宅」が 62.0% と最も多く、次いで「放課後児童クラブ（学童保育）」が 41.7%、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が 36.4% となっています。

前回調査に比べて、「自宅」が 6.6 ポイント、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が 9.7 ポイント、「その他（公民館、公園など）」が 9.3 ポイント減少している一方で、「放課後児童クラブ（学童保育）」が 9.8 ポイント増加しています。

Ⅱ. 保護者調査結果

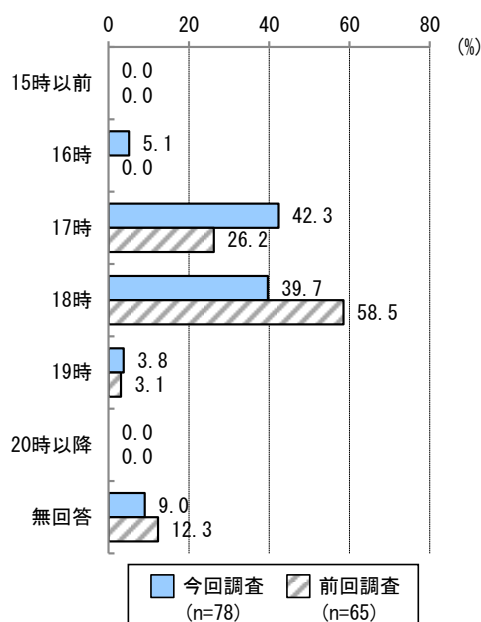
■ 1週間あたりの希望利用日数

	自宅 (n=116)		祖父母宅や 友人・知人宅 (n=58)		習い事（ピアノ 教室、サッカー クラブ、学習塾 など） (n=68)		放課後児童 クラブ (学童保育) (n=78)		その他 (公民館、公園 など) (n=11)	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
1日	9	7.8	20	34.5	23	33.8	2	2.6	2	18.2
2日	22	19.0	10	17.2	23	33.8	13	16.7	4	36.4
3日	18	15.5	8	13.8	9	13.2	15	19.2	4	36.4
4日	4	3.4	2	3.4	3	4.4	5	6.4	0	0
5日	37	31.9	11	19.0	1	1.5	34	43.6	0	0
6日	0	0	0	0	0	0	3	3.8	0	0
7日	1	0.9	0	0	0	0	0	0	0	0
無回答	25	21.6	7	12.1	9	13.2	6	7.7	1	9.1

また、その1週間あたりの希望利用日数は、「自宅」「放課後児童クラブ（学童保育）」で「5日」、「その他（公民館、公園など）」で「2日」「3日」、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」で「1日」「2日」、「祖父母宅や友人・知人宅」で「1日」が最も多くなっています。

「放課後児童クラブ（学童保育）」とお答えの方のみ

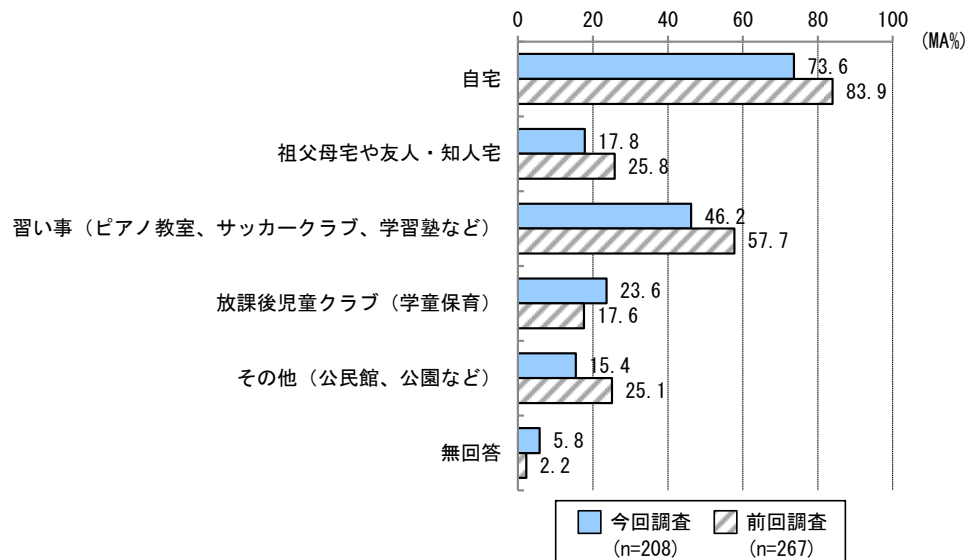
■ 希望終了時間



「放課後児童クラブ（学童保育）」を選択した方の希望終了時間は、「17時」が42.3%と最も多く、次いで「18時」が39.7%となっています。

小学生

■ 小学校高学年時（４～６年生）に放課後を過ごさせたい場所



小学生の保護者が、小学校高学年時（４～６年生）に放課後の時間を過ごさせたい場所は、「自宅」が 73.6%と最も多く、次いで「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が 46.2%となっています。

前回調査に比べて、「自宅」が 10.3 ポイント、「祖父母宅や友人・知人宅」が 8.0 ポイント、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が 11.5 ポイント、「その他（公民館、公園など）」が 9.7 ポイント減少している一方で、「放課後児童クラブ（学童保育）」が 6.0 ポイント増加しています。

Ⅱ. 保護者調査結果

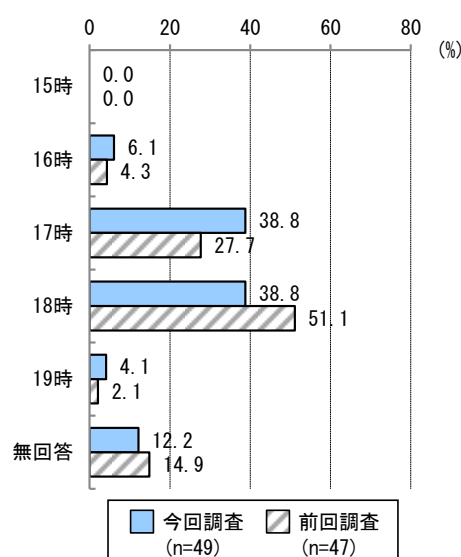
■ 1週間あたりの希望利用日数

	自宅 (n=153)		祖父母宅や 友人・知人宅 (n=37)		習い事（ピアノ 教室、サッカー クラブ、学習塾 など） (n=96)		放課後児童 クラブ (学童保育) (n=49)		その他 (公民館、公園 など) (n=32)	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
1日	10	6.5	19	51.4	21	21.9	2	4.1	17	53.1
2日	38	24.8	9	24.3	43	44.8	9	18.4	8	25.0
3日	29	19.0	2	5.4	19	19.8	13	26.5	7	21.9
4日	9	5.9	2	5.4	4	4.2	2	4.1	0	0
5日	47	30.7	3	8.1	7	7.3	20	40.8	0	0
6日	1	0.7	0	0	0	0	1	2.0	0	0
7日	3	2.0	0	0	0	0	0	0	0	0
無回答	16	10.5	2	5.4	2	2.1	2	4.1	0	0

また、その1週間あたりの希望利用日数は、「自宅」「放課後児童クラブ(学童保育)」で「5日」、「習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)」で「2日」、「祖父母宅や友人・知人宅」「その他(公民館、公園など)」で「1日」が最も多くなっています。

「放課後児童クラブ(学童保育)」とお答えの方のみ

■ 希望終了時間



「放課後児童クラブ(学童保育)」を選択した方の希望終了時間は、「17時」「18時」がともに 38.8%と最も多くなっています。

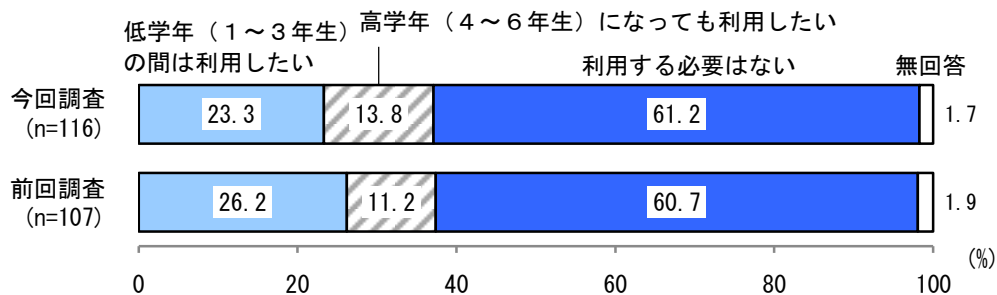
〔３〕土曜日の放課後児童クラブ（学童保育）の利用希望

問22、問23/問7、問8で「放課後児童クラブ（学童保育）」とお答えの方のみ
【 就学前：問24／小学生：問9 】

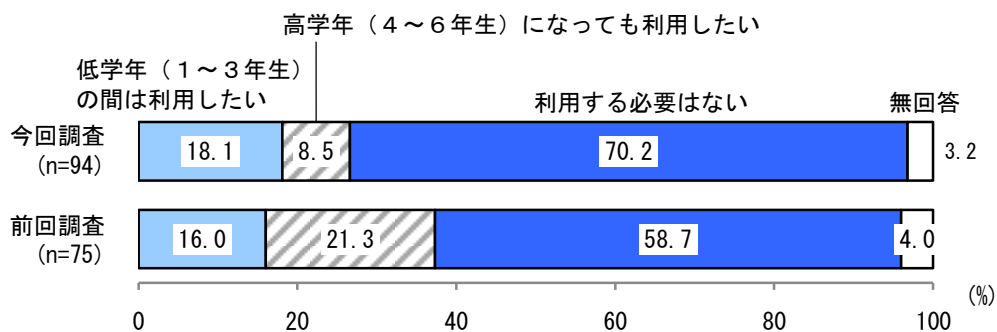
お子さんについて、土曜日に放課後児童クラブ（学童保育）の利用希望はありますか。当てはまる番号１つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、（ ）内に（例）９時～１８時のように２４時間制でご記入ください。

■土曜日の利用希望

就学前



小学生



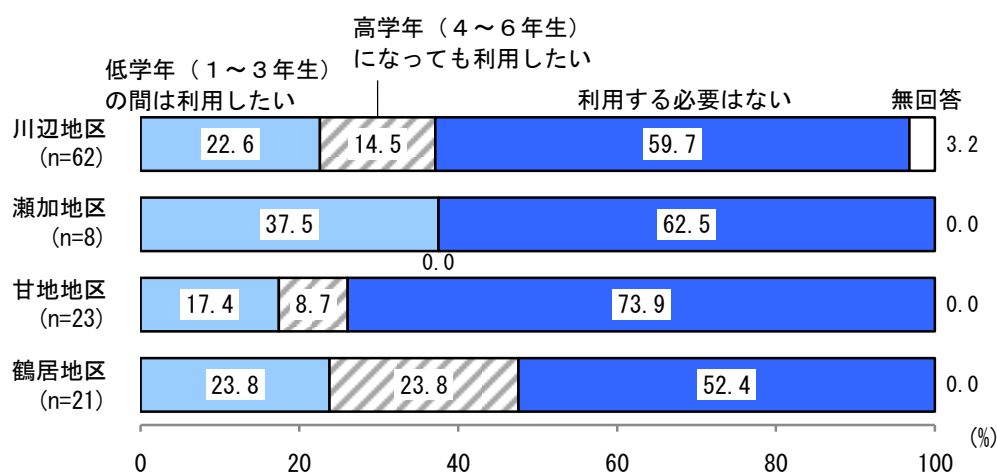
放課後を過ごさせたい場所に「放課後児童クラブ（学童保育）」を選択している方の、土曜日の利用希望について、就学前児童では、「低学年（１～３年生）の間は利用したい」が 23.3%、「高学年（４～６年生）になっても利用したい」が 13.8%で、利用希望者は合計 37.1%となっています。

小学生では、「低学年（１～３年生）の間は利用したい」が 18.1%、「高学年（４～６年生）になっても利用したい」が 8.5%で、利用希望者は合計 26.6%となっています。前回調査に比べて、「高学年（４～６年生）になっても利用したい」が 12.8 ポイント減少しています。

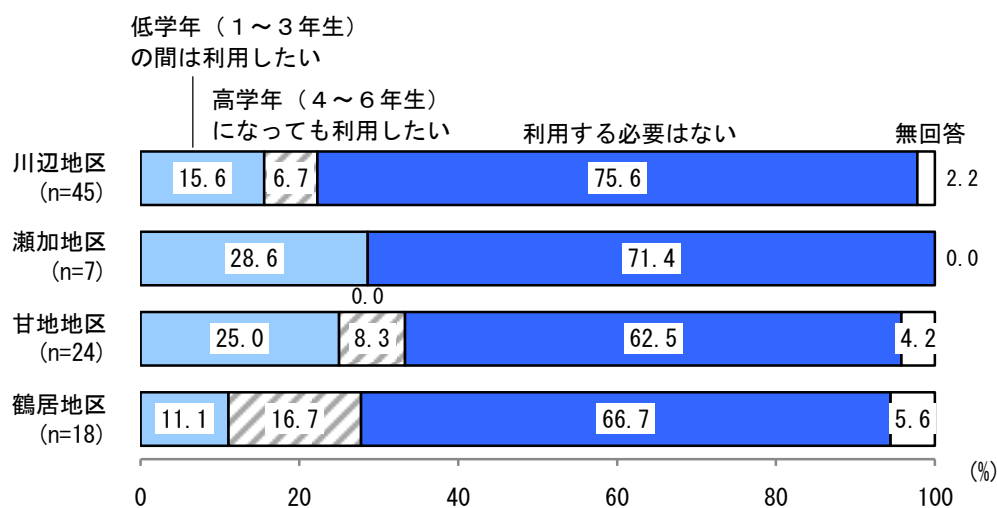
Ⅱ. 保護者調査結果

【地区別×土曜日の放課後児童クラブ（学童保育）の利用希望】

就学前

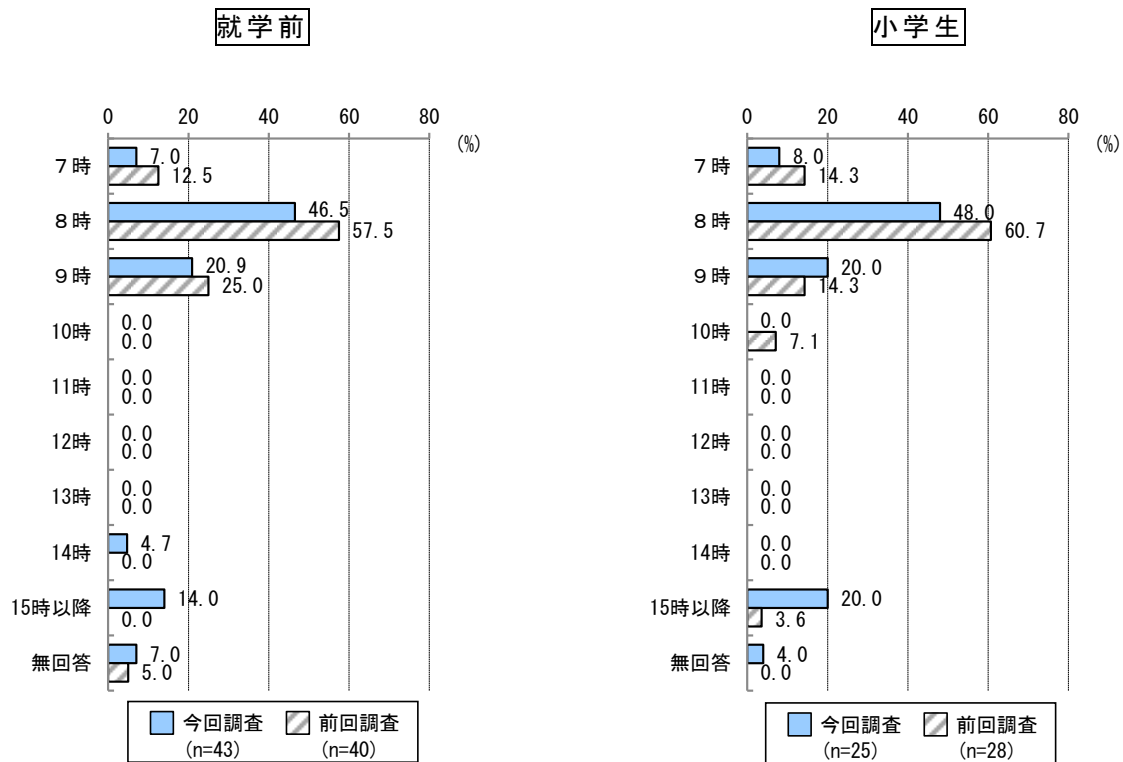


小学生



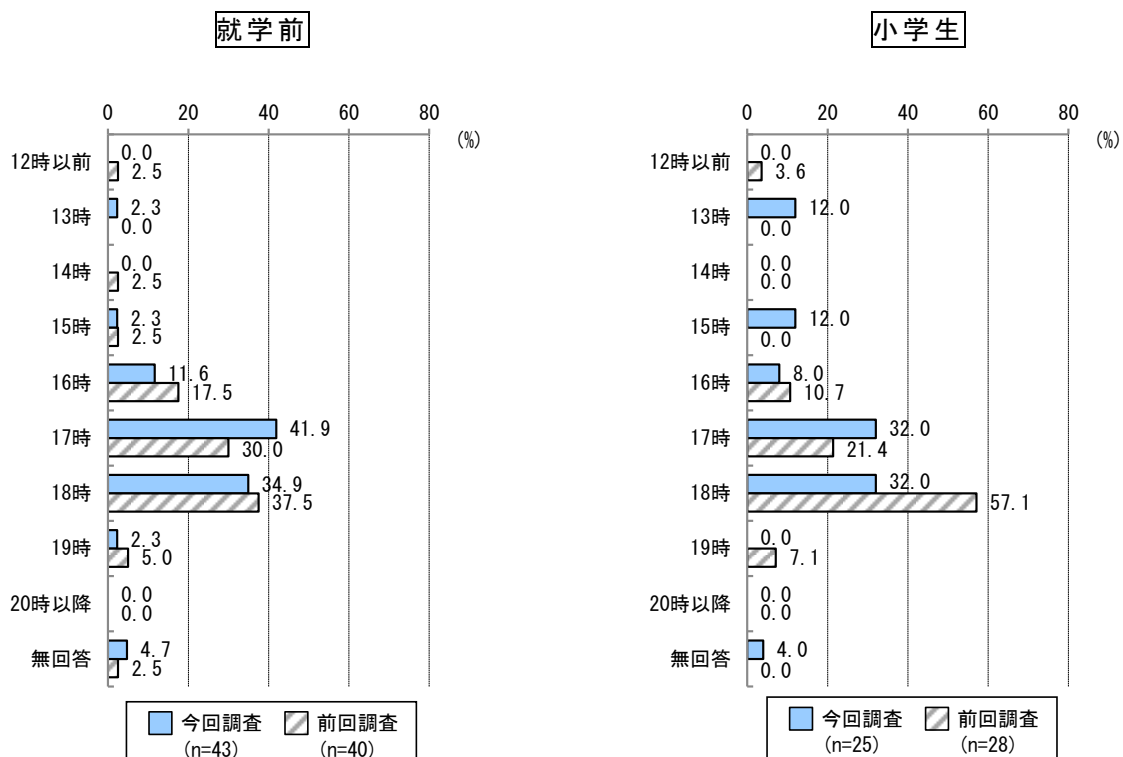
地区別にみると、就学前児童・小学生ともに鶴居地区以外は、利用希望者のうち、「高学年（４～６年生）になっても利用したい」より「低学年（１～３年生）の間は利用したい」のほうが多くなっています。

■ 土曜日の希望開始時間



土曜日の利用希望者の希望開始時間は、「8時」が最も多く、就学前児童で 46.5%、小学生で 48.0%となっています。

■ 土曜日の希望終了時間



希望終了時間は「17時」が最も多く、就学前児童で 41.9%、小学生で 32.0%となっています。また、小学生では「18時」も 32.0%と最も多くなっています。

Ⅱ. 保護者調査結果

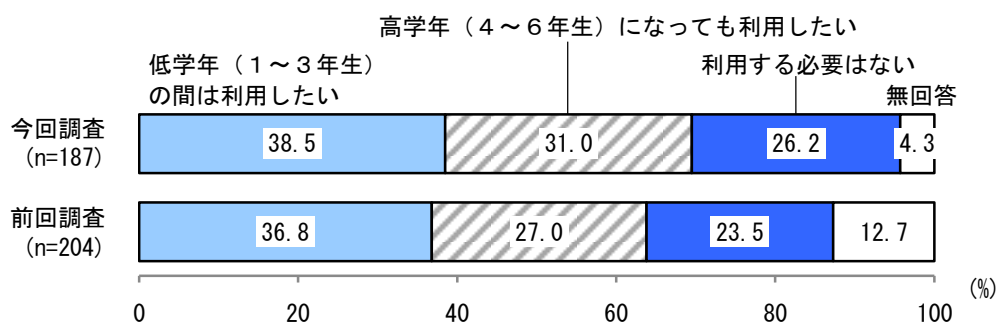
〔４〕長期休業期間中の放課後児童クラブ（学童保育）の利用希望

【 就学前：問25／小学生：問10 】

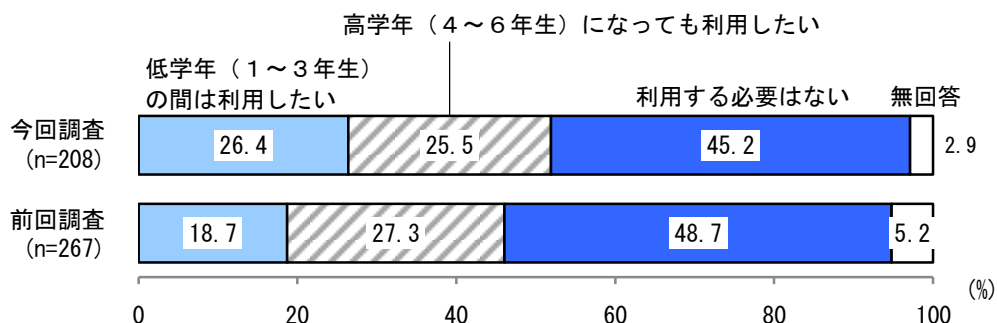
お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休業期間中の放課後児童クラブ（学童保育）の利用希望はありますか。当てはまる番号１つに○をつけてください。また、利用したい時間帯を、（ ）内に（例）９時～１８時のように２４時間制でご記入ください。

■長期休業期間中の利用希望

就学前



小学生



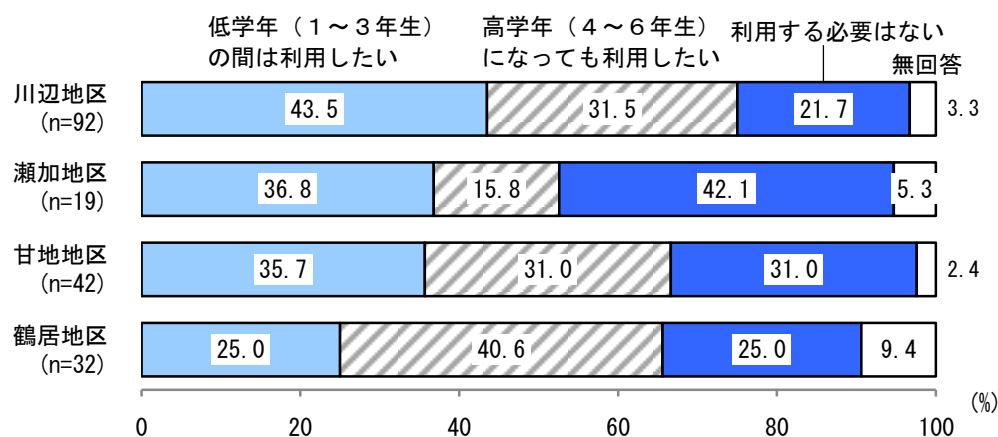
「放課後児童クラブ（学童保育）」の長期休業期間中の利用希望について、就学前児童では、「低学年（１～３年生）の間は利用したい」が 38.5%、「高学年（４～６年生）になっても利用したい」が 31.0%で、利用希望者は合計 69.5%となっています。

小学生では、「低学年（１～３年生）の間は利用したい」が 26.4%、「高学年（４～６年生）になっても利用したい」が 25.5%で、利用希望者は合計 51.9%となっています。

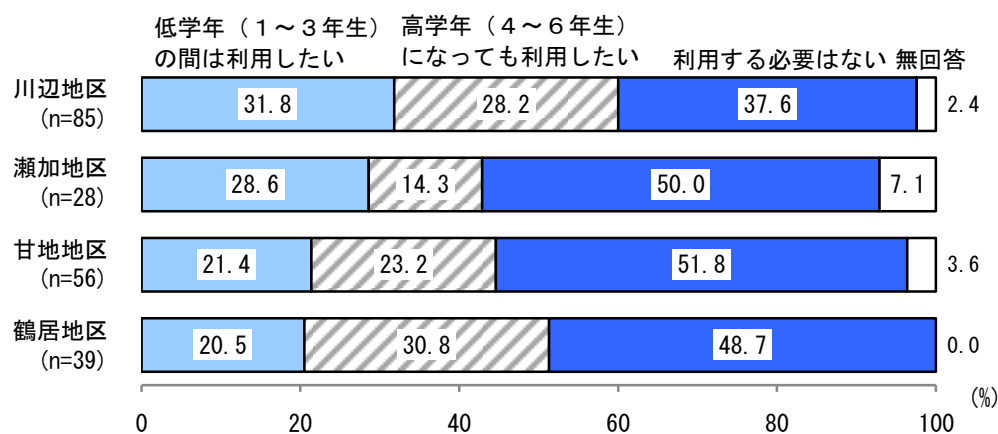
前回調査に比べて、利用希望者は就学前児童で 5.7 ポイント、小学生で 5.9 ポイント増加しています。

【地区別×長期休業期間中の放課後児童クラブ（学童保育）の利用希望】

就学前



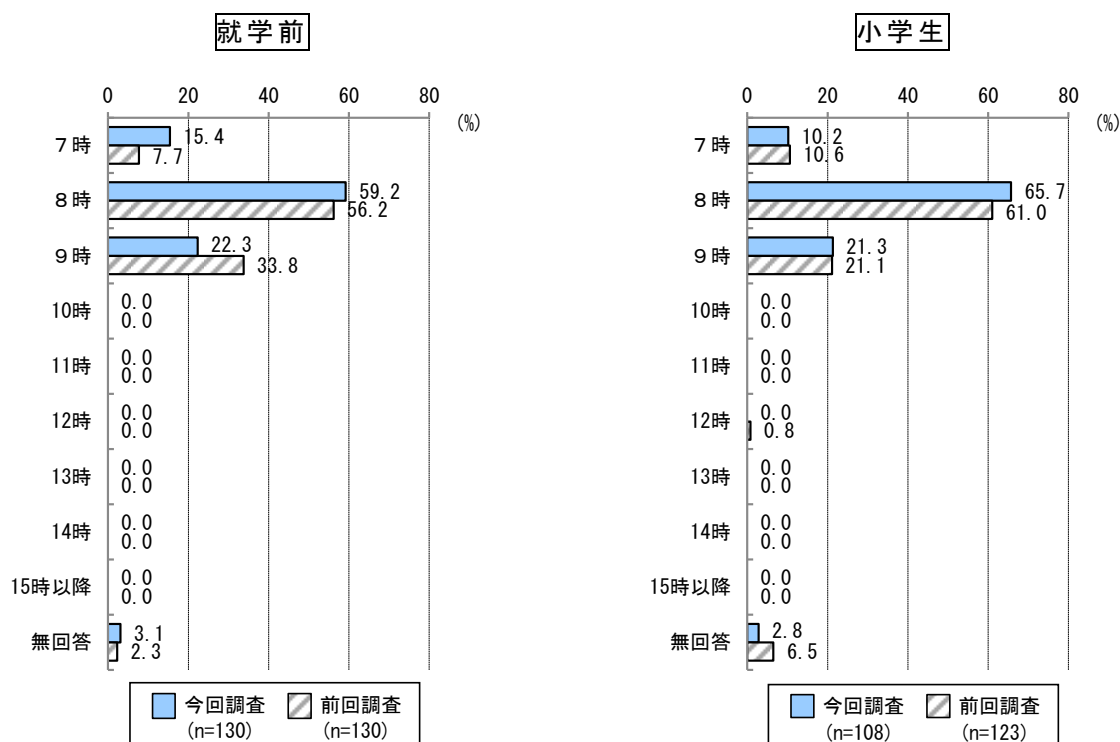
小学生



地区別にみると、就学前児童・小学生ともに、川辺地区で利用希望者が多く、就学前児童で 75.0%、小学生で 60.0%となっています。

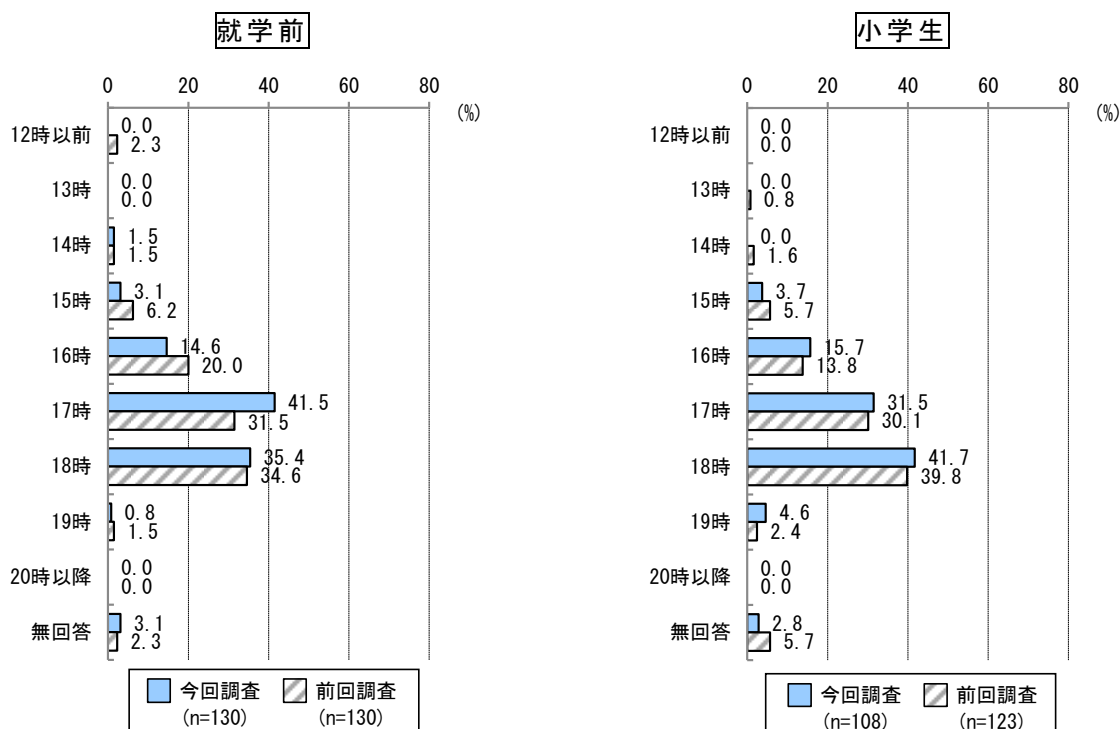
Ⅱ. 保護者調査結果

■長期休業期間中の希望開始時間



長期休業期間中の利用希望者の希望開始時間は、「8時」が最も多く、就学前児童で59.2%、小学生で65.7%となっています。

■長期休業期間中の希望終了時間



希望終了時間は、就学前児童では「17時」が41.5%と最も多く、次いで「18時」が35.4%となっています。

小学生では「18時」が41.7%と最も多く、次いで「17時」が31.5%となっています。

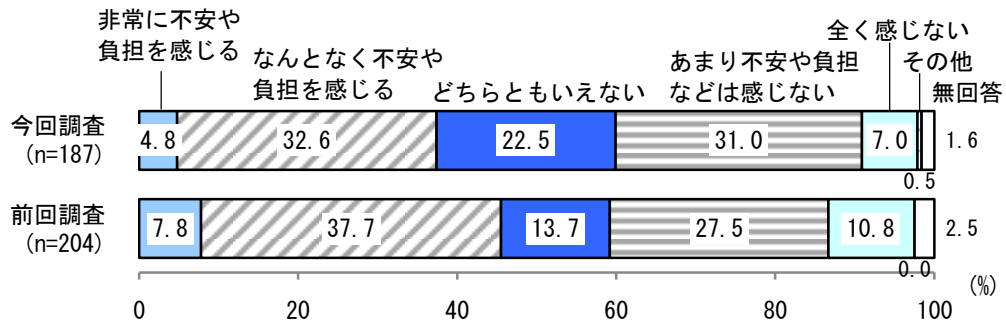
12 子育て観や子育て環境、サービスの満足度など

〔1〕子育てに関する不安や負担の有無

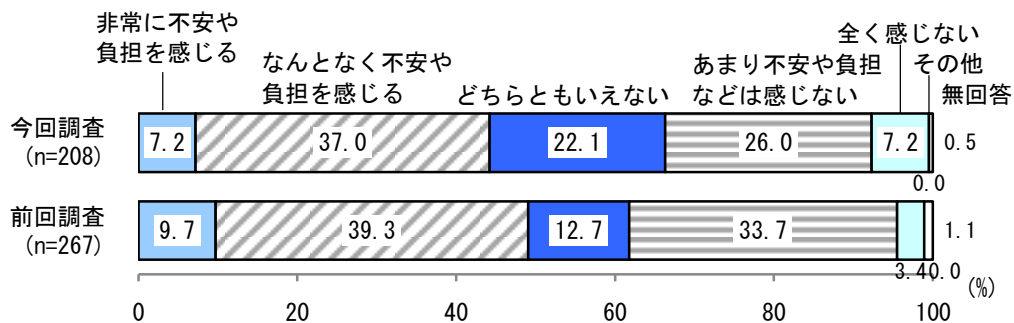
【 就学前：問26／小学生：問20 】

あなたは、子育てに関して不安や負担などを感じていますか。
当てはまる番号1つに○をつけてください。

就学前



小学生



就学前児童では、子育てに関する不安や負担を『感じる』（「非常に不安や負担を感じる」と「なんとなく不安や負担を感じる」の合計）が37.4%、『感じない』（「全く感じない」と「あまり不安や負担などは感じない」の合計）が38.0%となっています。

小学生では、『感じる』が44.2%、『感じない』が33.2%となっています。

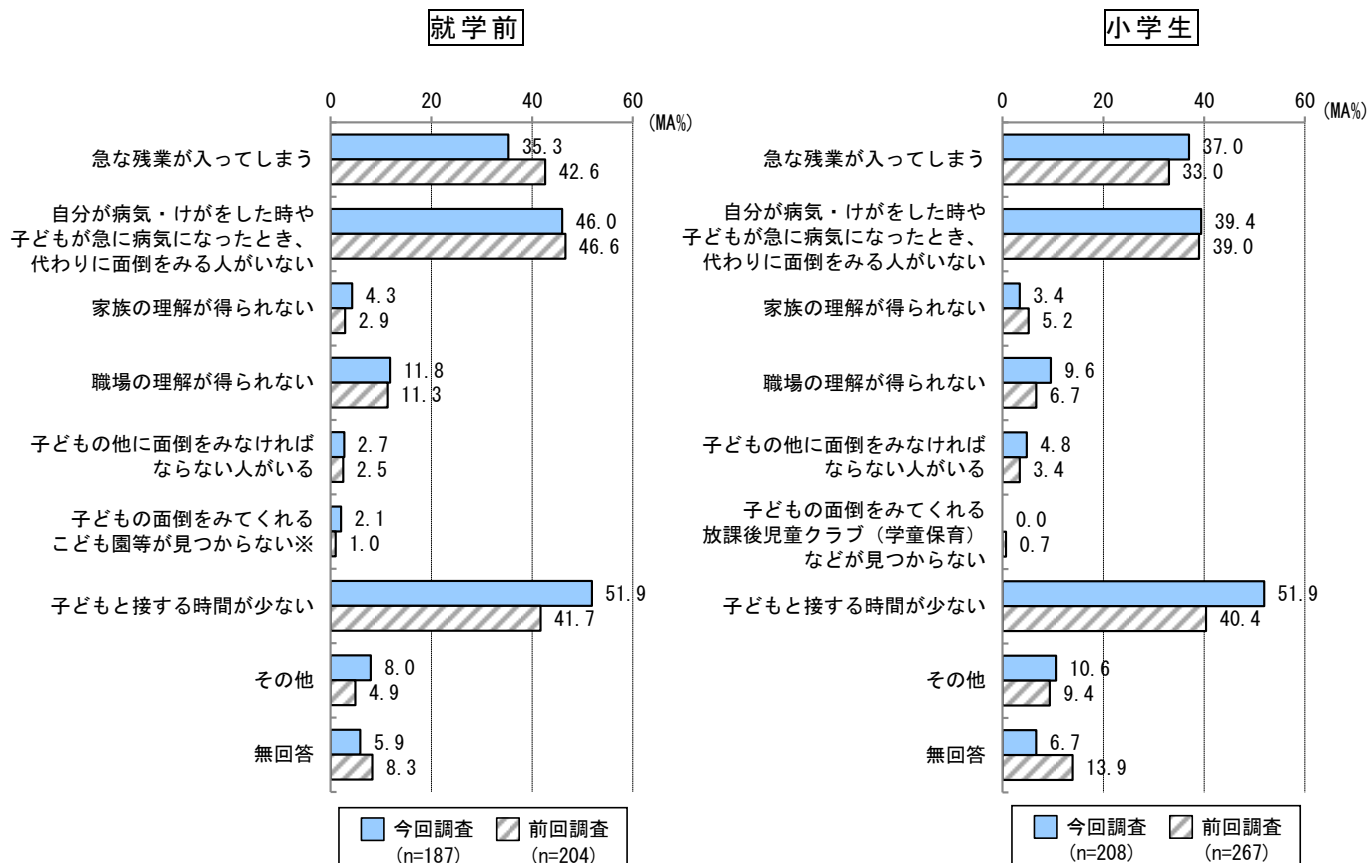
前回調査に比べて、「どちらともいえない」が就学前児童で8.8ポイント、小学生で9.4ポイント増加しています。

Ⅱ. 保護者調査結果

〔２〕仕事と子育てを両立させる上で大変なこと

【 就学前：問27／小学生：問21 】

仕事と子育てを両立させる上で大変だと思われることは何ですか。
当てはまる番号すべてに○をつけてください。



※前回調査では、「子供の面倒をみてくれる保育所などが見つからない」

仕事と子育てを両立させる上で大変なことについては、就学前児童では、「子どもと接する時間が少ない」が51.9%と最も多く、次いで「自分が病気・けがをした時や子どもが急に病気になったとき、代わりに面倒をみる人がいない」が46.0%、「急な残業が入ってしまう」が35.3%となっています。

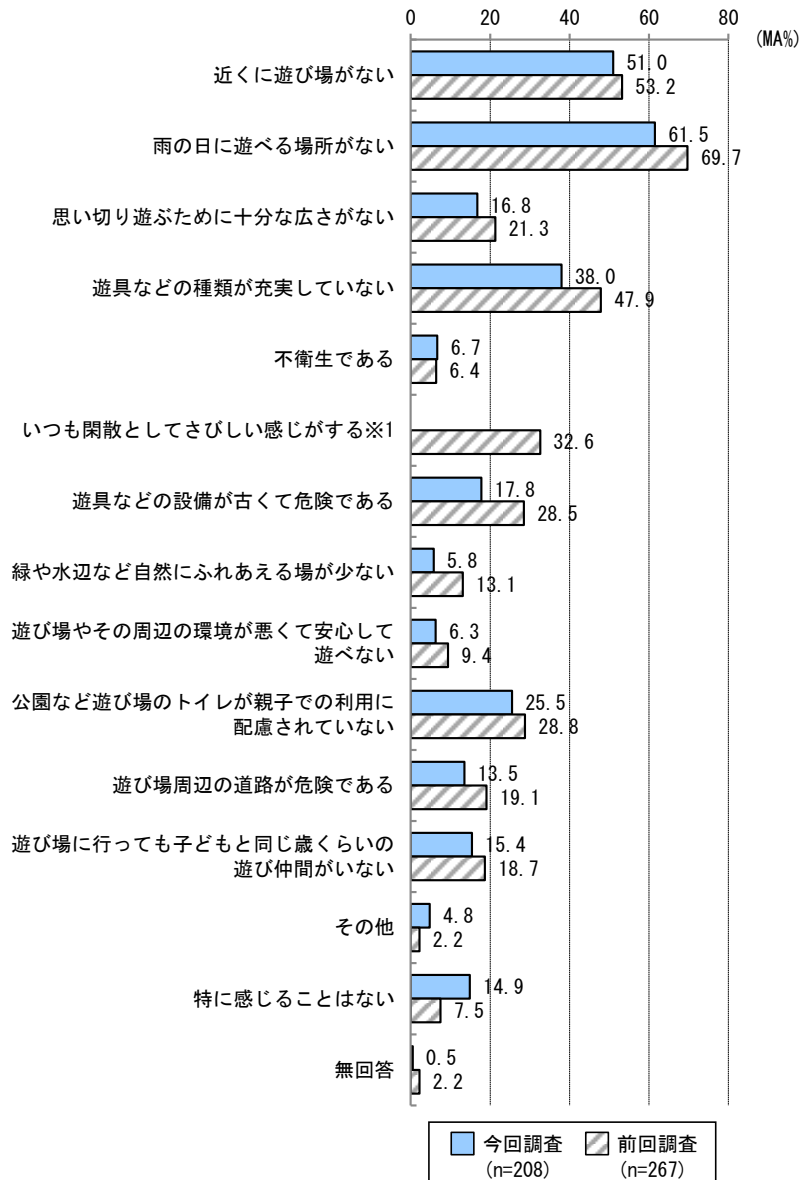
小学生でも、「子どもと接する時間が少ない」が51.9%と最も多く、次いで「自分が病気・けがをした時や子どもが急に病気になったとき、代わりに面倒をみる人がいない」が39.4%、「急な残業が入ってしまう」が37.0%となっています。

前回調査に比べて、「子どもと接する時間が少ない」が就学前児童で10.2ポイント、小学生で11.5ポイント増加しています。

〔 3 〕 遊び場について（小学生のみ）

【 就学前：－／小学生：問22 】

お住まいの地域の遊び場の改善点としてどのように感じますか。
最も当てはまる番号に3つまで○をつけてください。



※回答制限以上の回答も有効として集計

※1 「いつも閑散としてさびしい感じがする」は、今回調査では選択肢なし

遊び場について感じることは、「雨の日に遊べる場所がない」が61.5%と最も多く、次いで「近くに遊び場がない」が51.0%、「遊具などの種類が充実していない」が38.0%となっています。

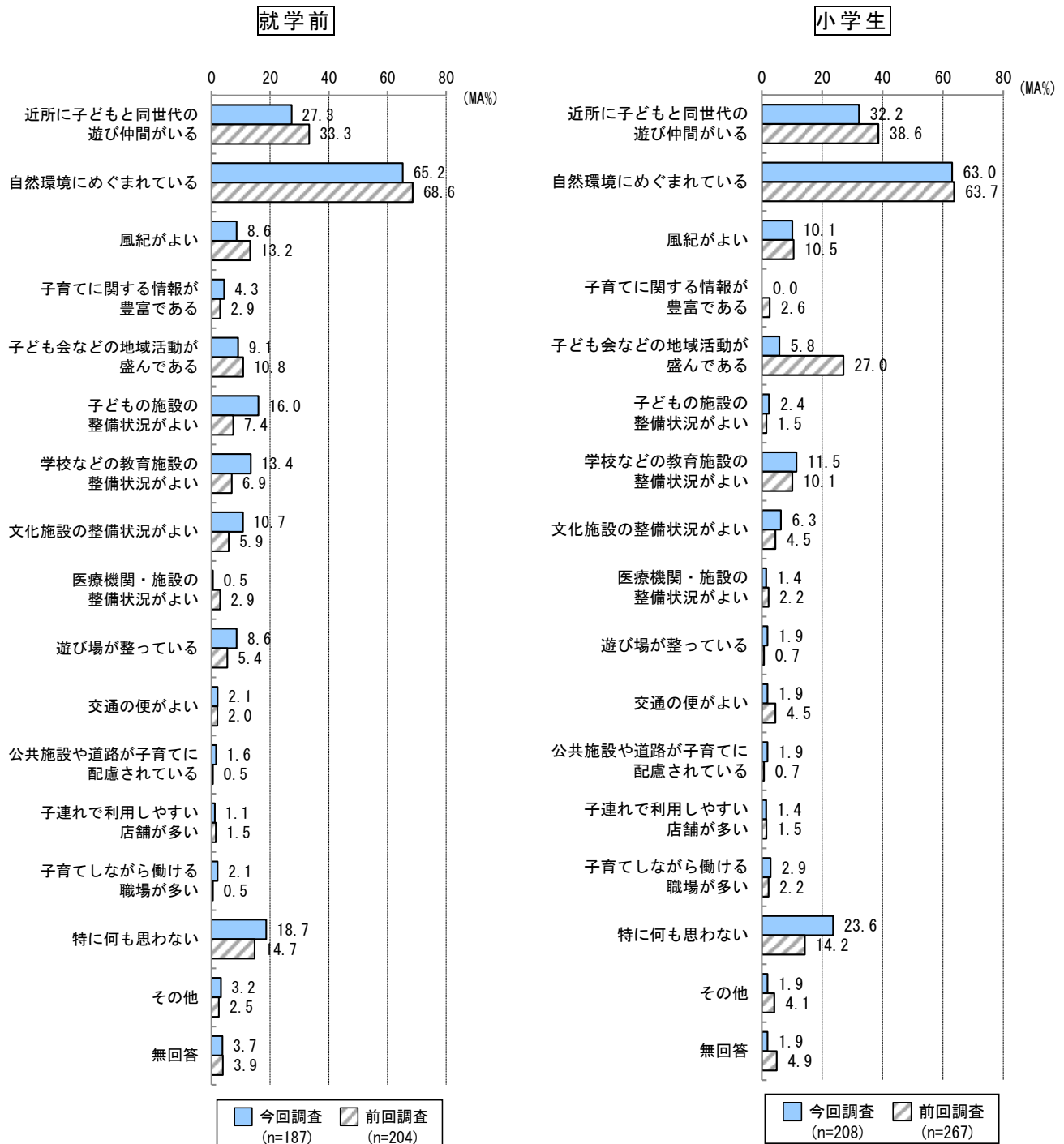
前回調査に比べて、「雨の日に遊べる場所がない」が8.2ポイント、「遊具などの種類が充実していない」が9.9ポイント、「遊具などの設備が古くて危険である」が10.7ポイント、「緑や水辺など自然にふれあえる場が少ない」が7.3ポイント、「遊び場周辺の道路が危険である」が5.6ポイント減少している一方で、「特に感じることはない」が7.4ポイント増加しています。

Ⅱ. 保護者調査結果

〔４〕市川町の子育て環境について

【 就学前：問28／小学生：問23 】

市川町の子育て環境についてどう思いますか。
当てはまる番号すべてに○をつけてください。



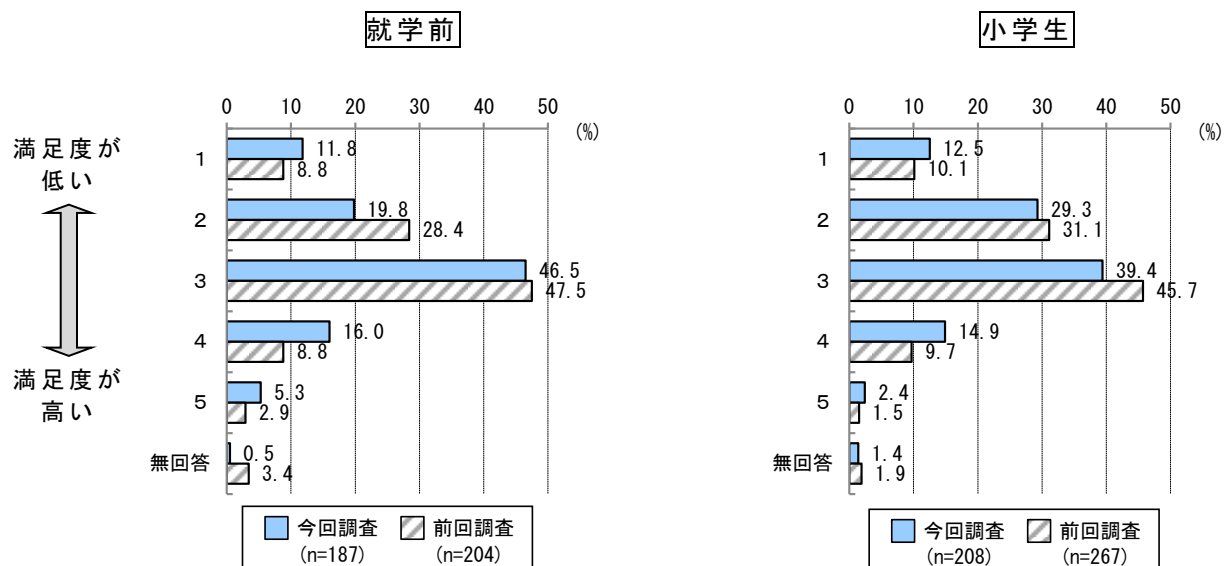
市川町の子育て環境については、「自然環境にめぐまれている」が最も多く、就学前児童で 65.2%、小学生で 63.0%となっています。次いで「近所に子どもと同世代の遊び仲間がいる」が、就学前児童で 27.3%、小学生で 32.2%となっています。

前回調査に比べて、小学生で「子ども会などの地域活動が盛んである」が 21.2 ポイント減少しています。

〔 5 〕 地域の子育て環境や支援への満足度

【 就学前：問29／小学生：問24 】

お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度について当てはまる番号1つに○をつけてください。



地域における子育ての環境や支援への満足度については、「満足度3」が最も多く、就学前児童で46.5%、小学生で39.4%となっています。次いで「満足度2」が、就学前児童で19.8%、小学生で29.3%となっています。

前回調査に比べて、『満足度4以上』（「満足度4」と「満足度5」の合計）が就学前児童で9.6ポイント、小学生で6.1ポイント増加しています。

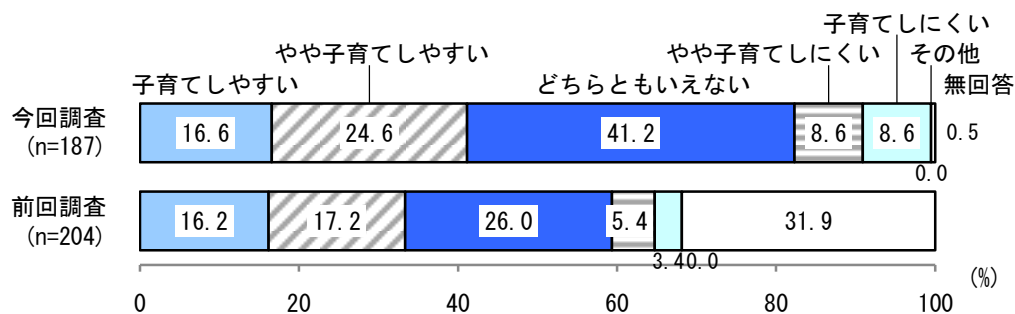
Ⅱ. 保護者調査結果

〔 6 〕 市川町は子育てしやすいところか

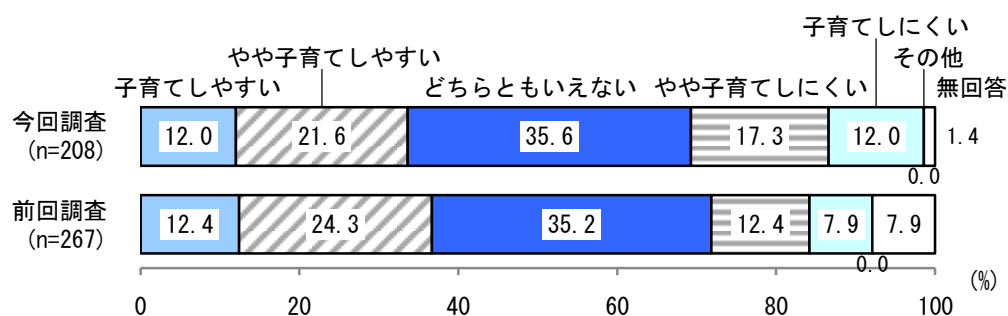
【 就学前：問32／小学生：問27 】

総合的にみて、市川町は子育てしやすいところだと思いますか。
当てはまる番号1つに○をつけてください。

就学前



小学生



市川町の子育てのしやすさについて、就学前児童では、『子育てしやすい』（「子育てしやすい」と「やや子育てしやすい」の合計）が41.2%、『子育てしにくい』（「子育てしにくい」と「やや子育てしにくい」の合計）が17.2%となっています。前回調査に比べて、『子育てしやすい』が7.8ポイント増加している一方で、『子育てしにくい』も8.4ポイント増加しています。

小学生では、『子育てしやすい』が33.6%、『子育てしにくい』が29.3%となっています。前回調査に比べて、『子育てしやすい』が3.1ポイント減少し、『子育てしにくい』が9.0ポイント増加しています。

〔 7 〕 自由意見

【 就学前：問33／小学生：問28 】

最後に、教育・保育環境の充実など子育て環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

就 学 前

(件)

公園等の身近な遊び場の整備	25
子育てにかかる経済的支援に関するご意見	17
子育て支援の充実	9
交通環境の整備	8
人口減少・少子化対策の推進	6
子どもが少なく、今後の成長が心配	6
保育・教育環境の整備	5
子どもに関する施設の充実	4
給食費無償化、減額の実現	4
商業施設の充実	4
自然が豊か	4
習い事が出来る場の充実	4
親が交流する場の充実	3
町内における小児科の設置	3
情報発信の充実	3
祖父母がいない時の対応が不便	2
就労支援の充実	2
同じ年代の子どもが集まる場の充実	2
アンケートについてのご意見	2
その他	7
特になし	1
意見総数	121

小 学 生

(件)

教育環境の整備	18
公園等の身近な遊び場の整備	12
子育てにかかる経済的支援に関するご意見	10
通学環境が不便	9
人口減少・少子化対策の推進	7
交通環境の整備	5
子どもに関する施設・サービスの充実	5
習い事ができる場の充実	3
給食費無償化	3
商業施設の充実	2
図書資料の充実	2
子ども会、PTAの負担について	2
子育て支援の充実	2
アンケートについて	2
情報発信の充実	2
小児科等の医療施設の充実	2
その他	12
意見総数	98

自由意見については、就学前児童で 69 人の方から回答があり、意見総数は 121 件となっています。内容では、「公園等の身近な遊び場の整備」が 25 件と最も多く、次いで「子育てにかかる経済的支援に関するご意見」が 17 件、「子育て支援の充実」が 9 件となっています。

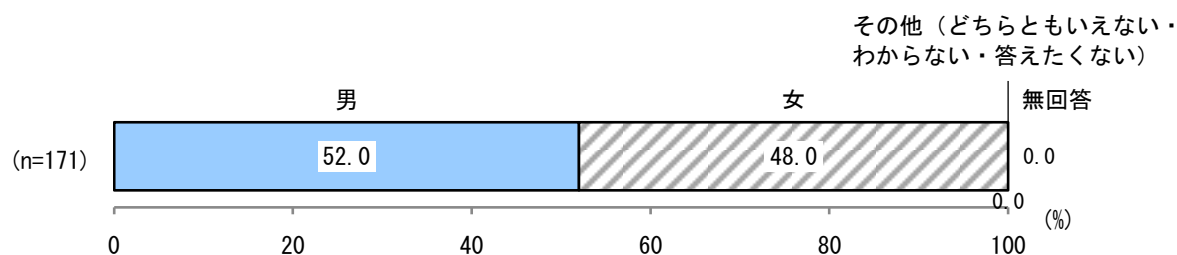
小学生では 67 人の方から回答があり、意見総数は 98 件となっています。内容では、「教育環境の整備」が 18 件と最も多く、次いで「公園等の身近な遊び場の整備」が 12 件、「子育てにかかる経済的支援に関するご意見」が 10 件となっています。

Ⅲ. 小学生調査結果

1 回答者本人について

〔1〕性別

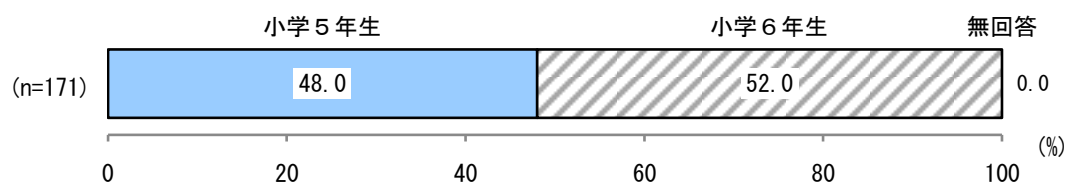
問1 あなたの性別をお答えください。
あてはまる番号1つに○をつけてください。



回答者の性別については、「男」が52.0%、「女」が48.0%となっています。

〔2〕学年

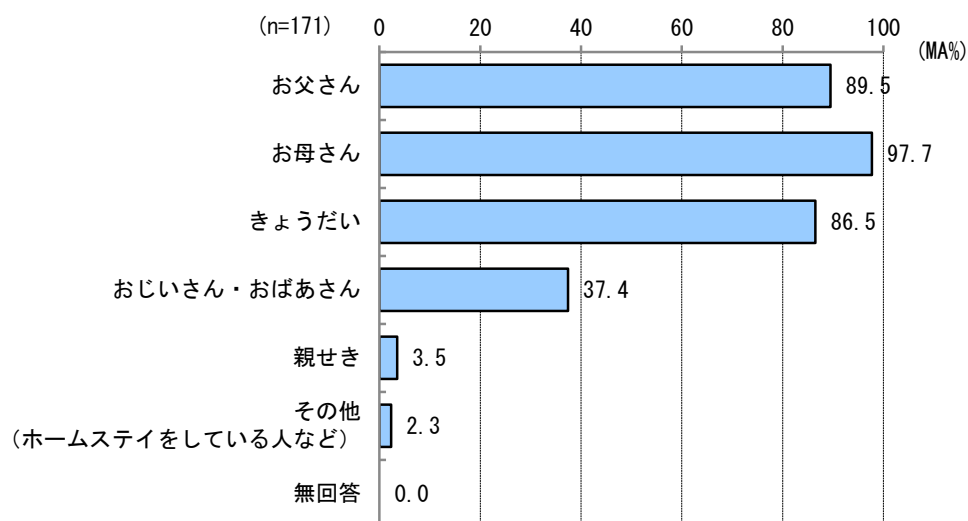
問2 あなたの学年についてお答えください。
あてはまる番号1つに○をつけてください。



回答者の学年については、「小学5年生」が48.0%、「小学6年生」が52.0%となっています。

〔 3 〕 同居者

問 3 現在、あなたがいっしょに住んでいる人をすべて選んでください。
あてはまる番号すべてに○をつけてください。

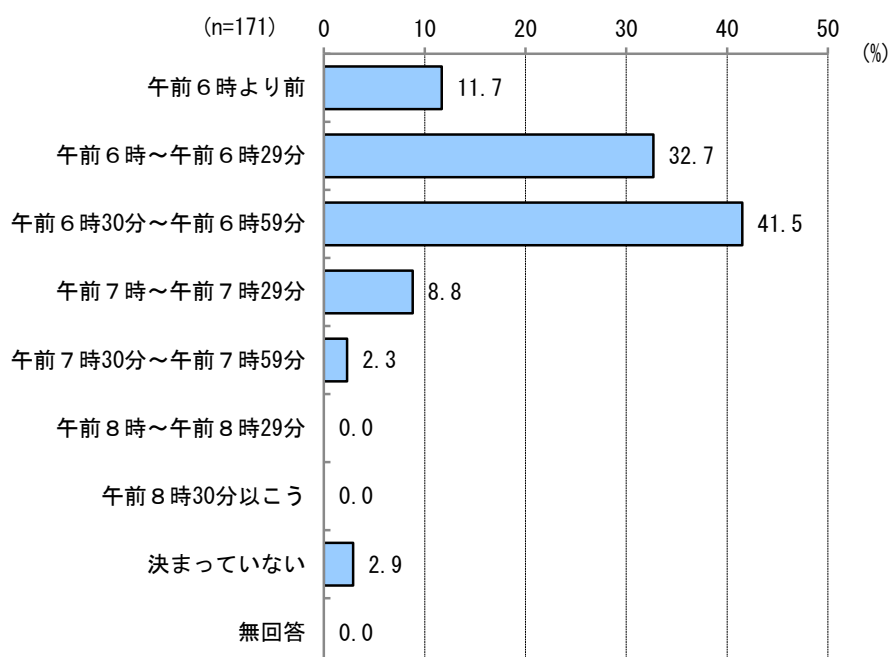


同居者については、「お母さん」が 97.7%と最も多く、次いで「お父さん」が 89.5%、「きょうだい」が 86.5%となっています。

2 日ごろの生活について

〔1〕起床時間

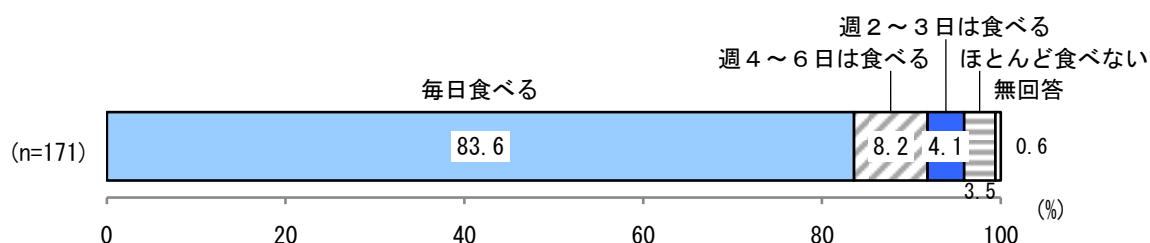
問4 あなたは、学校がある日はだいたい朝何時ごろに起きますか。
あてはまる番号1つに○をつけてください。



起床時間については、「午前6時30分～午前6時59分」が41.5%と最も多く、次いで「午前6時～午前6時29分」が32.7%、「午前6時より前」が11.7%となっています。

〔2〕朝食の摂取状況

問5 あなたは、朝ごはんを毎日食べていますか。
あてはまる番号1つに○をつけてください。



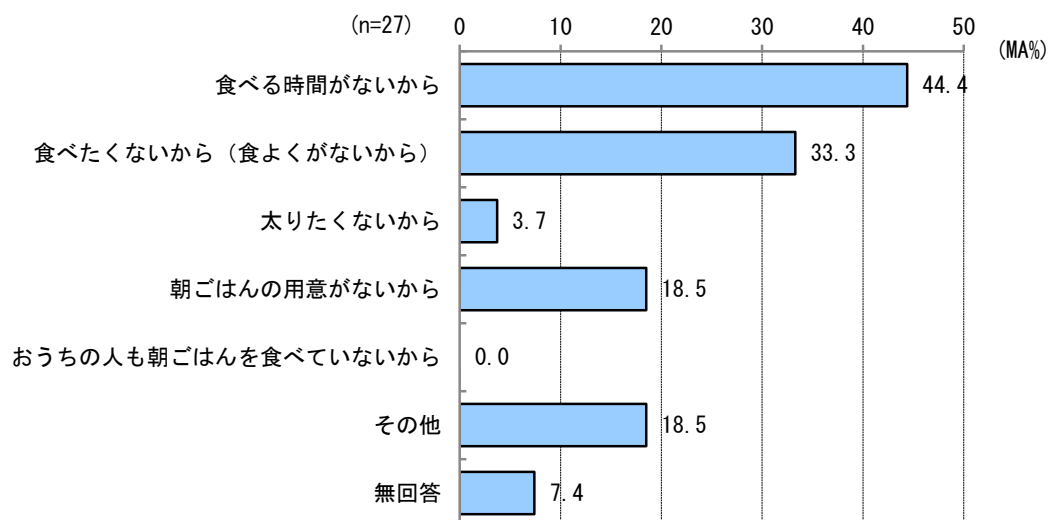
朝食の摂取状況については、「毎日食べる」が83.6%と最も多く、次いで「週4～6日は食べる」が8.2%となっています。

『毎日食べない』（「週4～6日は食べる」と「週2～3日は食べる」と「ほとんど食べない」の合計）は15.8%となっています。

〔３〕朝食を食べない理由

問５で「毎日食べる」以外をお答えの方のみ

問５－１ あなたが朝ごはんを食べない時があるのはなぜですか。
あてはまる番号すべてに○をつけてください。

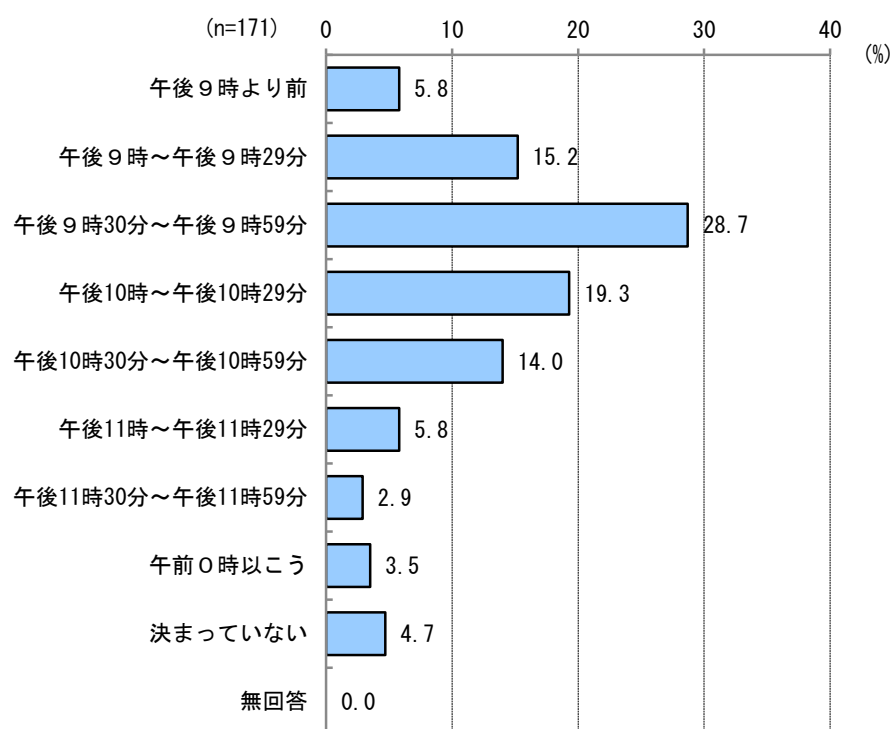


朝食を食べない理由については、「食べる時間がないから」が 44.4%と最も多く、次いで「食べたくないから (食よくがないから)」が 33.3%となっています。

Ⅲ. 小学生調査結果

〔４〕 就寝時間

問６ あなたは、次の日に学校がある日はだいたい夜何時ごろにねますか。
あてはまる番号１つに○をつけてください。

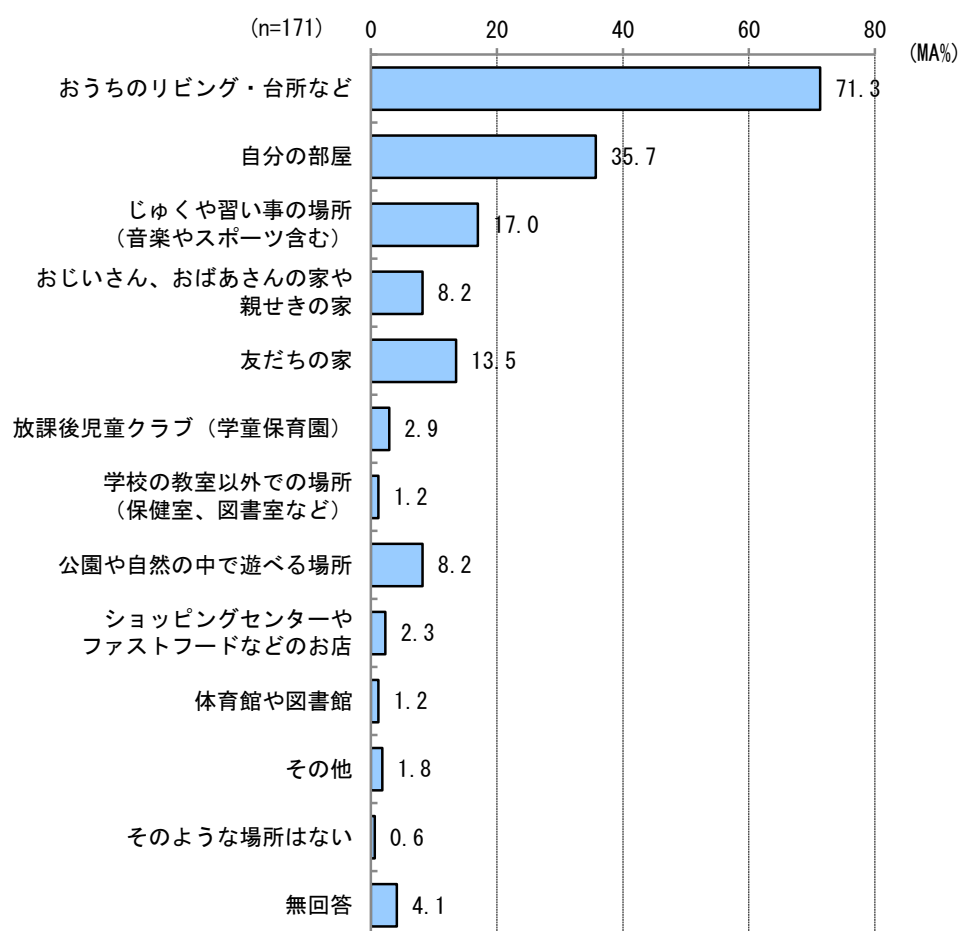


就寝時間については、「午後9時30分～午後9時59分」が28.7%と最も多く、次いで「午後10時～午後10時29分」が19.3%、「午前9時～午後9時29分」が15.2%となっています。

〔５〕 平日の放課後・休日に過ごす場所、ホッとできる・安心できるところ

問７ あなたは学校が終わってからや休日に、次の場所のどこで過ごすことが多いですか。
また、あなたにとってホッとできる・安心できる場所はどこですか。
それぞれ主な番号２つまでに○をつけてください。

■ 平日の放課後に過ごす場所

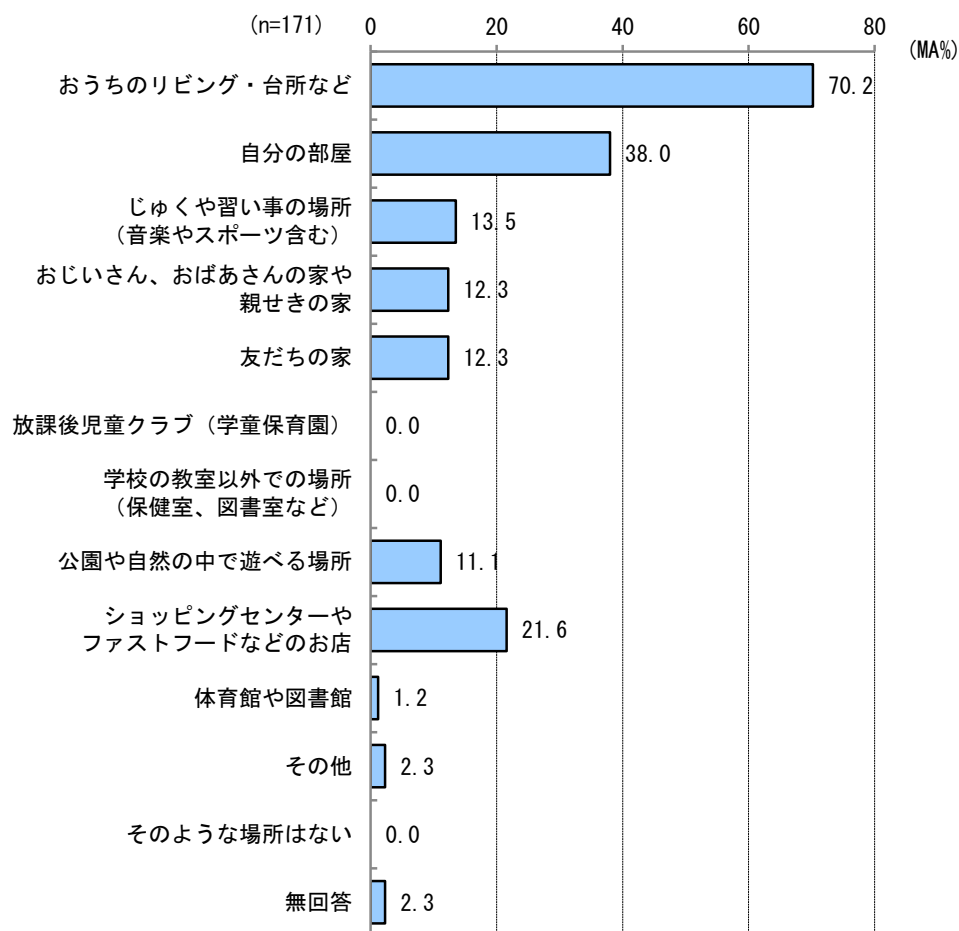


※回答制限以上の回答も有効として集計

平日の放課後に過ごす場所については、「おうちのリビング・台所など」が 71.3%と最も多く、次いで「自分の部屋」が 35.7%、「じゅくや習い事の場所（音楽やスポーツ含む）」が 17.0%となっています。

Ⅲ. 小学生調査結果

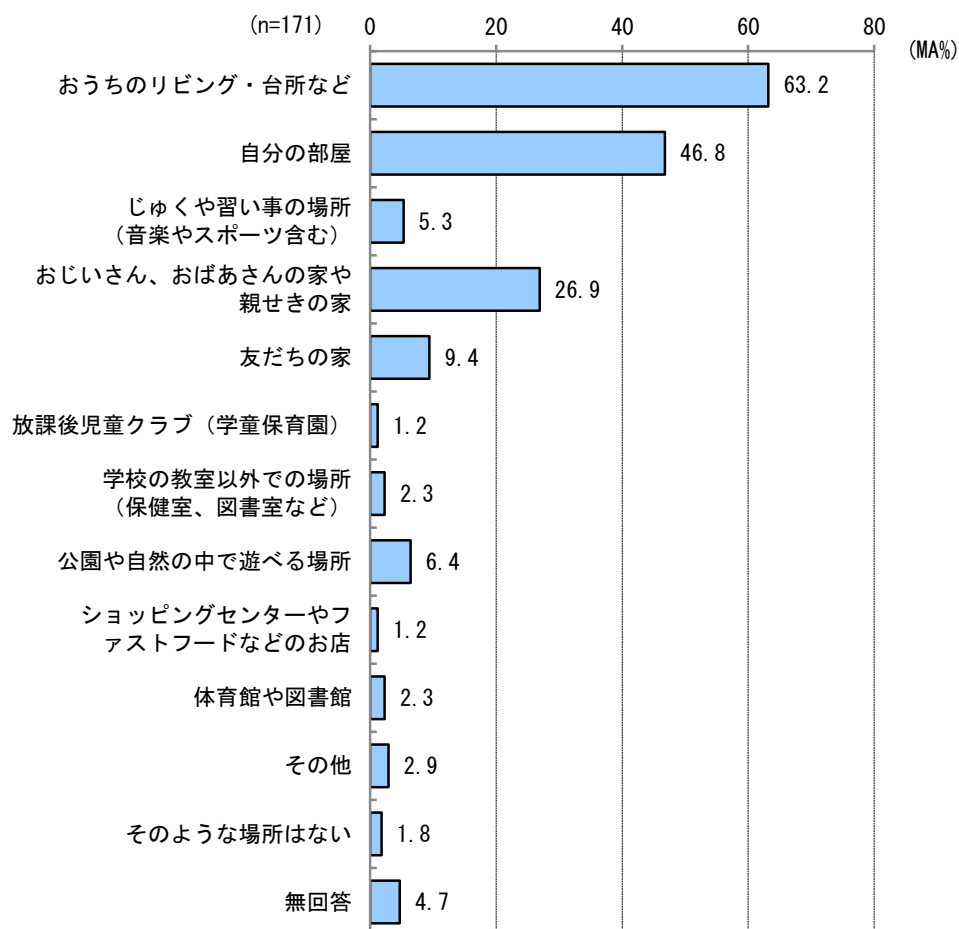
■ 休日に過ごす場所



※回答制限以上の回答も有効として集計

休日に過ごす場所については、「おうちのリビング・台所など」が 70.2%と最も多く、次いで「自分の部屋」が 38.0%、「ショッピングセンターやファストフードなどのお店」が 21.6%となっています。

■ホッとできる・安心できるところ



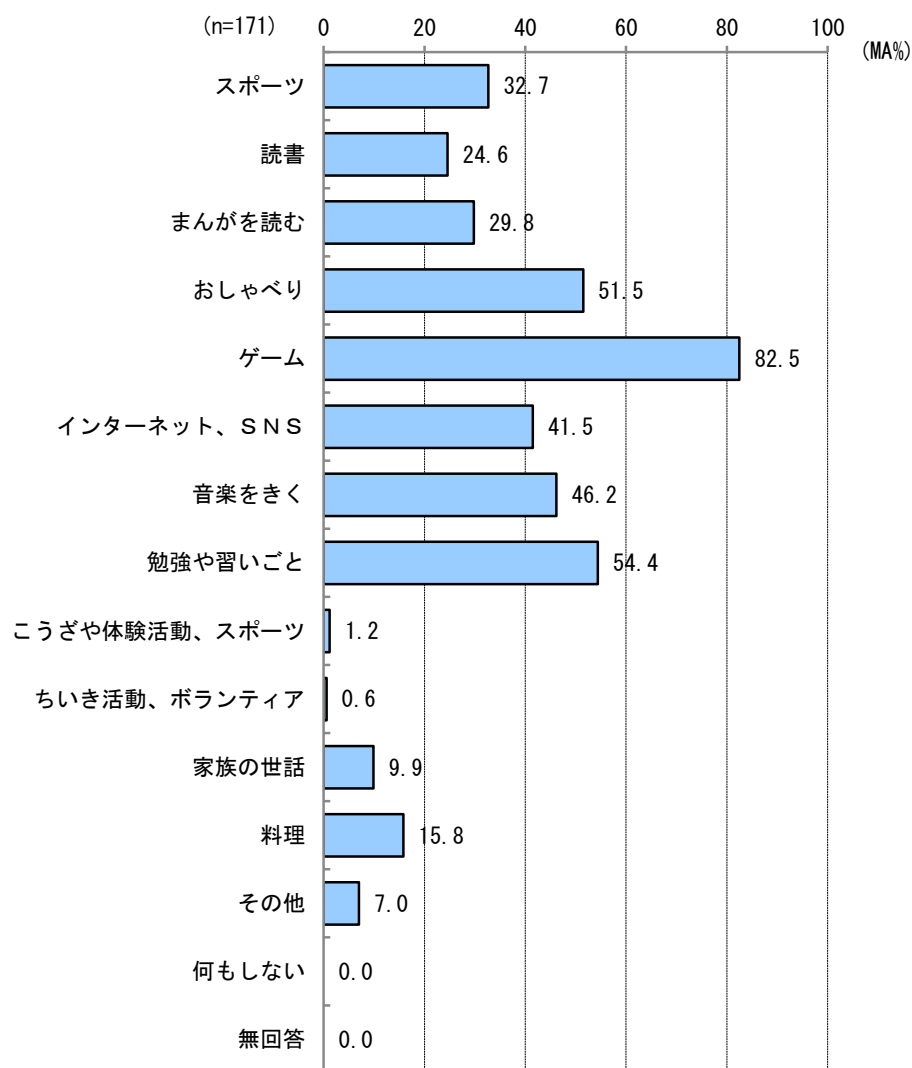
※回答制限以上の回答も有効として集計

ホッとできる・安心できるところについては、「おうちのリビング・台所など」が63.2%と最も多く、次いで「自分の部屋」が46.8%、「おじいさん、おばあさんの家や親せきの家」が26.9%となっています。

Ⅲ. 小学生調査結果

〔 6 〕 過ごし方

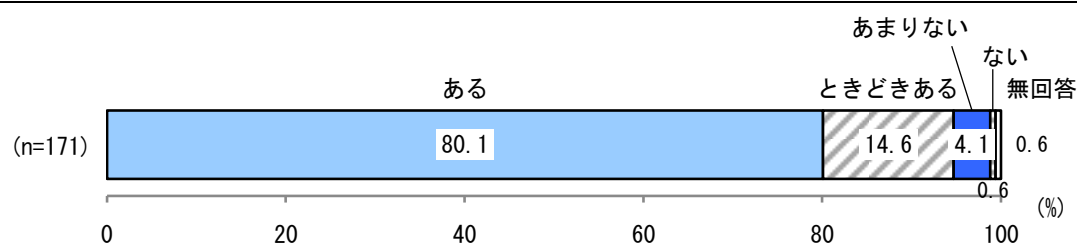
問 8 あなたは、そこでは、何をして過ごしていますか。
あてはまる番号すべてに○をつけてください。



過ごし方については、「ゲーム」が 82.5%と最も多く、次いで「勉強や習いごと」が 54.4%、「おしゃべり」が 51.5%となっています。

〔 7 〕 自分の好きなことをする時間

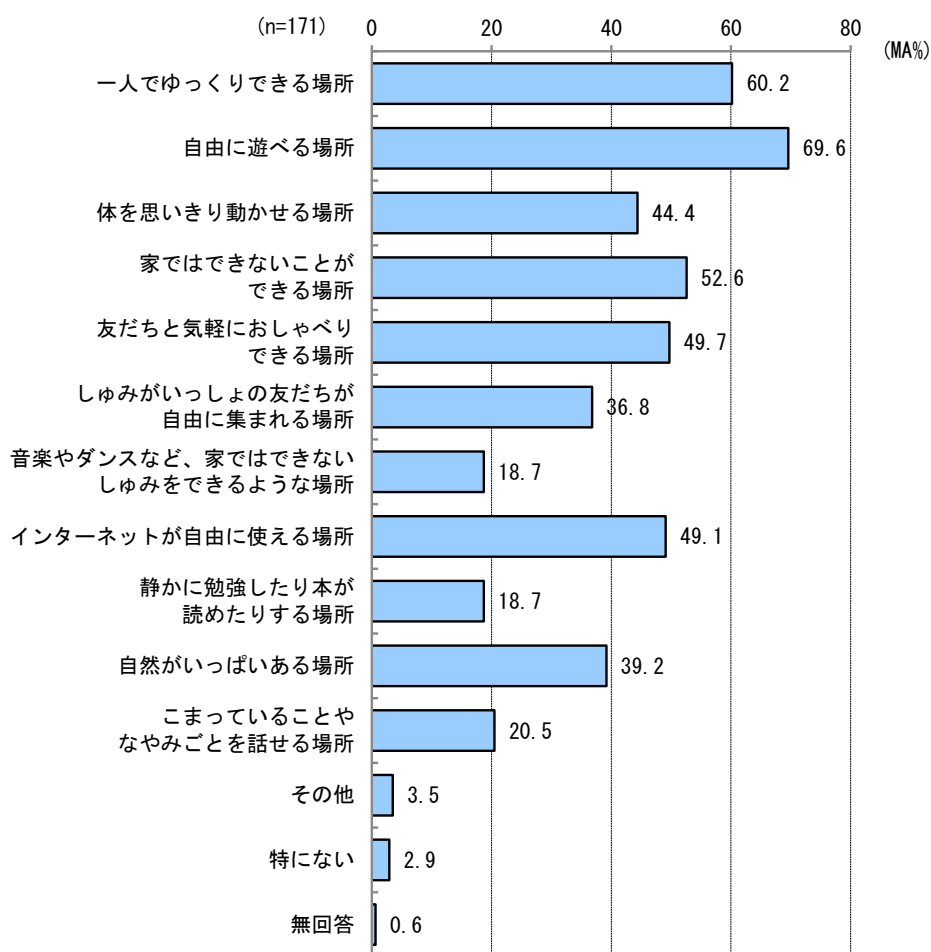
問 9 あなたには、遊んだり休んだり自分の好きなことをする時間が十分にありますか。あてはまる番号 1 つに○をつけてください。



自分の好きなことをする時間については、『ある』（「ある」と「ときどきある」の合計）が 94.7%、『ない』（「ない」と「あまりない」の合計）が 4.7%となっています。

〔 8 〕 あったらよいと思う場所

問 10 あなたが、あたらいいなと思うのはどんな場所ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

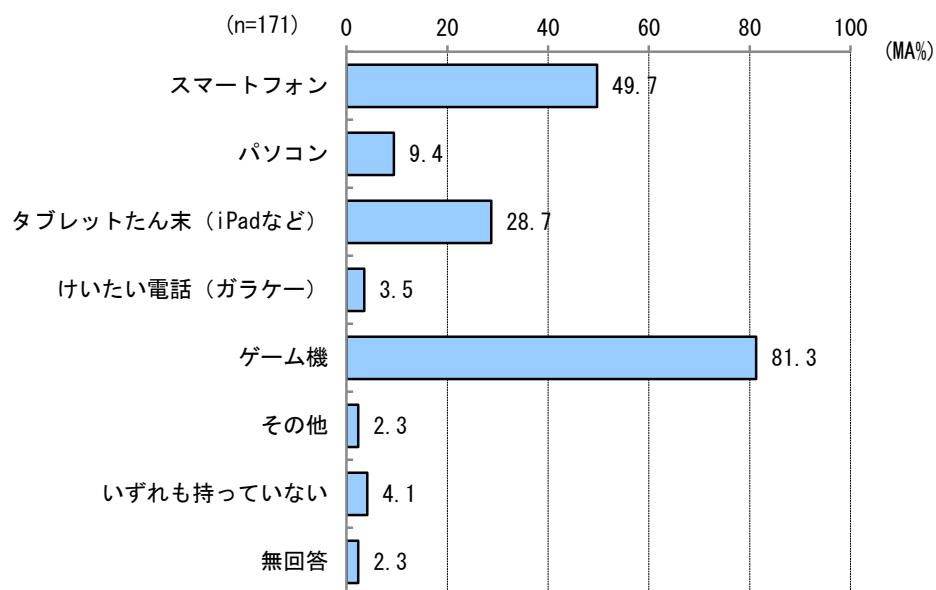


あたらいいと思う場所については、「自由に遊べる場所」が 69.6%と最も多く、次いで「一人でゆっくりできる場所」が 60.2%、「家ではできないことができる場所」が 52.6%となっています。

Ⅲ. 小学生調査結果

〔 9 〕 所持している機器

問11 あなたは、次のような機器を持っていますか。
あてはまる番号すべてに○をつけてください。



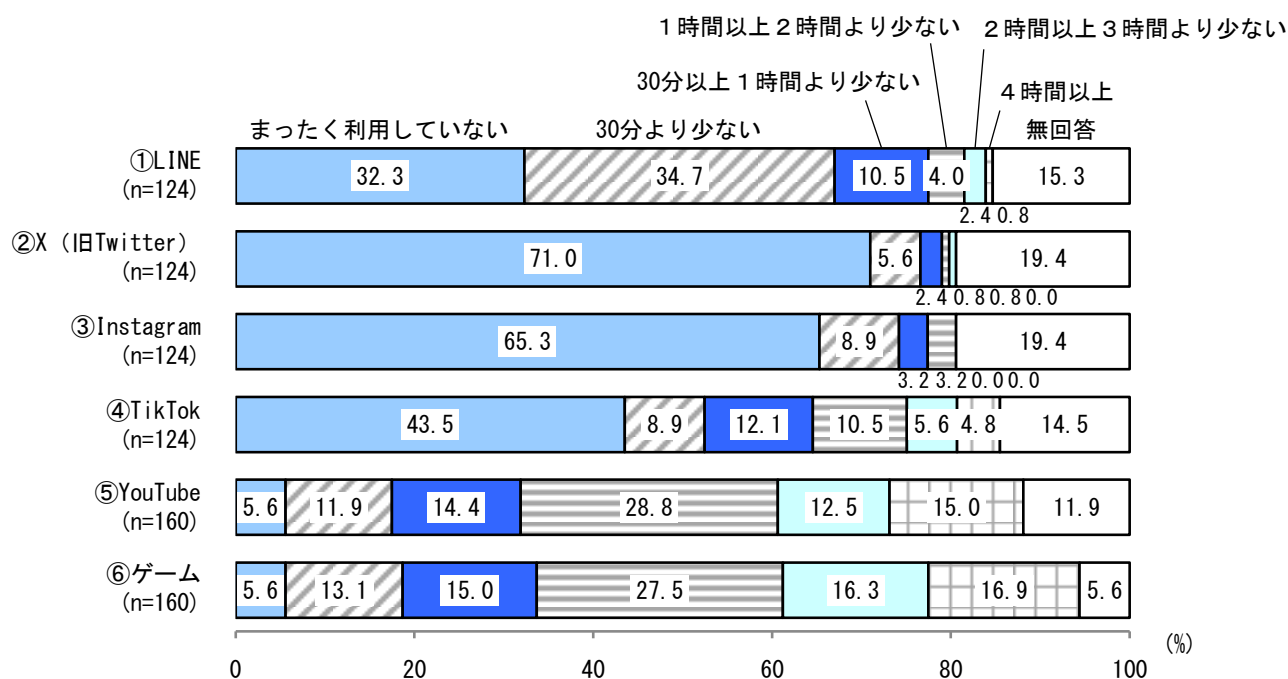
所持している機器については、「ゲーム機」が 81.3%と最も多く、次いで「スマートフォン」が 49.7%、「タブレット端末 (iPad など)」が 28.7%となっています。

〔10〕SNSなどの利用時間

問11で「いずれも持っていない」以外をお答えの方のみ

問11-1 あなたは、学校以外で1日あたりどれぐらいの時間、SNSや動画を見たり、ゲームなどをしていきますか。

それぞれの項目についてあてはまる番号1つに○をつけてください。



※①～④については問11で「スマートフォン」、「パソコン」、「タブレット端末」、「その他」のいずれかを選んだ方のみで集計

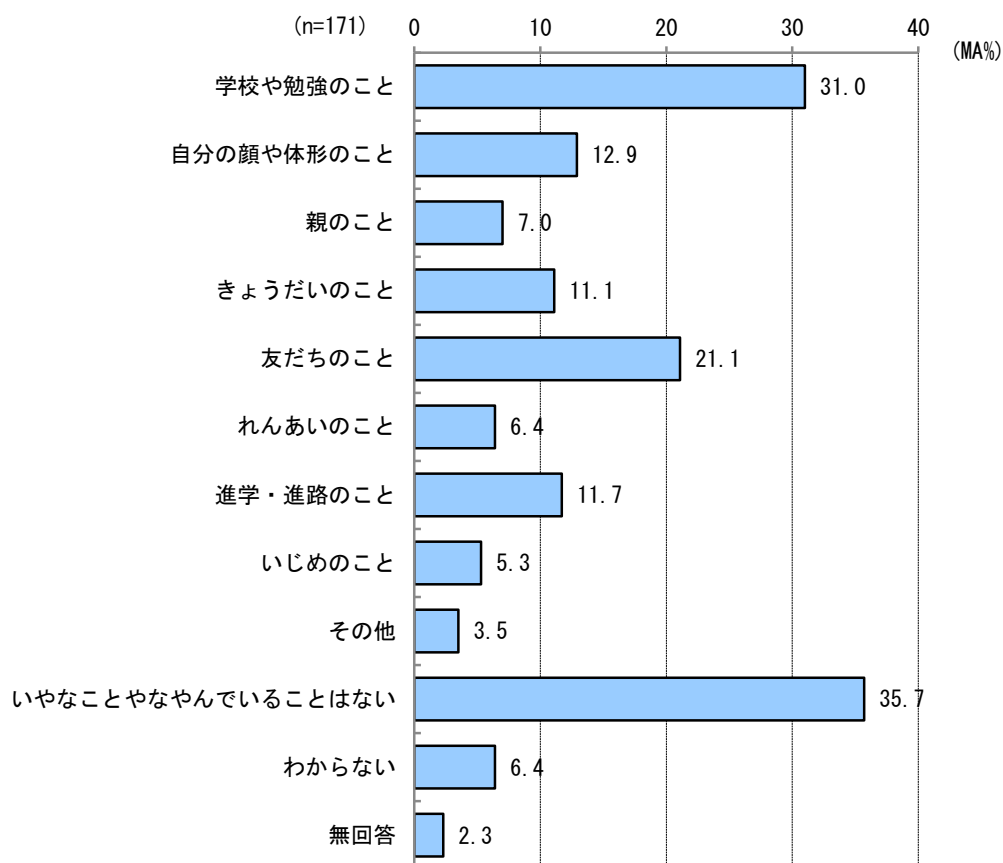
SNSなどの利用時間については、①LINEでは「30分より少ない」(34.7%)、②X(旧Twitter)、③Instagram、④TikTokでは「全く利用していない」(②X(旧Twitter): 71.0%、③Instagram: 65.3%、④TikTok: 43.5%)、⑤YouTube、⑥ゲームでは「1時間以上2時間より少ない」(⑤YouTube: 28.8%、⑥ゲーム: 27.5%)がそれぞれ最も多くなっています。

『1時間以上』(「1時間以上2時間より少ない」と「2時間以上3時間より少ない」と「4時間以上」の合計)は⑥ゲームで60.7%、⑤YouTubeで56.3%、④TikTokで20.9%となっています。

3 なやみや不安について

〔１〕悩んだり困ったりしていること

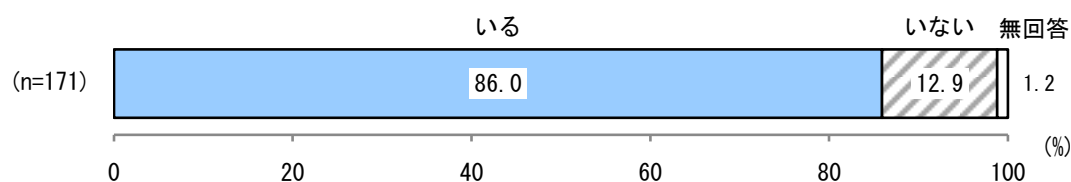
問12 あなたは、ふだんどのようなことでなやんだり、こまったりしていますか。
あてはまる番号すべてに○をつけてください。



悩んだり困ったりしていることについては、「いやなことやなやんでいることはない」が 35.7%と最も多く、次いで「学校や勉強のこと」が 31.0%、「友だちのこと」が 21.1%となっています。

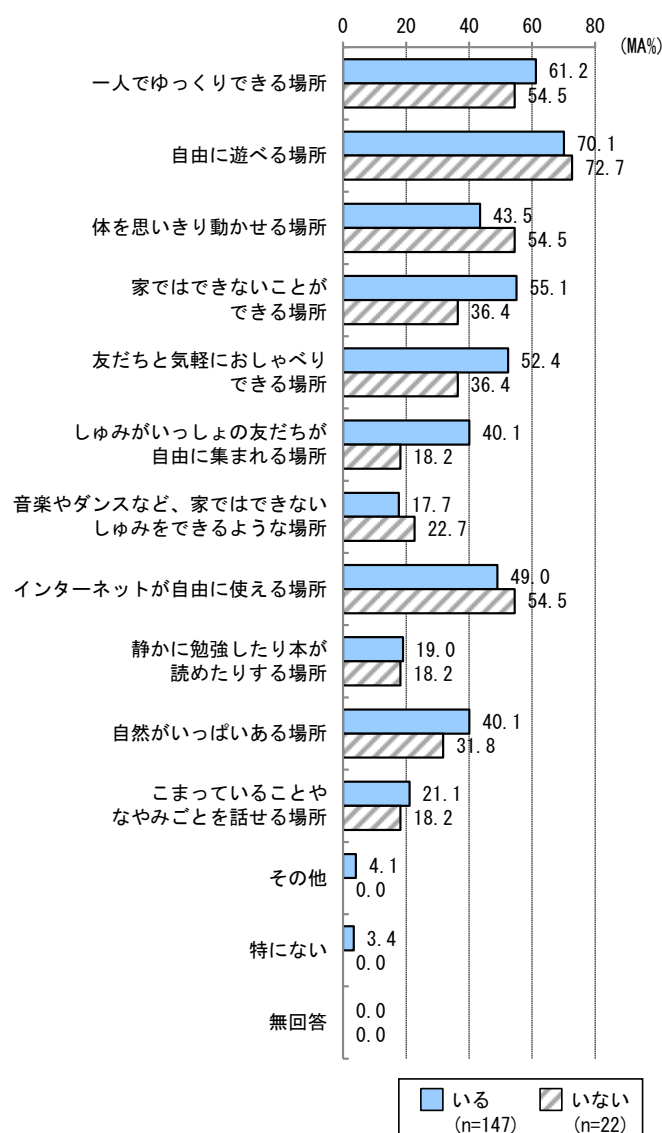
〔２〕相談したり、悩みを話したりできる人の有無

問13 あなたは、こまったときに相談したり、なやみを話したりできる人がいますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。



相談したり、悩みを話したりできる人の有無については、「いる」が86.0%、「いない」が12.9%となっています。

【相談できる人の有無別×あったらよいと思う場所】



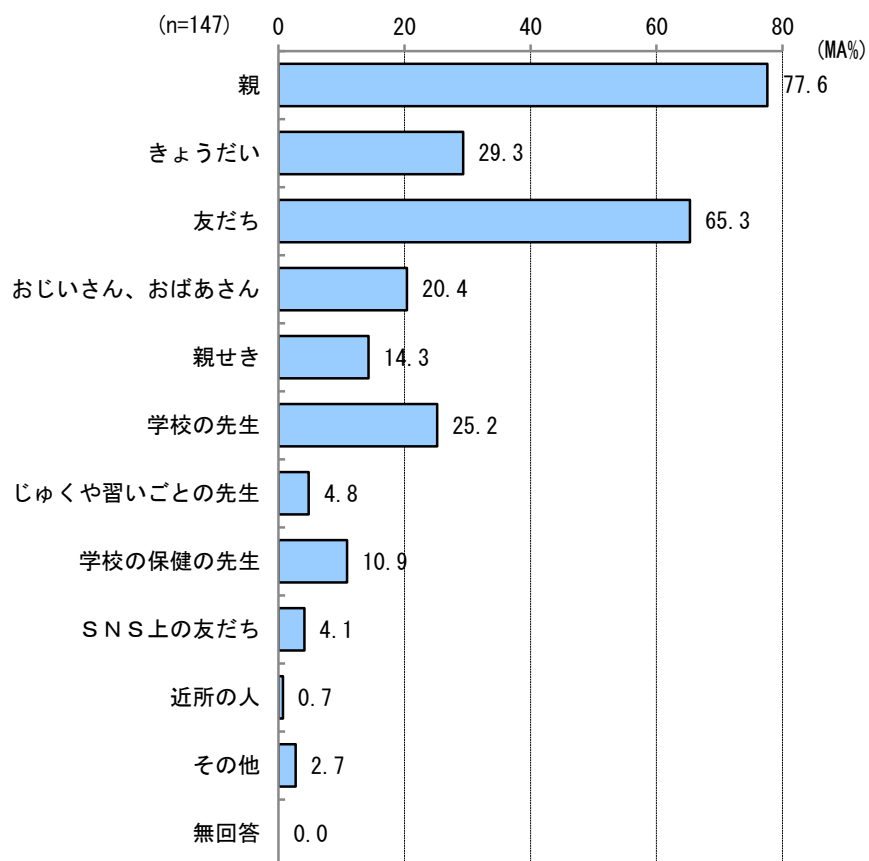
相談できる人の有無別にあったらよいと思う場所をみると、「体を思いきり動かせる場所」、「音楽やダンスなど、家ではできないしゅみをできるような場所」、「インターネットが自由に使える場所」で、相談できる人が「いる」人より「いない」人のほうが5ポイント以上高くなっています。

Ⅲ. 小学生調査結果

〔３〕相談したり、悩みを話したりできる人

問13で「いる」とお答えの方のみ

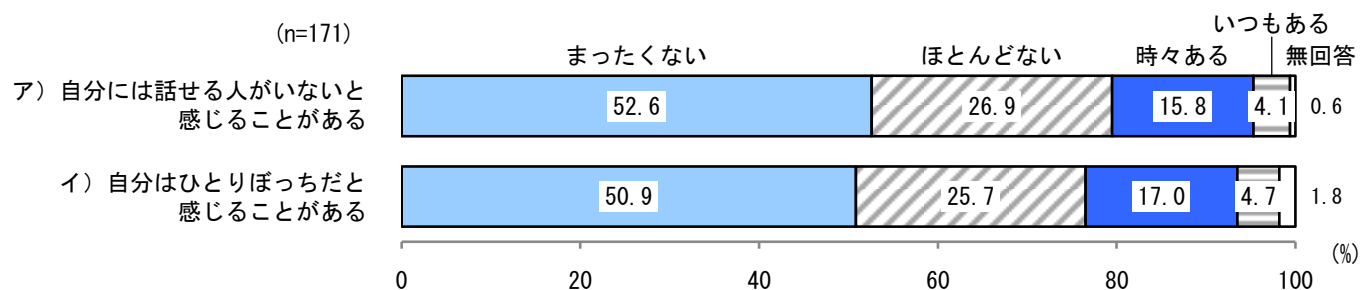
問13-1 それはだれですか。
あてはまる番号すべてに○をつけてください。



相談したり、悩みを話したりできる人については、「親」が 77.6%と最も多く、次いで「友だち」が 65.3%、「きょうだい」が 29.3%となっています。

〔４〕 孤独感

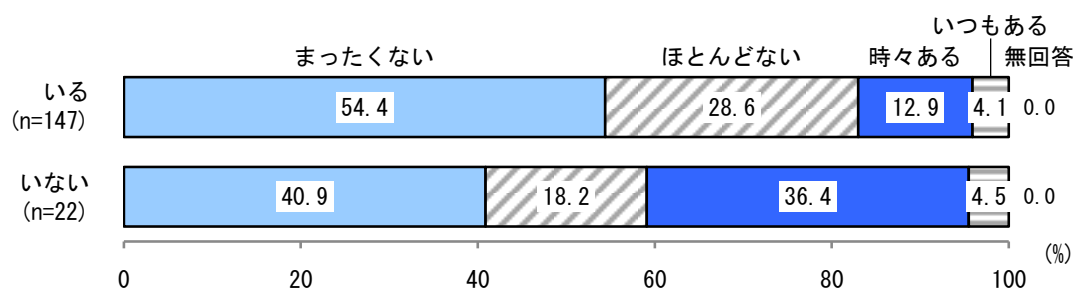
問14 以下のア・イについて、あなたはどれぐらい感じていますか。
それぞれについてあてはまる番号１つに○をつけてください。



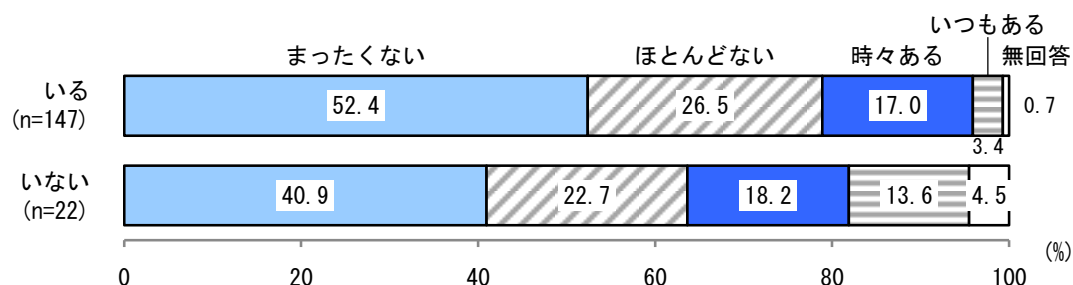
孤独感については、ア) 自分には話せる人がいないと感じることがあるで『ない』（「まったくない」と「ほとんどない」の合計）が 79.5%、『ある』（「いつもある」と「時々ある」の合計）が 19.9%となっています。

イ) 自分はひとりぼっちだと感じることは、『ない』が 76.6%、『ある』が 21.7%となっています。

【相談できる人の有無別×ア) 自分には話せる人がいないと感じることがある】



【相談できる人の有無別×イ) 自分はひとりぼっちだと感じる】

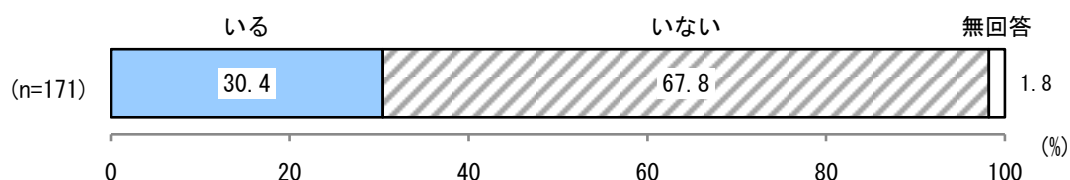


相談できる人の有無別に孤独感をみると、ア) 自分には話せる人がいないと感じることがある、イ) 自分はひとりぼっちだと感じることは、のどちらについても、相談できる人が「いる」人より「いない」人のほうが、感じるものが『ある』割合が 10 ポイント以上高くなっています。

4 家族のお世話について

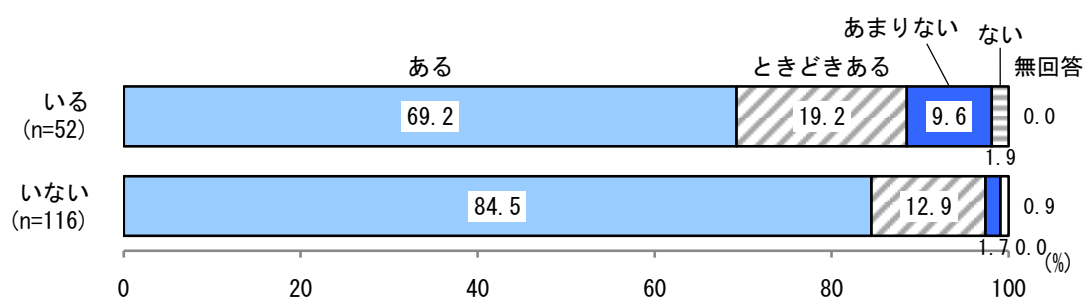
〔1〕 お世話をしている家族の有無

問15 家族の中にあなたがお世話をしている人はいますか。(ここでいう「お世話」とは、ふつう大人が行うような家事や家族のお世話などをする事です。) あてはまる番号1つに○をつけてください。



お世話をしている家族の有無については、「いる」が30.4%、「いない」が67.8%となっています。

【お世話をしている家族の有無別×自分の好きなことをする時間の有無】

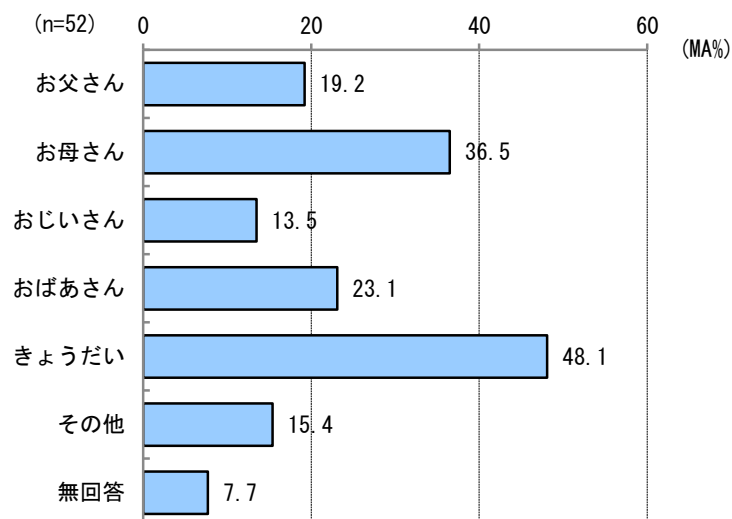


お世話をしている家族の有無別に自分の好きなことをする時間の有無をみると、お世話をしている人が「いる」人で、自分の好きなことをする時間が『ない』割合が11.5%と、お世話をしている人が「いない」人より9.8ポイント高くなっています。

〔 2 〕 お世話をしている家族

問15で「いる」とお答えの方のみ

問15-1 お世話をしている方を教えてください。
あてはまる番号すべてに○をつけてください。

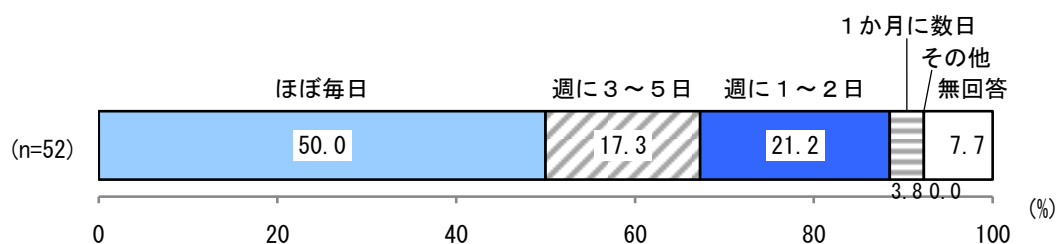


お世話をしている家族については、「きょうだい」が 48.1%と最も多く、次いで「お母さん」が 36.5%、「おばあさん」が 23.1%となっています。

〔 3 〕 お世話の頻度

問15で「いる」とお答えの方のみ

問15-2 あなたはどれくらいお世話をしていますか。
あてはまる番号1つに○をつけてください。



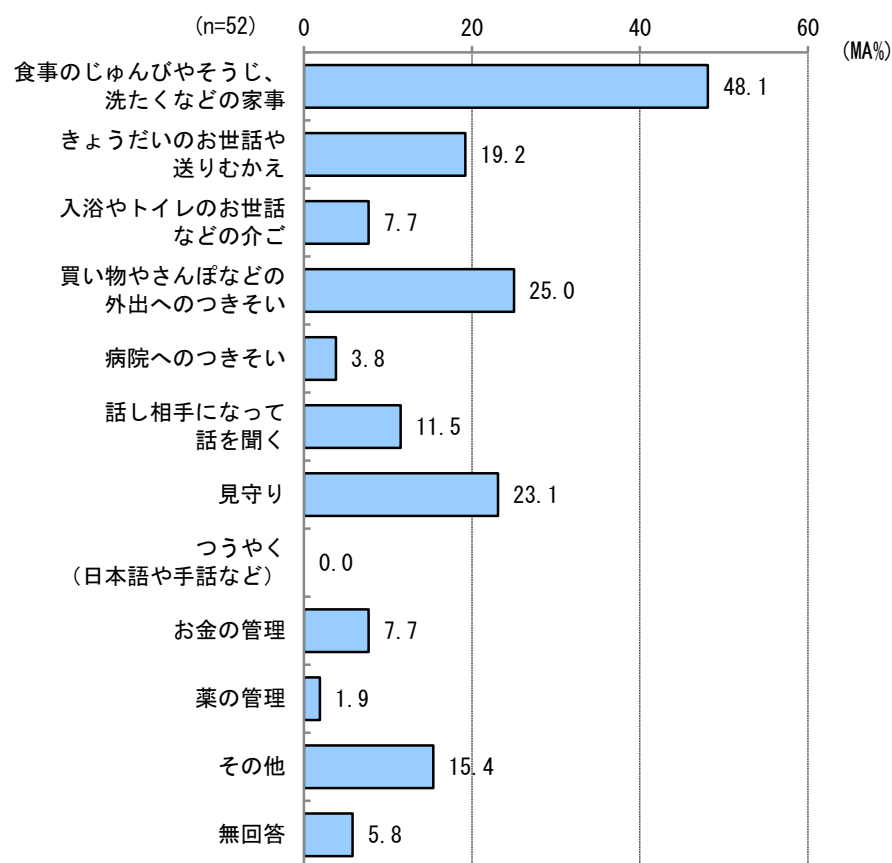
お世話の頻度については、「ほぼ毎日」が 50.0%と最も多く、次いで「週に1～2日」が 21.2%、「週に3～5日」が 17.3%となっています。

Ⅲ. 小学生調査結果

〔４〕 お世話の内容

問15で「いる」とお答えの方のみ

問15-3 あなたはどのようなお世話をしていますか。
あてはまる番号すべてに○をつけてください。

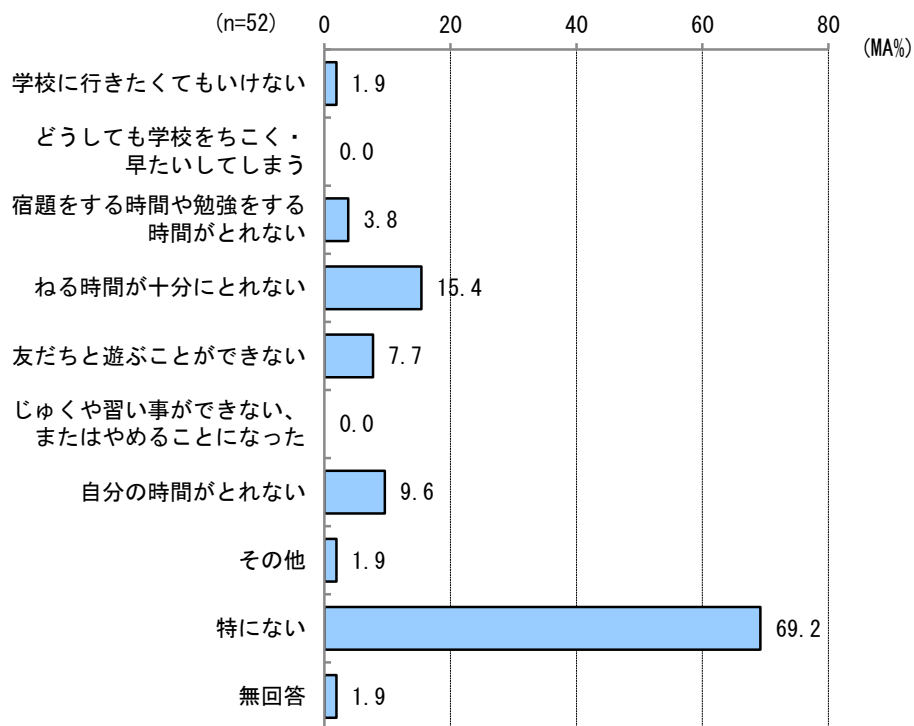


お世話をしている家族については、「食事のじゅんびやそうじ、洗たくなどの家事」が48.1%と最も多く、次いで「買い物やさんぽなどの外出へのつきそい」が25.0%、「見守り」が23.1%となっています。

〔５〕お世話をしていることで、やりたいけどできていないこと

問15で「いる」とお答えの方のみ

問15-4 お世話をしていることで、やりたいけどできていないことはありますか。
あてはまる番号すべてに○をつけてください。

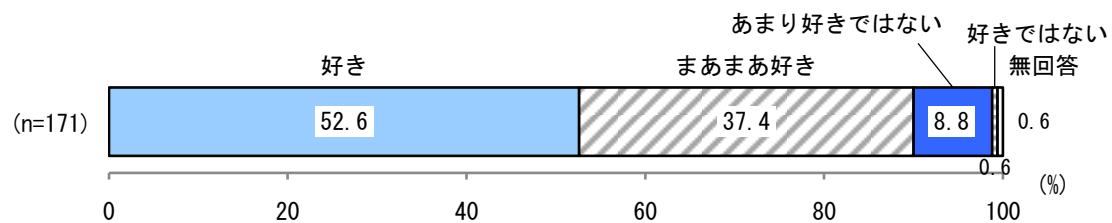


お世話をしていることで、やりたいけどできていないことについては、「特にない」が69.2%と最も多く、次いで「ねる時間が十分にとれない」が15.4%、「自分の時間がとれない」が9.6%となっています。

5 市川町について

〔 1 〕 市川町が好きか

問16 あなたは市川町が好きですか。
あてはまる番号1つに○をつけてください。



市川町が好きかについては、『好き』（「好き」と「まあまあ好き」の合計）が90.0%、『好きではない』（「好きではない」と「あまり好きではない」の合計）が9.4%となっています。

〔２〕市川町が好きな理由、好きではない理由

問１７ 好きな理由、好きではない理由は何ですか。
自由に書いてください。

＜「好き」「まあまあ好き」と答えた理由＞ ＜「好きではない」「あまり好きではない」と答えた理由＞

	(件)
自然が豊かだから	92
町の人が優しいから	19
友だちがいるから	10
遊ぶところが多いから	10
生まれ育ったから	9
特産品があるから	8
買い物できる場所があるから	8
イベントがあるから	7
静かだから	7
食べ物がおいしいから	6
災害が少ない、災害に強そうだから	4
交通の便が良い	3
ゴルフが有名だから	3
分からない／特にない	3
安全なまちだから	3
生き物が多いから	3
兵庫県の真ん中にあるから	2
伝統が残っているから	2
図書館があるから	2
きれいな町だから	2
その他	15
意見総数	218

	(件)
お店が少ないから	10
遊び場が少ないから	5
ゴミがあるから	3
人が少ないから	2
虫や野生動物が多いから	2
その他	2
意見総数	24

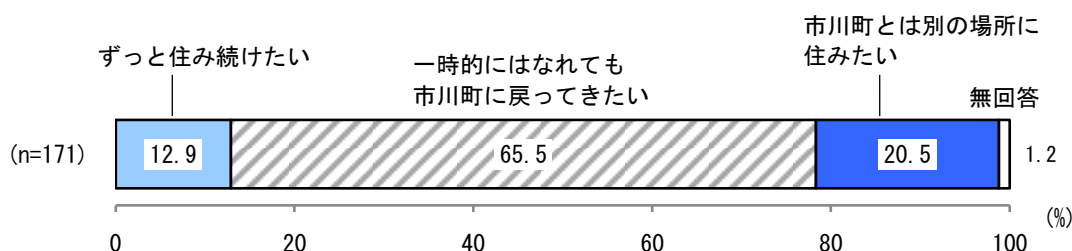
市川町が好きな理由については、151 人の方から回答があり、意見総数は 218 件となっています。内容では、「自然が豊かだから」が 92 件と最も多く、次いで「町の人が優しいから」が 19 件、「友だちがいるから」、「遊ぶところが多いから」が 10 件となっています。

市川町が好きでない理由については、16 人の方から回答があり、意見総数は 24 件となっています。内容では、「お店が少ないから」が 10 件、「遊び場が少ないから」が 5 件、「ゴミがあるから」が 3 件となっています。

Ⅲ. 小学生調査結果

〔３〕大きくなってからも市川町に住みたいか

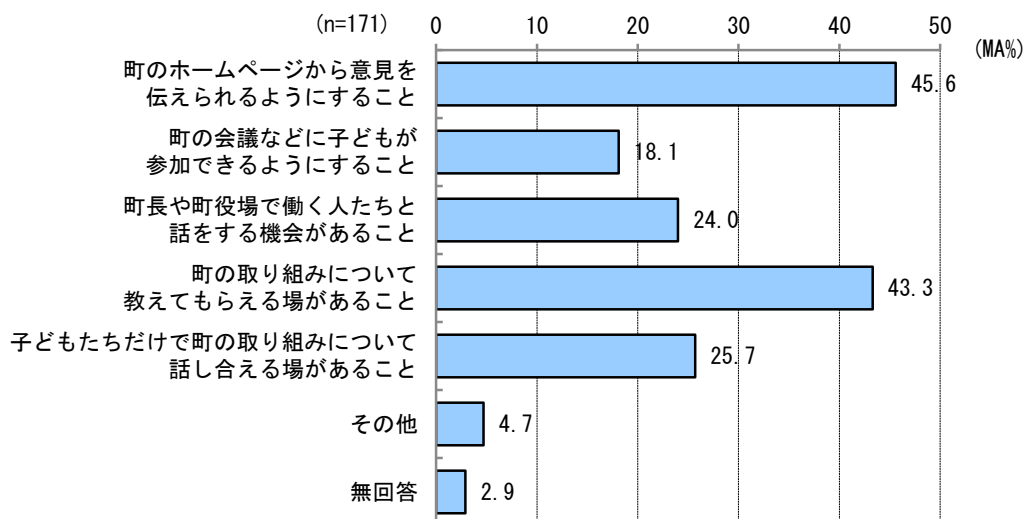
問18 あなたは大きくなってからも市川町に住みたいと思いますか。
あてはまる番号１つに○をつけてください。



大きくなってからも市川町に住みたいかについては、「一時的にはなれても市川町に戻りたい」が 65.5%と最も多く、次いで「市川町とは別の場所に住みたい」が 20.5%、「ずっと住みたい」が 12.9%となっています。

〔４〕市川町の取り組みに対して、希望や思いを伝える方法

問19 市川町の取り組みに、あなたの希望や思いを伝えるために、どのような方法があればよいと思いますか。
あてはまる番号すべてに○をつけてください。



市川町の取り組みに対して、希望や思いを伝える方法については、「町のホームページから意見を伝えられるようにすること」が 45.6%と最も多く、次いで「町の取り組みについて教えてもらえる場があること」が 43.3%、「子どもたちだけで町の取り組みについて話し合える場があること」が 25.7%となっています。

〔５〕自由意見

問20 最後に、あなたが市川町へ伝えたいこと、あなた自身がやりたいことなど自由に書いてください。

(件)

お店を増やしてほしい	30
遊べる場所を増やしてほしい	16
市川町の良さを多くの人に知ってほしい	9
自然豊かなままでいてほしい	7
市川町の評価（素敵なまち、市川町が好き）	7
スポーツができる場所がほしい	6
空き家を活用してほしい	6
感謝の言葉	5
イベントを開催してほしい	5
市川町のために色々なことに取り組みたい	5
ゴミを減らしてほしい	4
多くの人に市川町を訪れてほしい	2
地域の人と話したい	2
その他	22
特になし	14
意見総数	140

市川町が好きな理由については、123 人の方から回答があり、意見総数は 140 件となっています。内容では、「お店を増やしてほしい」が 30 件と最も多く、次いで「遊べる場所を増やしてほしい」が 16 件、「市川町の良さを多くの人に知ってほしい」が 9 件となっています。